Pioneer sound.vision.soul

DVD プレーヤー

DVD-V8000

取扱説明書

このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
特に、**「安全上のご注意」**は必ずお読みください。
なお、「取扱説明書」は「保証書」、「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に必ず保管してください。

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⦸記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

⚠ 警 告

〔異常時の処置〕

- 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体のSTANBY/ONボタンを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

- 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体のSTANBY/ONボタンを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体のSTANBY/ONボタンを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

〔設置〕

- 付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。また電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱により火災・感電の原因となることがあります。

- 電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードが引張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

- 放熱をよくするため他の機器、壁等から間隔をとり、またラックに入れる時はすき間をあけてください。また、次のような使い方で通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
  - あおむけや横倒し、逆さまにする。
  - 押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
  - じゅうたんやふとんの上に置く。
  - テーブルクロスなどをかける。

〔使用環境〕

- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

- 風呂場・シャワー室等では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- 表示された電源電圧(交流100ボルト 50/60 Hz)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。

⚠ 警 告

〔使用方法〕

● 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物をおかないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

● ぬれた手で(電源)プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

● 本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

● 本機のカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。

● 雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

⚠ 注 意

〔設置〕

● 電源の供給を完全に停止するためには、電源プラグ(遮断装置)を抜く必要があります。万一の事故に備え、本機を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグ(遮断装置)に容易に手が届くように設置してください。

● 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

● 電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

● ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

● 本機を調理台や加湿器のそばなど油煙、湿気あるいはほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

● テレビ、オーディオ機器、スピーカー等に機器を接続する場合は各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。

● 電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。

● 電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

● 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

● 移動させる場合は、STANBY/ONボタンを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

● 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。

〔使用方法〕

● ディスクを使用する機器の場合、ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。

● レーザーを使用している機器では、レーザー光源をのぞきこまないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

● 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

● 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。

● ヘッドホンをご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

● 機器本体のSTANDBY/ONボタンを切っても、電源の供給は停止しません。電源の供給を完全に停止するためには、電源プラグ(遮断装置)を抜く必要があります。旅行などで長期間、この製品をご使用にならないときには、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

〔保守・点検〕

● 機器の機能および性能を維持させるため、また寿命を延ばすためにも定期メンテナンス(保守)契約を結ぶことをお勧めします。
詳しくは弊社サービスマンまたは本機の取扱店にご連絡ください。

● お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

目 次

目　次

05 音と画質の設定

06 ADV. SETUP（業務用設定）

07 業務用機能

08 接　続

09 追加資料

特　長

1. 高耐久性、高信頼性のプレーヤー
ドライブ部分をシールドして光学部品を埃から守る構造を採用し耐久性を上げ、ドライブのディスクモーターにはブラシレス・スピンドルモーターを、光学部品の駆動にはステッピングモーターを採用し信頼性を向上させました。

2. 高画質設計
12 bit / 216 MHzビデオDAC、デジタルフィルター、デジタルノイズリダクション技術を採用し、高画質な映像再生を実現しています。
また、従来のアナログ映像端子に加え、デジタル映像端子DVI-D（HDCP Ver.1.0 対応）を搭載し、デジタルの高精細な映像を再現します。

3. フレームサーチ機能
フレームサーチ機能を使用すると、チャプターや時間でサーチするより細かな単位でサーチができ、任意の点を探すことができます。
フレームセグメント再生を使用すると映像の任意の点から任意の点まで再生して、最後に静止画にすることができます。
- マルチPGC (時間情報のOSDが表示されない) ディスクやビデオＣＤ等ではフレームサーチ機能は使用できません。

4. WEEKLY TIMER / POWER ON START機能
一週間の中で曜日ごと、あるいは１日の中で時間帯ごとにプレーヤーの“POWER ON / STANBY (OFF)”およびディスクの再生映像を設定できます。コマンドスタックと組み合わせてプログラム再生も可能です。
WEEKLY TIMERは、同じ曜日に最大24回までPOWER ON / OFFの時間が設定できます。（47、50ページ）

5. COMMAND STACK
本機ではプレーヤーの再生をコントロールするセグメントコマンドをあらかじめ入力しておくと、次々と映像を切り換えて再生します。デモンストレーションや説明等で使用すると大変便利です。（54ページ）

6. 外部インターフェース
[RS-232C]
本機には、15 Pin (※1) および 9 Pin の RS-232C 端子が搭載されており、コンピュータを使った制御が可能です。
RS-232C コマンドはDVDビデオやビデオCD、CDオーディオを制御可能です。これらのプロトコルはLD (レーザーディスク) からの書式を引き継いでおり、LDからの移行も簡単です。（74ページ）
[Extend Terminal]
Extend Terminal (15 Pin) のRS-232C以外の端子ピンには、外部スイッチ用の端子ピンが割り当てられています。この端子ピンにスイッチを接続するだけで、 ＤＶＤ-VIDEOのメニュー選択やコマンドスタックの呼び出しおよびリモコンと同等操作が可能です。（79ページ）

7. 外部同期
入力された同期信号に合わせて映像信号を出力します。（70ページ）

8. USBインターフェース
本機はUSBインターフェースを搭載しており、標準的なUSBマウスが使用できます （１３ページ）。また、市販の汎用USBメモリーでは、本機の設定およびコマンドスタック情報を保存、読み出しができます （６１ページ）。これにより、故障時の代替機設定や、複数台のインストール作業の時間を短縮できます。USB接続インターフェースを持ったタッチデバイス (※2) と直接接続することでシンプルなシステム構成で、DVD再生コントロールや手書き描画が可能となります。（66ページ）

9. モニター出力
OSD (On Screen Display) 付き確認用の映像端子を搭載。コンポジット、コンポーネント、S-VIDEO、DVI-DからはＯＳＤ無しのメイン映像出力を、 モニター端子からはOSD付きの確認映像を同時に出力します。（16ページ）

10. スルー出力機能
外部入力として、コンポジット映像とアナログ音声の端子を搭載しました。フロントボタンまたは、RS-232C、コマンドスタックでDVD映像と外部入力の映像／音声を切り換えることができます。（67ページ）

11. マウスまたはタッチデバイスによるプレーヤーコントロールおよびビデオブラックボード
リモコンの代わりにマウスまたはタッチデバイス（※2)を使用しプレーヤーをコントロールできます。また、DVD映像再生時に手書きの図形を書き込むことができます。この機能によりデモンストレーションや説明を効果的に行うことができます。（64、65ページ）

12. NTSC / PAL デュアルTV方式再生
DVDディスクにおいてNTSC方式、PAL方式 (※3) どちらのディスクも再生することができます。

13. ラックマウントサイズ
ラックマウントに適した、2Uサイズ（高さ88 mm、幅420 mm）設計。
別売キットにてEIA 19インチラックに取り付けられます。

(※1)　15 Pin の RS-232C端子は Extend Terminal 端子と共用します。
(※2)　当社が動作確認したメーカーまたは機器にだけ機能します。
(※3)　PAL再生時には、PALに対応したディスプレイが必要です。

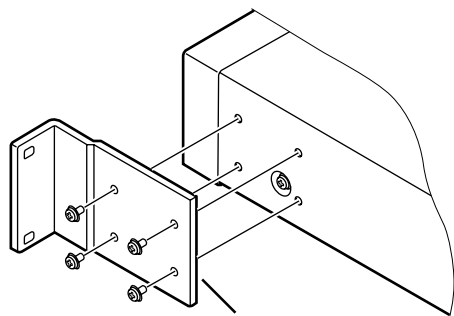
使用上のご注意

設置について

- 水平で安定した場所に置いて使用してください。
  ぐらつく場所、不安定な場所、振動の大きい場所でのご使用は避けてください。
- 放熱は妨げないでください。
  毛足の長い敷物の上などでのご使用は避けてください。また本機を布などでくるんで使用しないでください。放熱を妨げ、故障の原因になります。
- 本機の上に物を乗せないでください。
- 熱を受けない所に設置してください。
  アンプなど、熱を発生する機器の上でのご使用は避けてください。ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱を避けるため、アンプよりできるだけ下の通風の良い棚に入れるようにしてください。
- 本機を複数台同時に、外部から電源をオン／オフするときは、突入電流が大きくなります。1 台当たりの値については、「**仕様**」(89ページ) をご確認ください。

注意

本機を EIAラックに設置する場合は、必ず別売の**ラックマウントキット (CB-A802)** をお使いください。それ以外のものを使用した場合、本品の破損やケガの原因となる可能性があります。
取り付け等の詳細はラックマウントキットの取扱説明書をご覧ください。

- 本機のラックマウントサイズは 2U です。
- ラックマウントキットは、EIA 規格のユニバーサルピッチ、ワイドピッチのどちらにも対応しております。

使用環境について

動作環境温度・湿度+5 ℃～+35 ℃　85 %RH以下

■ 設置禁止場所

・ 太陽光線や強力ライトが直接当たる場所
・ 埃や煙の多い場所
・ 振動のあるところ
・ 強電界や強磁界の場所
・ 熱源のそば
・ 電気的なノイズの多い場所
・ 静電ノイズの発生しやすい場所
・ 湿気の多い場所や風通しの悪い場所
・ 密閉されたラック

著作権について

- ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- 本機は、マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭及びそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

移動について

本機を輸送する際には、必ず製品付属の梱包箱を用いて振動や衝撃が加えられたり、落下したりしないようにしてください。輸送中に本機が熱を受けたり、水などがかかったりしないようにしてください。
また、輸送に先立っては必ずディスクは取り出し、ケーブル類も外してください。ディスクを入れたまま輸送するとディスクにキズを付けたり、プレーヤー内部を破損することがあります。ケーブルを接続したまま輸送すると、端子部分を破損することがあります。

特に注意していただきたいこと

再生中のプレーヤーを動かさないでください。再生中、ディスクは高速で回転しています。このときプレーヤーを持ち上げたり、移動したりするとディスクに傷を付けます。また、ディスクがセットされた状態で強い振動、衝撃が加わると、プレーヤーまたはディスクが破損することがあります。プレーヤーを移動するときには、再生をやめディスクを取り出してください。また、プレーヤーを持ち運ぶ際にも必ずディスクは取り出してください。

本機は精密な光学部品を搭載しています。設置されている室内の温度や埃の管理には十分ご注意ください。

レンズのクリーニングについて

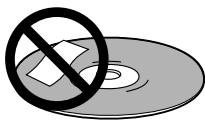
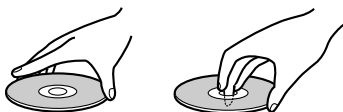
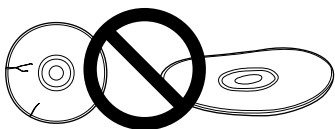
レンズにゴミや埃がたまると、音飛びしたり、画像が乱れることがあります。このような場合は「**保証とアフターサービス**」（裏表紙）をお読みのうえ、清掃をご依頼ください。市販されているクリーニングディスクは、レンズを破損する恐れがありますのでご使用にならないでください。

結露について

冬期などに本機を寒いところから温かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部やレンズ）に水滴が付きます（結露）。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて 1～2 時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。
夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露が起こることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

ディスクの取り扱いについて

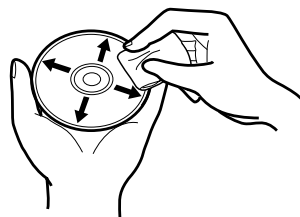
■ 取り扱いかた

- ディスクに紙やシールを貼り付けないでください。

- のりなどがはみ出した場合、故障の原因になります。
  特に、レンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、このような故障が起こる恐れがありますので、のりなどのはみ出しがないことを確認してから、ご使用ください。
- 信号面に触らないようにしてください。

- 損傷のあるディスク（ひびやそりのあるディスク）は使用しないでください。

- ディスクの信号面にキズや汚れを付けないでください。

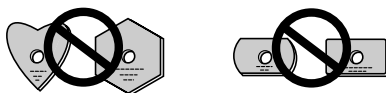
■ 保管

- 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所、極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

■ ディスクのお手入れ

- ディスクに指紋やホコリが付いた場合、音質や画質が低下することがあります。柔らかい布で内周から外周方向へ軽く拭いてください（円周に沿って拭かないでください）。

- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。またレコードスプレー、帯電防止剤などはご使用できません。
- ディスクの清掃には市販のディスククリーニングセットの使用をおすすめします。
- 汚れがひどい場合には、柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭きとり、その後乾いた布で水気を拭きとってください。

■ 特殊な形のディスクについて

本機では、特殊な形のディスク（ハート型や六角形等）は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。

本製品の使用または故障により生じた、データの損失ならびに、その他直接、間接の損害につきましては、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

再生できるディスクについて

一般ディスク互換性

本機は下記のマークを持ったソフトウェアを再生することができます。

DVD-Video

DVD-R

DVD-RW

Audio CD

Video CD

CD-R

CD-RW

本機はNTSCおよびPAL方式で記録されたディスクに適合しています。ディスクやパッケージに「NTSC」または「PAL」と表示されているディスクをご使用ください。
また、下記の種類のディスクは本機では再生できません。

DVD-Audio / SACD / DVD-RAM / DVD-ROM / CD-ROM

- レコーダー、またはコンピュータで記録したＤＶＤ-Ｒ/DVD-RWディスク、CD-R/CD-RWディスクを再生できないことがあります。（原因：ディスクの特性、傷、汚れ、プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など）

DVD-R/RWディスクの再生について

- 本機はＤＶＤビデオフォーマットで記録されたファイナライズ済みのDVD-R/RWディスクを再生することができます。
- 本機はビデオレコーディング(ＶＲ)フォーマットで記録されたDVD-RWディスクを再生することができます。
- 編集されたVRフォーマットのDVD-RWディスクを再生する場合、編集ポイントで一瞬画面が黒くなったり、編集ポイント直前の画面が一瞬表示されたりすることがあります。
- 本機は再生専用機です。DVD-R/RWディスクに記録することはできません。
- ファイナライズしていないDVD-R/RWディスクを再生することはできません。
- 本機は CPRM 対応 DVD-Rディスクには対応していません。

CD-R/RWディスクの再生について

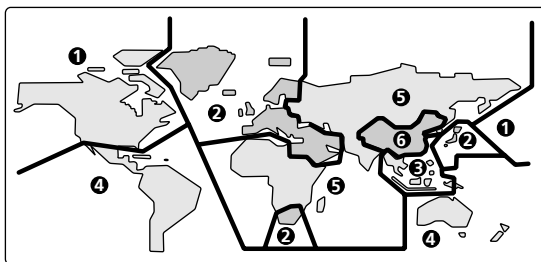
- 本機は音楽CDフォーマットとビデオCDフォーマットで記録されたCD-R/RWディスクを再生することができます。ただし、ディスクによっては「再生できない」、「ノイズが出る」、または「音が歪む」などの症状が起きることがあります。
- 本機は再生専用機です。CD-R/RWディスクに記録することはできません。
- ファイナライズしていない CD-R/RWディスクを再生することはできません。

コンピュータで記録したディスクの再生について

- コンピュータで記録したディスクはアプリケーションの設定、および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください。（詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください。）

DVD-R/RWおよびCD-R/RWディスクは、同じ箇所で再生をPAUSE/STILLした状態やメニュー表示をしたままで長時間放置すると、その箇所を読みづらくなってしまう場合があります。重要なデータを再生する場合はバックアップをとっておくことを推奨します。

DVD-Videoのリージョンについて

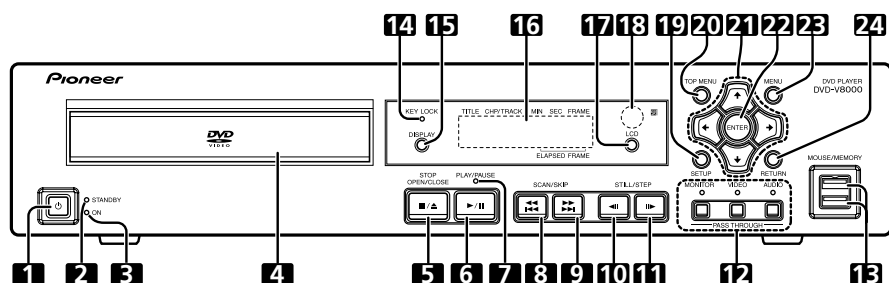
すべてのDVD-Videoディスクはケース等に適合するリージョンを示すリージョンコードが書かれています。本機のリアパネルにもリージョンコードが書かれており、異なったリージョンのディスクは再生することができません。ALLと書かれているディスクはすべてのプレーヤーで再生できます。

コピーコントロールCD について

当製品は音楽CD規格に準拠して設計されています。
CD規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

「DualDisc 」の再生について

「DualDisc」は、片面にDVD規格準拠の映像やオーディオが、もう片面にCD再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。
DVD面ではない、オーディオ面は、一般的なCDの物理的規格に準拠していないために、再生できないことがあります。「DualDisc」のDVD の面は再生可能です。ただし、DVD-Audioは再生できません。
なお、「DualDisc」の仕様や規格などの詳細に関しましては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

操作部と表示

フロントパネル

1 STANDBY/ONボタン(⏻)
電源を入/切（スタンバイ）します。

2 STANDBYインジケーター
電源スタンバイ時に点灯します。

3 ONインジケーター
電源オン時に点灯します。

4 ディスクトレイ

5 STOP OPEN/CLOSEボタン(■ / ▲)
ディスク再生中に押すと再生を停止します。停止中に押すとディスクトレイを開閉します。

6 PLAY/PAUSEボタン(►/II)
ディスクを再生します。再生中に押すと再生を一時停止します。

7 再生インジケーター
ディスク再生時に点灯します。

8 SCAN/SKIPボタン(◄◄ / I◄◄)
押すと前のチャプター/トラックにスキップします。長押しすると早戻しします。

9 SCAN/SKIPボタン(►► / ►►I)
次のチャプター/トラックの始めにスキップします。長押しすると早送りします。

10 STILL/STEPボタン(◄II)
再生中に押すと静止画像再生(STILL)状態に、押し続けると逆方向のスロー再生になります。STILL時に押すとコマ送り再生します。スロー再生中に押すとスロー再生の速さが変わります。（DVDのみに機能します。）

11 STILL/STEPボタン(II►)
再生中に押すと静止画像再生(STILL)状態に、押し続けるとスロー再生になります。STILL時に押すとコマ送り再生します。スロー再生中に押すとスロー再生の速さが変わります。

12 PASS THROUGHボタン／インジケーター (MONITOR、VIDEO、AUDIO)
モニター / 映像 /音声出力を、それぞれ切り換えます（67ページ）。

MONITOR :
ボタンを押してインジケーターを点灯させると、VIDEO INに入れられた映像をMONITOR VIDEO OUTへ出力します。

VIDEO :
ボタンを押してインジケーターを点灯させると、VIDEO INに入れられた映像をVIDEO OUTへ出力します。

AUDIO :
ボタンを押してインジケーターを点灯させると、AUDIO INに入れられた音声をAUDIO OUTへ音声入力レベル調整を介して出力します。

13 USB端子(MOUSE/MEMORY)
USBマウス/タブレット/USBメモリーを接続して使用できます。

14 KEY LOCKインジケーター
キーロック設定時に、禁止された動作を要求すると点滅します。

15 DISPLAYボタン
画面にディスク情報を表示します。

16 液晶表示部
14ページ参照

17 LCDボタン
液晶表示部の表示を切り換えます。

18 リモコン受光部

19 SETUPボタン
押すとSETUPメニュー画面を表示します。
１秒以上長押しするとADV. SETUPメニュー画面を表示します。
表示中に押すとSETUPメニュー画面やADV. SETUPメニュー画面を消します。

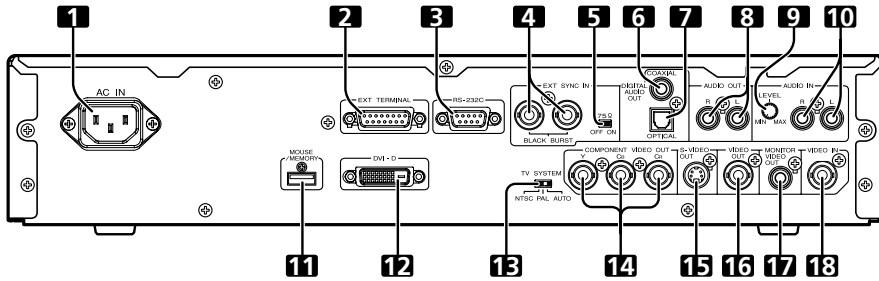
20 TOP MENUボタン
DVDビデオソフトの最上層のメニュー画面を表示します。

21 カーソルボタン(⬆、⬇、⬅、➡)
項目を選択/変更します。
または、カーソルを上下左右に移動します。

22 ENTERボタン
設定/選択した項目を実行します

23 MENUボタン
DVDビデオソフトでは、ディスクメニューを表示します。
DVD-RW/ビデオCD/CDではディスクナビゲーターを表示します。

24 RETURNボタン
SETUPメニュー画面やメニュー画面などが表示されているときに押すと一つ前の項目に戻ります。

リアパネル

1　電源コード接続端子(AC IN)

2　Extend Termial 端子(EXT TERMINAL)

外部スイッチを接続しDVD-V8000をコントロールできます。 (79ページ)

また、RS-232Cインタフェースとしても使用できます。

3　RS-232Cインタフェース端子

コンピュータを接続しDVD-V8000をシリアルコントロールできます。(74ページ)

4　外部同期信号入力端子(EXT SYNC IN)

外部同期信号の入出力端子です。(70ページ)

5　外部同期信号ターミネートスイッチ (75Ω ON/OFF)

外部同期信号をターミネートするためのスイッチです。
（出荷時のポジション：ON）

6　同軸デジタル音声出力端子 (DIGITAL AUDIO OUT COAXIAL)

同軸デジタル音声を出力します。

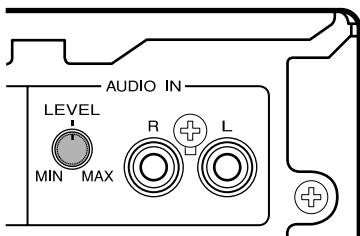
7　光デジタル音声出力端子 (DIGITAL AUDIO OUT OPTICAL)

光デジタル音声を出力します。

8　音声出力端子(AUDIO OUT L、R)

アナログ音声を出力します。

9　音声入力レベル調整つまみ (AUDIO IN LEVEL)

音声入力端子に入った音声のレベルを調節します。
出荷時はセンターポジションで、左 (MIN) 側に回すと小さくなり、右 (MAX) 側に回すと大きくなります。

注意

- DVD-V8000は映像入力端子および音声入力端子を備えており、入力信号として1 Vp-pのコンポジット映像信号および2 Vrms (0 dBfs)のアナログ音声信号をサポートします。上記信号レベル以上の過大信号を入力した場合、スルーされる出力信号は映像の乱れ、音声の歪み等が発生する恐れがあります。
- 外部音声入力レベル調整つまみによる調整範囲は、−∞から+6 dBです。ただし、スルーされる音声出力信号レベルが2 Vrms(0 dBfs)以下の範囲でご使用ください。2 Vrmsより大きい音量にしますと、音声の歪み等が発生する恐れがあります。

10　音声入力端子(AUDIO IN L、R)

アナログ音声を外部入力します。(67ページ)

11　USB端子(MOUSE/MEMORY)

USBマウス/タブレット/USBメモリーを接続して使用できます。

12　DVI 出力端子(DVI-D)

DVI 映像を出力します。

13　TVシステムスイッチ (TY SYSTEM NTSC/PAL/AUTO)

ディスクを再生する時、ディスクに記録されているテレビ方式に合わせて、映像出力TV方式を切り換えます。
（出荷時のポジション：AUTO）

14　コンポーネント映像出力端子 (COMPONENT VIDEO OUT Y、CB、CR)

コンポーネント映像を出力します。

15　S映像出力端子(S-VIDEO OUT)

S映像を出力します。

16　コンポジット映像出力端子(VIDEO OUT)

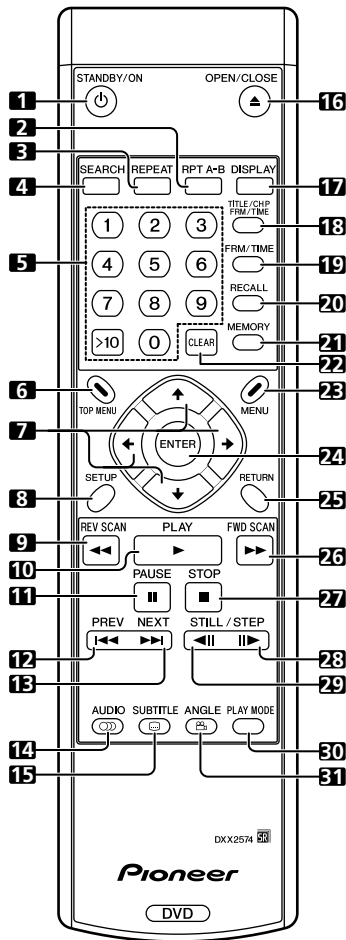
コンポジット映像を出力します

17　モニター映像出力端子 (MONITOR VIDEO OUT)

モニター映像を出力します。（16ページ）

18　コンポジット映像入力端子(VIDEO IN)

コンポジット映像を外部入力します。(67ページ)

リモートコントロールユニット

1 STANDBY/ONボタン(⏻)
電源を入/切（スタンバイ）します。

2 RPT A-Bボタン
指定した箇所をリピート再生します。

3 REPEATボタン
チャプター（トラック）／タイトル／全タイトルのリピートを行います。

4 SEARCHボタン
サーチを実行します。

5 数字ボタン(0〜9，>10)
見たい/聞きたいタイトル／チャプター／トラックを指定して再生したいとき、またはメニュー画面で項目を選択するときなどに使います。2桁の数字を指定したいときは >10 を押した後に数字ボタンを押します。

6 TOP MENUボタン
DVDビデオソフトの最上層のメニュー画面を表示します。

7 カーソルボタン(↑、↓、←、→)
項目を選択／変更します。
またはカーソルを上下左右に移動します。

8 SETUPボタン
SETUP画面を表示します。
1秒以上長押しするとADV. SETUPメニュー画面を表示します。
表示中に押すとSETUPメニュー画面やADV. SETUPメニュー画面を消します。

9 REV SCANボタン(◀◀)
映像や音声の早戻しします。押すたびに3段階に速さが変わります。

10 PLAYボタン(▶)
ディスクを再生します。

11 PAUSEボタン(⏸)
映像／音声を再生中に押すと、映像／音声が一時停止します。もう一度押すと通常の再生に戻ります。

12 PREVボタン(⏮)
現在再生中のチャプター／トラックの始めに戻ります。

13 NEXTボタン(⏭)
次のチャプター／トラックの始めに送ります。

14 AUDIOボタン
再生中の音声を切り換えます。

15 SUBTITLEボタン
再生中に字幕を切り換えます。

16 OPEN/CLOSEボタン(⏏)
ディスクトレイを開閉します。

17 DISPLAYボタン
ディスク情報を表示します。

18 TITLE/CHP FRM/TIMEボタン
タイトル／チャプター／フレーム／タイムサーチを行います。

19 FRM/TIMEボタン
フレーム／タイムサーチを行います。

20 RECALLボタン
COMMAND STACKの呼び出し画面を表示します。

21 MEMORYボタン
COMMAND STACKの入力画面を表示します。

22 CLEARボタン
リピート再生、ランダム再生、プログラム再生などで設定した内容を取り消します。

23 MENUボタン
DVDビデオソフトでは、ディスクメニューを表示します。
DVD-RW／ビデオCD／CDではディスクナビゲーターを表示します。

24 ENTERボタン
設定/選択した項目を実行します

25 RETURNボタン
基本設定画面やメニュー画面などが表示されているときに押すと一つ前の項目に戻ります。

26 FWD SCANボタン(▶▶)
映像や音声の早送りします。押すたびに3段階に速さが変わります。

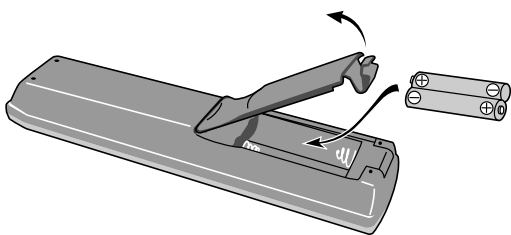
27 STOPボタン(■)
ディスクを停止します。

28 FWD STILL/STEPボタン(⏸▶)
再生中に押すと静止画像再生(STILL)状態に、押し続けるとスロー再生になります。STILL時に押すとコマ送り再生します。スロー再生中に押すとスロー再生の速さが変わります。

29 REV STILL/STEPボタン(◄II)
再生中に押すと静止画像再生(STILL)状態に、押し続けると逆方向のスロー再生になります。STILL時に押すとコマ送り再生します。スロー再生中に押すとスロー再生の速さが変わります。（DVDのみに機能します。）

30 PLAY MODEボタン
Play Modeメニューを表示します。

31 ANGLEボタン( )
映像のアングルを切り換えます。

リモコンに乾電池を入れる
裏ブタを開けて単3形乾電池を入れます。
- 乾電池のプラス(＋)とマイナス(－)の向きをリモコンに表示されている極性の表示通りに入れてください。

注意
- 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池は同じ形状でも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間（1 ヵ月以上）使用しないときは、乾電池の液もれを防ぐために乾電池を取り出してください。
  もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよくふきとってから新しい乾電池を入れてください。
- 不要となった電池を廃棄する際は、各自治体の指示(条例)に従って処理してください。

警告

電池を直射日光の強いところや、炎天下の車内・ストーブの前などの高温の場所で使用・放置しないでください。電池の液漏れ、発熱、破裂、発火の原因になります。また、電池の性能や寿命が低下することがあります。

■ リモコンの操作範囲
リモコンは前面部のリモコン受光部に向けて操作します。リモコンの距離は 7 m以内、またリモコン受光部を基準にして左右 30˚までの範囲で操作できます。
- リモコン受光部に直射日光や蛍光灯などの強い光が当たると、誤動作することがあります。

マウスによる操作
DVD-V8000ではリモコンの他にマウスを使用し操作することができます。
フロントパネルおよびリアパネルの MOUSE/MEMORY 端子にUSB接続のマウスを接続できます。
マウスで操作できる機能は以下の通りです。

1. SETUP画面
指マーク () のマウスカーソルが表示される位置でマウスを左クリックすると設定を選択、変更できます。マウスの右クリックで前の画面に戻ります。

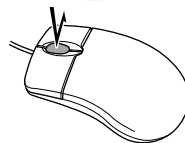
2. ADV. SETUP画面
44ページの「ADV. SETUP」参照。

3. ビデオブラックボード機能
マウスやペンタブレットを使い、フリーハンドで画面上に描画する事ができます。
65ページの「ビデオブラックボード機能」参照。

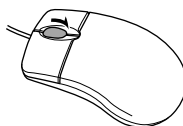
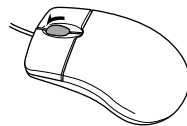
4. プレーヤーコントロール機能
画面にプレーヤーコントロールアイコンが表示され、マウスを使ってコントロールできます。
64ページの「プレーヤーコントロールパネルについて」参照。

5. 映像再生時のホイール操作
DVD-V8000ではマウスのホイールを使い、映像再生時に操作する事ができます。

(1) ホイールのクリック
映像再生中にホイールをクリックすると映像が静止画になります。静止画時にクリックすると再生を再開します。

再生／静止画

(2) ホイールの手前方向回転
再生時にホイールを手前に回転すると早送りします。静止画時にホイールを手前に回転するとコマ送りします。

(3) ホイールの奥方向回転
再生時にホイールを奥方向に回転すると早戻しします。DVDディスクのみ、静止画時にホイールを奥方向に回転するとコマ戻しします。

再生時：►►
静止画時：II►

再生時：◄◄
静止画時：◄II（DVDのみ）

メモ
- ＣＤ再生時も同様に操作できます。再生中にホイールをクリックするとポーズ状態になり、ポーズ時にクリックすると再生を再開します。また、再生時にホイールを回転させると早送り、早戻しを行いますが、ポーズ時にはホイールの回転は効きません。

本体表示部

本体表示部の表示

DVD-V8000では16文字 x 2行表示可能な液晶ディスプレイ（LCD）を持ち、プレーヤー単体で動作状態のモニター（再生状態・時間情報・エラー発生状況等）および設定の確認ができます。表示される項目は、本体の LCDボタンを押すごとに①〜④のように切り換わります。

パワーオン時は下記①の表示になります。
① ディスク種別と状態
② 再生モード
③ 映像出力モード
④ DVI 出力モード

下記の⑤、⑥場合には①〜④の表示に優先して表示を行います。
⑤ **ADV. SETUP設定時：設定項目と設定状態**
ADV. SETUP設定時は、選択されている項目とその設定状態が本体表示部に表示され、モニターが接続されていなくても、本体表示部の表示だけで設定の変更ができます。（COMMAND STACK、WEEKLY TIMER、EXTEND TERMINAL等の設定が複雑な項目は除きます。）
⑥ **エラー発生時：エラー内容（もしくはエラーコード）**
パワーオン時の自己診断、または再生時等にメカ・サーボ系のエラーが発生した時はエラーの内容が表示されます。

また、本体 DISPLAYボタンを押しながら ON/STANDBYボタンを押してパワーオンすると、画面に通電時間・再生時間（アワーメーター）が表示されますが、同じ表示を本体表示部にも表示します（68ページ）。何かボタン操作があると、この表示は消えて通常表示になります。
パワーオン時に本体表示部のバックライトは点灯していますが、本体やリモコンのボタン、EXTEND TERMINALのボタン、マウスによる操作が何もない状態が3分続くと消灯します。その後何か操作があったら、その操作に応じた動作をするとともにバックライトを再び点灯します。

例外：
バックライト消灯状態で本体の LCDボタンを押すと、まずバックライトを点灯するだけで、表示内容の切り換えは行いません。バックライトが点灯してから、再度本体の LCDボタンを押すと表示が切換わります。

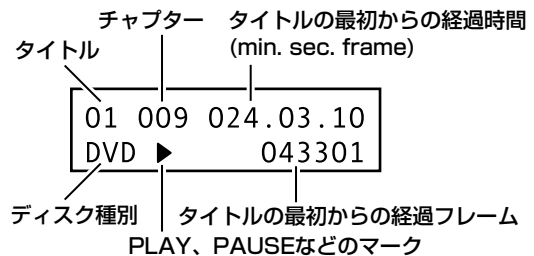
コントラスト調整

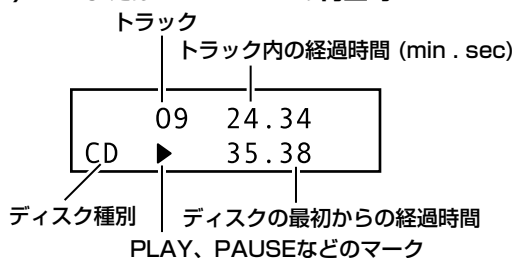
本体の　LCDボタンを押し続けると、以下のような表示のLCDのコントラストを調整するモードに入ります。ボタンを押している間 Min と Max の間でコントラストレベルの増減を繰り返し、好みのコントラストのところでボタンを離すとそのレベルに設定されます。

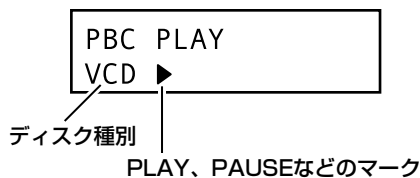
```
CONTRAST ADJUST
 Min ■■■■□□ Max
```

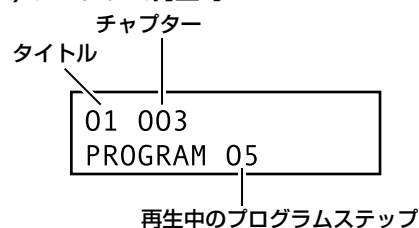
表示仕様の詳細

① ディスク種別と状態

a) DVD再生時

- ディスクのタイトルによっては、経過時間とフレームは表示されません。

b) CD または Video CD の再生時

注意
- トラックによっては、上段と下段の経過時間の更新にズレが生じます。

c) Video CD の Playback Control 再生時

② 再生モード表示

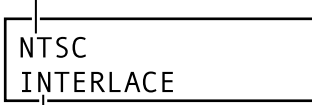
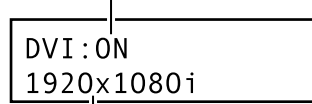
a) プログラム再生時

b) リピート再生時

リピートするチャプター、タイトル、トラックナンバー

```
REPEAT
CHAPTER 01-005
```

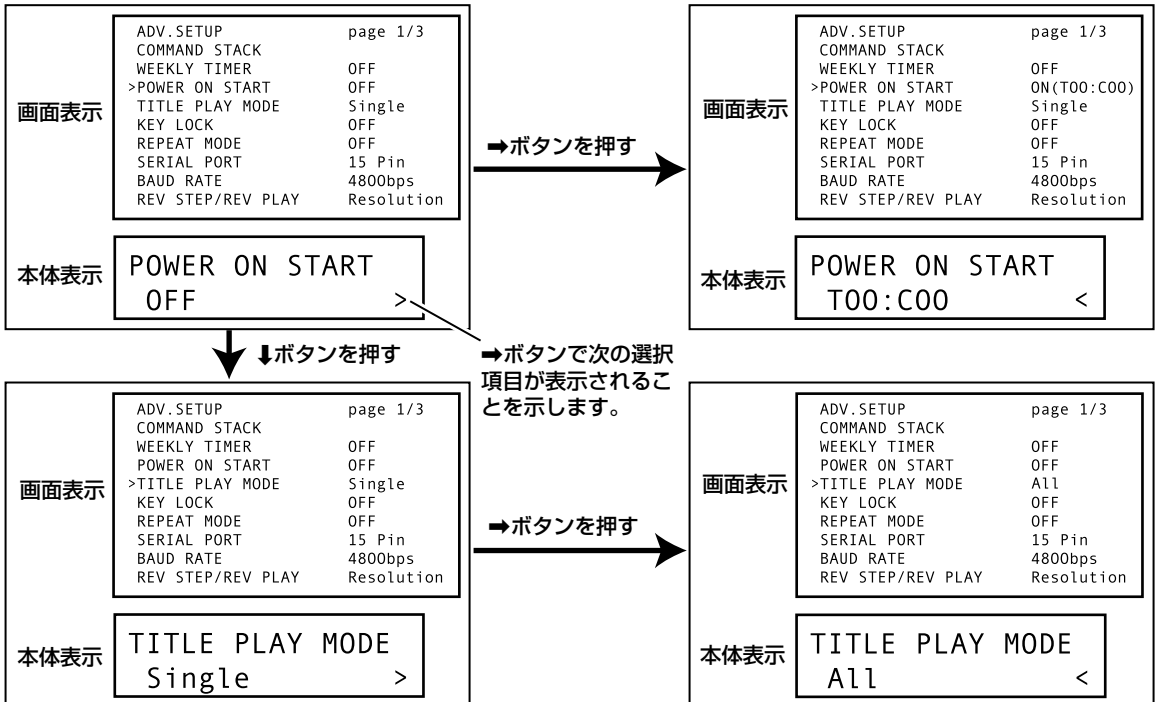
リピートのモード (CHAPTER、TRACK、TITLE、ALL、A-B または PROGRAM)

c) Command Stack 再生時

③ 映像出力モード表示

④ DVI 出力モード

● 解像度の表示は下記のいずれかになります。
VGA[640x480]
720x480i
720x480p
720x576i
720x576p
1280x720p
1920x1080i

ADV. SETUP 設定時の表示

ADV. SETUP設定時は、設定項目とその設定状態を表示します。
これにより、本体表示と本体操作ボタンでADV. SETUPの設定が可能です。

ADV.SETUP時の本体表示例

● ADV. SETUP時の本体表示部の表示の詳細は、82～83ページをご覧ください。

ディスク情報の表示

ディスク再生中にDISPLAYボタンを押すと、そのディスクのトラック／チャプター／タイトル情報や、DVDの場合はビデオ転送レートなどのディスク情報を画面に表示することができます。
ディスク情報は画面上部に現れます。このとき再度DISPLAYボタンを押すと表示される情報が切り換わります。

DVD再生時

Play	▶ DVD			
	Current / Total	Elapsed	Remain	Total
Title	1/3	2.23	138.36	138.59
Frame		4295		250470
Audio	1 English Dolby Digital 3/2.1CH	Subtitle	1 English	Angle 1

Play	▶ DVD			
	Current / Total	Elapsed	Remain	Total
Chapter	2/36	0.06	1.40	1.46
Frame		196		3180
#	Tr. Rate : ▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮			6.0Mbps

DVD-Video再生時に「#」マークが表示された場合は、24フレーム／秒のプログレッシブ映像を意味します。

Still	⏯ DVD			
	Current / Total	Elapsed	Remain	Total
Title	1/1	0. 05 00	19. 55	20. 00
Frame		151		36000
Audio	1 English	Subtitle	- -	Angle 1

VRフォーマットのDVD-RW再生時

Play	▶ DVD-RW Original			
	Current / Total	Elapsed	Remain	Total
Title	1/32	0.08	30.22	30.30
Audio	1 Dolby Digital 2/0CH	Subtitle	- -	

Play	▶ DVD-RW Original
	Current / Total
Chapter	1/1
Tr. Rate	▮▮▮▮▮▮ 4.3Mbps

ビデオCD再生時

Play	▶ VCD			
	Current / Total	Elapsed	Remain	Total
Track	2/16	0.23	4.20	4.43

Play	▶ VCD			
		Elapsed	Remain	Total
Disc		0.23	58.51	57.14

CD再生時

Play	▶ CD			
	Current / Total	Elapsed	Remain	Total
Track	2/16	1.07	4.40	5.47

Play	▶ CD			
		Elapsed	Remain	Total
Track		28.00	30.20	58.20

注意

- 表示の設定でOn Screen Displayを「Off」にしているときは、DISPLAYボタンを押してもディスク情報は表示されません（35ページ参照）。

本機では、画面表示にNECのフォント「FontAvenue」を使用しています。
FontAvenueはNECの登録商標です。

モニターアウト機能

■ Monitor OSD

16ページのディスク情報はすべての映像出力上に表示されますが、DVD-V8000は通常の映像出力用以外にモニター用のコンポジットビデオ出力を持っており、モニター映像出力端子だけにディスク情報を重ねて表示することができます。
このモニター出力だけに表示されるディスク情報のことを「Monitor OSD」と呼びます。
（接続方法は73ページ参照）
「Monitor OSD」はADV. SETUPで画面上部に表示/画面下部に表示/非表示の切り換えが可能です。
出荷時の設定では画面下部に表示します。（46ページ）

■ Monitor OSDの表示内容

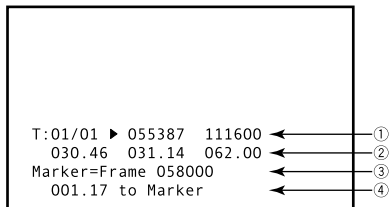
通常再生中(DVD Video)

① 現在タイトル／総タイトル数、
現在フレーム、
総フレーム、
② 現在タイトルエンドまでの残り時間、
現在タイトル先頭からの経過時間、
現在タイトルの総再生時間
③ 現在チャプター／総タイトル内の総チャプター数
④ 現在チャプターエンドまでの残り時間、
現在チャプター先頭からの経過時間、
現在チャプターの総再生時間

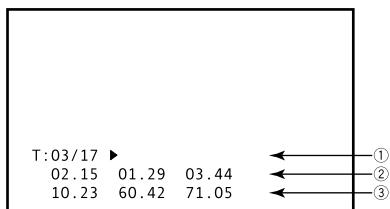
通常再生中(VRフォーマットのDVD-RW)

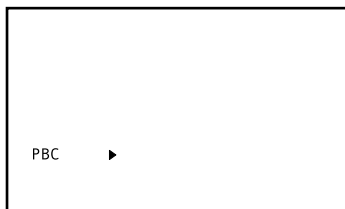
① 現在タイトル／総タイトル数
② 現在タイトルエンドまでの残り時間、
現在タイトル先頭からの経過時間、
現在タイトルの総再生時間
③ 現在チャプター／総タイトル内の総チャプター数

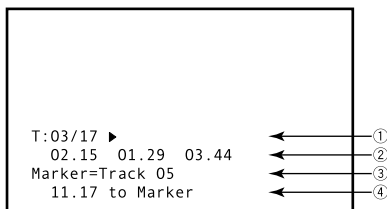
マーカー再生中(DVD Video)

COMMAND STACKのSegment PlayおよびChapter Playでマーカーを設定して再生した時

① 現在タイトル／総タイトル数、
現在フレーム、
総フレーム、
② 現在タイトルエンドまでの残り時間、
現在タイトル先頭からの経過時間、
現在タイトルの総再生時間
③ マークアドレス
④ マークアドレス到達までの残り時間

メニュー表示中

通常再生中(CD, Video CD)

① 現在トラック／総トラック数、
② 現在トラックエンドまでの残り時間、
現在トラック先頭からの経過時間、
現在トラックの総再生時間
③ ディスクエンドまでの残り時間、
ディスク先頭からの経過時間、
ディスクの総再生時間

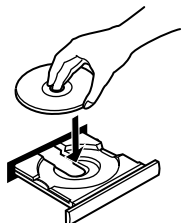
Playback Control 再生中(Video CD)

マーカー再生中(CD, Video CD)

RS-232Cコマンドでマーカーを設定して再生した時

① 現在トラック／総トラック数、
② 現在トラックエンドまでの残り時間、
現在トラック先頭からの経過時間、
現在トラックの総再生時間
③ マークアドレス
④ マークアドレス到達までの残り時間

ディスク再生

特に明示されない限り、本マニュアルで「DVD」とは、DVD-VideoおよびDVD-R/RWの事を表します。

1. プレーヤーの電源が入っていなければ、STANDBY/ONボタン（⏻）を押し電源を入れます。

2. STOP OPEN/CLOSEボタン（■/⏏）を押しディスクトレイをオープンします。

3. ディスクを装着します。

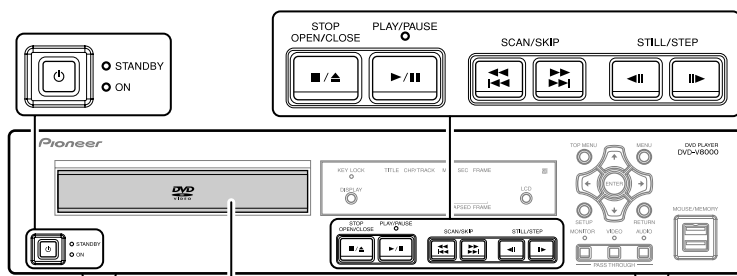
- レーベル面を上にして、ディスクトレイのガイドに合わせて置きます。

4. PLAY/PAUSEボタン（►/❚❚）を押して再生をスタートします。

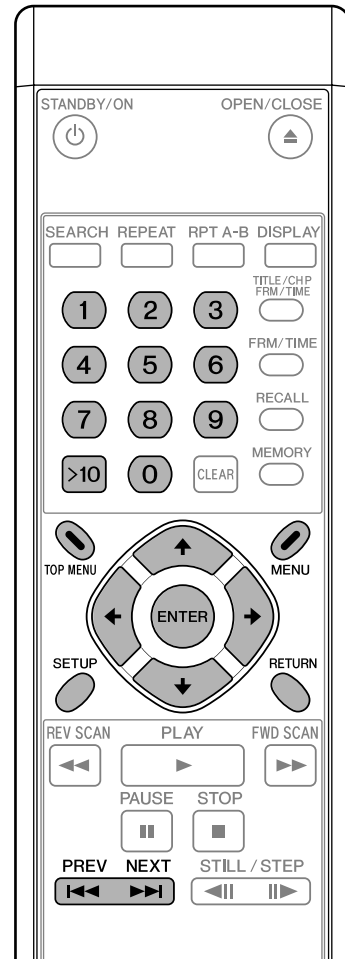
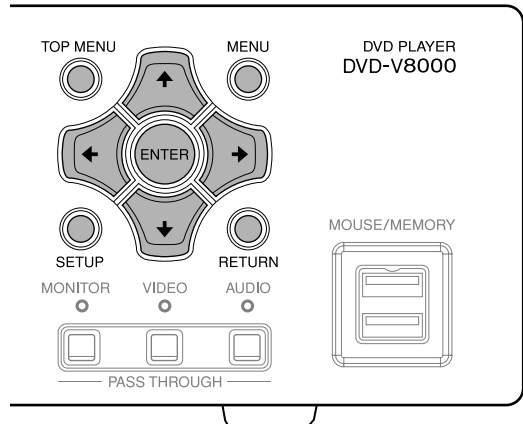
- DVDとVideo CDではメニューが表示される場合があります。操作方法は19ページの「**DVD-Video ディスクメニュー**」と「**Video CD PBCメニュー**」の項目を参照してください。

基本操作

下記の表にディスク再生に関する基本操作を示します。

PLAY/PAUSE （►/❚❚）ボタン	押すと再生を開始します。再生中に押すと再生を一時停止し、再度押すと一時停止した場所から再生を再開します。一時停止中に映像は表示されません。
STOP/OPEN/CLOSE （■/⏏）ボタン	再生中に押すと再生を停止します。停止中に押すとディスクトレイを開閉します。
SCAN/SKIP （◄◄ ❙◄◄）ボタン	押すと前のトラック/チャプターにスキップします。長押しすると早戻しします。
SCAN/SKIP （►► ►►❙）ボタン	押すと次のトラック/チャプターにスキップします。長押しすると早送りします。
STILL/STEP （❚❚►）ボタン	押すとコマ送りに、長押しするとスロー再生します。
STILL STEP （◄❚❚）ボタン	押すとコマ戻しに、長押しすると逆スロー再生します。（DVDのみ）

DVD-Videoディスクメニュー

多くのDVD-Videoディスクは観たい箇所を選択できるようメニューを持っています。
メニューは字幕や音声言語の選択などの機能や、スライドショーといった特別な機能を持っていることがあります。
DVD-Videoディスクによっては再生を開始した時に自動的にメニューが表示されますが、それ以外はMENUボタンまたはTOP MENUボタンを押したときにだけ表示されます。

ボタン	機能
TOP MENUボタン	DVDディスクの最上層のメニュー画面を表示します。
MENUボタン	DVDディスクのメニューを表示します。TOP MENUボタンと同じ動作をする場合があります。
⬅、➡、⬆、⬇ボタン	画面上のカーソルを移動します。
ENTERボタン	その時のカーソルの位置にある項目を選択します。
RETURNボタン	ひとつ前のメニュー画面に戻ります。
0～9、>10（数字）ボタン (リモコン)	番号を持ったメニューのオプションを選択します。（一部のディスクのみ）

Video CD PBCメニュー

一部のVideo CDはPBC (Playback control)と呼ばれるメニューを持っています。PBCメニューを持っているVideo CDはPLAYボタンを押すとPBCメニューが表示されます。また、番号ボタンを押すことでPBCメニューを操作することなく再生することも可能です。

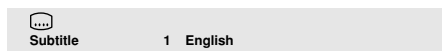
ボタン	機能
RETURNボタン	再生中に押すとPBCメニューを表示します。
0～9、>10（数字）ボタン (リモコン)	各トラックを再生します。
PREV（⏮）ボタン	前のメニューページがあれば表示します。
NEXT（⏭）ボタン	次のメニューページがあれば表示します。

注意

- Video CDでは、PBCメニューを表示して再生したときは、リピート再生、トラック／タイムサーチの機能は働きません。リピート再生等を行うには、メニューを出さずに停止中にPREVボタン、 NEXTボタンまたは数字ボタンを押してサーチモードで再生を開始してください。

DVDの字幕を切り換える

SUBTITLEボタンを押すと、現在選択されている字幕の情報を表示します。ディスク再生時はボタンを続けて押すことにより、字幕を切り換えることができます。

Subtitle 1 English

注意

- 字幕の切り換えがメニューからでしか行えないディスクもあります。TOP MENUボタンを押して、メニュー画面から切り換えてください。
- 字幕言語の設定については33ページをご覧ください。

DVDの音声言語を切り換える

AUDIOボタンを押すと、現在選択されている音声言語の情報を表示します。ディスク再生時はボタンを続けて押すことにより、音声言語を切り換えることができます。

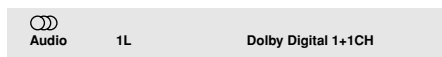
Audio 1 French Dolby Digital 3/2.1CH

注意

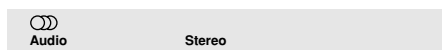
- 音声の切り換えがメニューからでしか行えないディスクもあります。TOP MENUボタンを押して、メニュー画面から切り換えてください。
- 音声言語の設定については33ページをご覧ください。

VRフォーマットのDVD-RWの音声チャンネルを切り換える

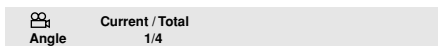
VRフォーマットで記録されたDVD-RWディスクの場合、AUDIOボタンを押すと現在選択されている音声チャンネルの情報を表示します。ディスク再生時はボタンを続けて押すことにより、メイン、サブ、ミックス、と音声チャンネルを切り換えることができます。

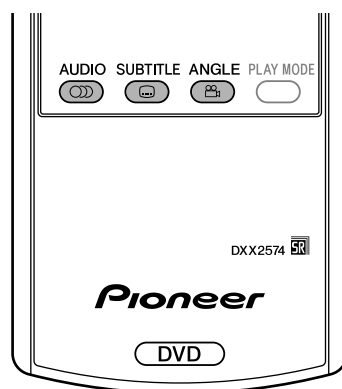
Audio 1L Dolby Digital 1+1CH

Video CDの音声チャンネルを切り換える

Video CDの場合、AUDIOボタンを押すと、現在選択されている音声チャンネルの情報を表示します。ディスク再生時はボタンを続けて押すことにより、ステレオ、左チャンネル、右チャンネル、と音声チャンネルを切り換えることができます。

Audio Stereo

DVDのマルチアングル映像を切り換える

一部のDVDには複数の映像アングルを持っているものがあります。
マルチアングル映像を再生している時は、画面にカメラアイコン ( ) が表示され、別アングルの映像があることがわかります。マルチアングル映像再生中はANGLEボタンでアングルを切り換えることができます。

Angle Current / Total 1/4

メモ

- 基本設定で、画面にカメラアイコン ( ) を表示しないようにできます（35ページ）。

チャプター（トラック）スキップ

[フロントパネル操作]

SCAN/SKIP ▶▶ ▶▶| ボタンを押すと、次のチャプター（トラック）に進みます。

SCAN/SKIP ◀◀ |◀◀ ボタンを押すと、再生しているチャプター（トラック）の始めにに戻ります。さらに押すと、一つ前のチャプター（トラック）に戻ります。

[リモコン操作]

NEXT ▶▶| ボタンを押すと、次のチャプター（トラック）に進みます。

PREV |◀◀ ボタンを押すと、再生しているチャプター（トラック）の始めにに戻ります。さらに押すと、一つ前のチャプター（トラック）に戻ります。

早送り／早戻し

[フロントパネル操作]

再生中にSCAN/SKIP ▶▶ ▶▶| ボタンを押し続けると早送りします。

再生中にSCAN/SKIP ◀◀ |◀◀ ボタンを押し続けると早戻しします。

[リモコン操作]

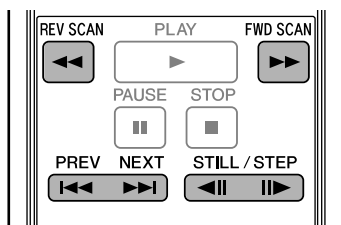
再生中にFWD SCAN ▶▶ ボタンを押すと早送りします。

- 早送り中に繰り返し押すと 3段階に早送りスピードを変えることができます。

再生中にREV SCAN ◀◀ ボタンを押すと早戻しします。

- 早戻し中に繰り返し押すと 3段階に早戻しスピードを変えることができます。

メモ

- CD再生中に早送り／早戻しすると音声が聞こえます。
- Video CDおよびDVD再生中に早送り／早戻しすると音声は聞こえません。
- ＤＶＤ再生中に早送り／早戻しすると字幕は表示されません。
- Video CD再生中に早送り／早戻しすると、トラックの終わりまたは始めで通常再生に戻ります。
- ＤＶＤ再生中に早送り／早戻しすると、ディスクによってはチャプターが変わるときに通常再生に戻ります。

DVDとVideo CDの静止画／コマ送り

再生中にSTILL/STEP ||▶ ボタンを押す。

- 静止画になります。繰り返し押すと1コマずつ進みます。
- DVDではコマ戻しもできます。

再生中にSTILL/STEP ◀|| ボタンを押す。（DVDのみ）

- ADV. SETUPメニューの「REV STEP/REVPLAY」の設定（45ページ）により動作が異なります。

「Resolution」のとき：
画質優先で1コマずつ戻ります。

「Smooth」のとき：
ボタンに対する応答速度優先で1コマずつ戻ります。

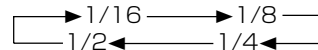
メモ

- 静止画、コマ送り中の音声は聞こえません。
- ディスクによっては、映像が　１コマずつ進まない／戻らない場合があります（映画など24コマ／秒の素材のディスクなど）。
- DVDで静止画がブレる場合は、基本設定の「Still Picture」を「Field」にすると（32ページ）、画像の垂直解像度が半分になりますが、ブレが抑えられます。
- ディスクによっては、ボタンを押しても静止画にならない場合があります。
- PAUSEボタンを押して一時停止したときは、映像が消えて背景色（青または黒画面）になります。

DVDとVideo CDのスロー再生

再生中にSTILL/STEP ||▶ ボタンを押し続ける。

- スロー再生中にSTILL/STEP ||▶ ボタン押すと、以下のように再生速度が変わります。

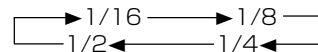
→1/16 → 1/8 → 1/4 → 1/2 →（1/16へ戻る）

- DVDでは逆方向のスロー再生もできます。

再生中にSTILL/STEP ◀|| ボタンを押し続ける。（DVDのみ）

- 逆方向のスロー再生中に ◀|| ボタンを押すと、再生速度が変わります。
- ADV.SETUPメニューの「REV STEP/REVPLAY」の設定（45ページ）により動作が異なります。

「Resolution」のとき：

「Slow 1」 ←→ 「Slow 2」

「Smooth」のとき：

メモ

- スロー再生中の音声は聞こえません。
- PLAYボタンを押すと通常再生に戻ります。

03 ディスク再生

サーチ再生

DVDのタイトルサーチ

[再生中のとき]

1. TITLE/CHP FRM/TIMEボタンを押す。

- 画面にタイトル番号が点滅表示されます。

Title 1

2. 数字ボタン（0～9）でタイトル番号を入力する。

- タイトル 3のときは数字ボタンの「3」を押します。

Title 3

- タイトル 10のときは数字ボタンの「1」「0」を順番に押します。

Title 10

3. SEARCHボタンを押す。

- 指定したタイトルの再生を始めます。
- SEARCHボタンの代わりにPLAYボタンやENTERボタンを押しても、指定したタイトルの再生を始めます。

[停止中のとき]

1. 数字ボタン（0～9、>10）でタイトル番号を入力する。

- タイトル 3のときは数字ボタンの「3」を押します。

Title 3

- タイトル 10のときは数字ボタンの「>10」「1」「0」を順番に押します。

Title 10

- 指定したタイトルの再生を始めます。

メモ

- タイトルによってはメニュー画面を使って選択することもできます。MENUボタンを押して、メニュー画面で選択してください。

チャプター（トラック）サーチ

[ノーマルサーチ]

1. TITLE/CHP FRM/TIMEボタンを押す。

- DVDでは2回押すとチャプター番号が点滅します。
- Video CDやCDでは1回押すとトラック番号が点滅します。

2. 数字ボタン（0～9）でチャプター番号（トラック番号）を入力する。

- チャプター（トラック）31のときは、数字ボタンの「3」「1」を順番に押します。
- チャプター（トラック）117のときは、数字ボタンの「1」「1」「7」を順番に押します。

3. SEARCHボタンを押す。

- 指定したチャプター（トラック）の再生を始めます。
- SEARCHボタンの代わりにPLAYボタンやENTERボタンを押しても、指定したチャプター（トラック）の再生を始めます。

[ダイレクトサーチ]

1. 再生中に数字ボタン（0～9、>10）でチャプター番号（トラック番号）を入力する。

- チャプター（トラック）3のときは数字ボタンの「3」を押します。
- チャプター（トラック）１７のときは、数字ボタンの「>10」「1」「7」を順番に押します。
- 指定したタイトルの再生を始めます。

メモ

- 数字ボタンではサーチできないディスクもあります。
- 画面にタイトル／チャプター（トラック番号）が点滅表示されているときに、CLEARボタンを2回押すと表示が消え、サーチ操作は中止されます。

DVDのフレームサーチ

1. FRM/TIMEボタンを押してフレーム入力モードにする。

- 画面にフレーム番号が点滅表示されます。

Frame : 0

2. 数字ボタン（0～9）でフレーム番号を入力する。

- ２１９１１３フレームのときは数字ボタンの「2」「1」「9」「1」「1」「3」を順番に押します。

Frame : 219113

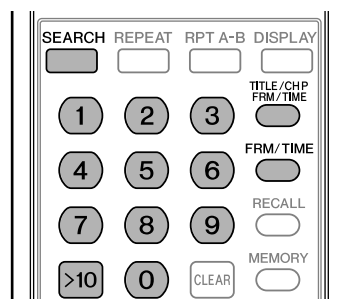
3. SEARCHボタンを押す。

- 指定したフレームで静止画になります。

メモ

- スライドショーの入ったディスクや映画（24コマ／秒）素材のディスクなどでは、フレームサーチの精度が得られない場合があります。
- ディスクによっては、タイトルやチャプターの境界の前後数フレームのサーチの精度が得られない場合があります。
- タイトルによっては機能しない場合があります。その場合は実行できない旨のメッセージが画面に表示されます。

注意

- VRフォーマットで記録されているDVD-RWディスクでは、フレームサーチはできません。

DVDとVideo CDのタイムサーチ

1. FRM/TIMEボタンを押してタイム入力モードにする。

- 画面にタイム番号が点滅表示されます。
- DVDでは2回押すとタイム番号が点滅します。

Time :　0.00

2. 数字ボタン（0～9）でタイム番号を入力する。

- 21分43秒のときは数字ボタンの「2」「1」「4」「3」を順番に押します。

Time :　21.43

3. SEARCHボタンを押す。

- 指定したタイム番号画面から再生を始めます。
- SEARCHボタンの代わりにPLAYボタンやENTERボタンを押しても、指定したタイム番号画面から再生を始めます。

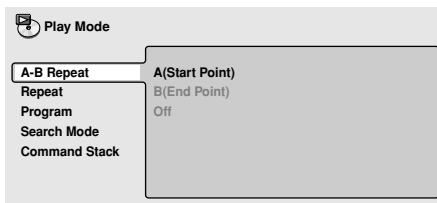
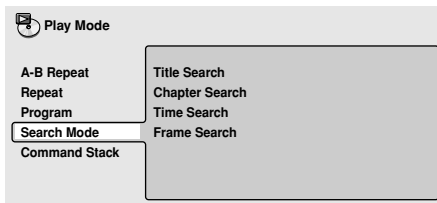
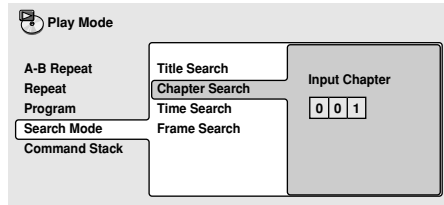
メモ

- 指定したタイム番号画面より少しずれた位置からから再生が始まる場合があります。
- DVDでは停止中からのタイムサーチはできません。
- Video CDのPBC再生時は、タイムサーチはできません。

Play Modeメニューでサーチ再生する

Play Modeメニューの「Search Mode」でサーチ再生できます。

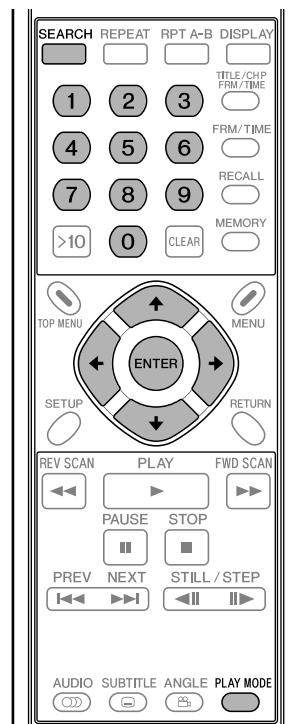
- DVDではタイトルサーチ、チャプターサーチ、フレームサーチ、タイムサーチができます。
- CDではトラックサーチができます。
- Video CDではトラックサーチとタイムサーチができます。

1. ディスクをロードし、PLAY MODEボタンを押してPlay Modeメニューを表示する。

2. カーソルボタン（⬇）を押して「Search Mode」を選択する。

4. カーソルボタン（⬅、➡、⬆、⬇）を押してサーチの種類を選択し、数字ボタン（0～9）でタイトル番号／チャプター番号（トラック番号）／タイム番号／フレーム番号を入力する。

- タイムサーチでは、現在再生中のタイトル（DVD）またはトラック（Video CD）の分と秒を指定します。
  たとえば、「4」「5」「0」「0」と入力すると、45分00秒から再生を開始します。
  1時間20分30秒から再生を開始したいときは、80分30秒ということで「8」「0」「3」「0」と入力します。

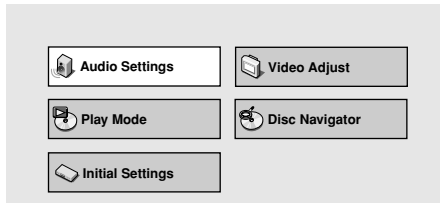
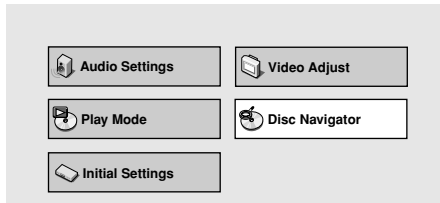
4. ENTERボタンを押す。

- 指定した所から再生を開始します。

注意

- タイムおよびフレームを指定してサーチするには、ディスクは再生中でなければなりません。
- PBCモードで再生中のVideo CDディスクではサーチできません。
- VRフォーマットで記録されているDVD-RWディスクでは、フレームサーチはできません。

Disc Navigatorでサーチ再生する

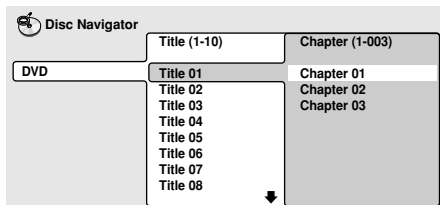
Disc Navigatorを使ってディスクの内容をブラウズし、再生したい場所を探すことができます。

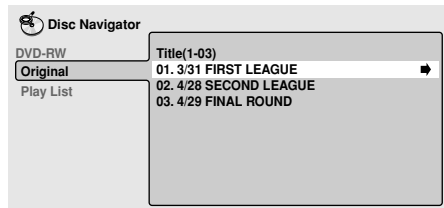
1. ディスクをロードし、SETUPボタンを押してSETUP画面を表示する。

2. カーソルボタン（⬅、➡、⬆、⬇）を押して「Disc Navigator」を選択し、ENTERボタンを押す。

- VRフォーマットの DVD-RW、CD、Video CDがロードされているときは、MENUボタンで Disc Navigatorを表示することもできます。

3. カーソルボタン（⬅、➡、⬆、⬇）を押して再生したい箇所を選択する。

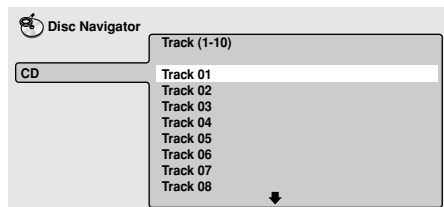
- ロードされているディスクによってDisc Navigatorで表示される内容が異なります。

[DVDディスクのとき]

- 左側にタイトル、右側にチャプターが表示されます。
- タイトルを選択すると、そのタイトルの中のチャプターが表示されます。

[VRフォーマットのDVD-RWディスクのとき]

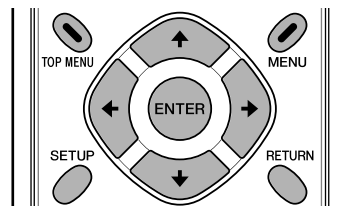
- 「Play List」と「Original」を選択でき、さらにタイトルを選択し、➡ ボタンを押すとタイトルの内容を見ることができます。

- ディスク再生中は、「Original」と「Play List」の切り換えはできません。
- すべてのVＲフォーマットのDＶD-RＷディスクがPlay Listを持っている訳ではありません。

[CDとVideo CDのとき]

- トラックリストが表示されます。

4. ENTERボタンを押す。

- 指定した箇所の再生を開始します。

注意

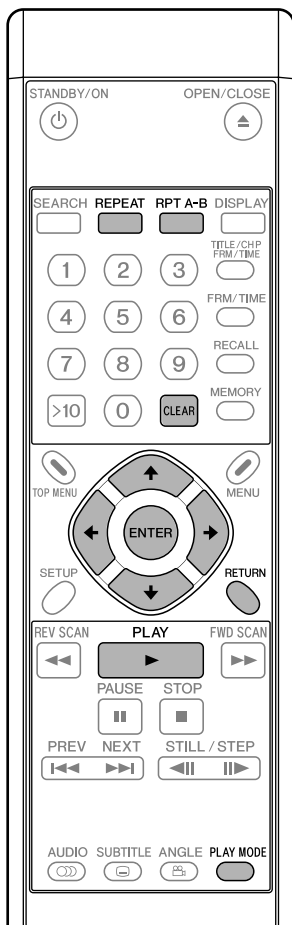
- Disc Navigatorは、ディスクがロードされていないと使用できません。
- Video CDでPBCメニュー再生中は、Disc Navigatorを使用できません。

リピート再生

注意

- ＤＶＤの場合、タイトルによりリピート再生ができないことがあります。
- Video CDのPBC再生時はリピート再生できません。リピート再生するには、メニューを出さずに再生を始めて（19ページ）、リピート操作を行ってください。
- リピート再生中にアングルを切り換えるとリピート再生はキャンセルされます。

1チャプター／1トラックリピート

1つのチャプターまたはトラックを繰り返し再生します。

1. 繰り返したいチャプターまたはトラックを再生中に、REPEATボタンを押して「Repeat Chapter」を表示させる。
- Video CDやCDでは「Repeat Track」を表示します。
- リピート再生を止めるときはCLEARボタンを押します。リピートモードは解除されますが、再生はそのまま続きます。

1タイトルリピート

1つのタイトルを繰り返し再生します。
- Video CDやCDではディスク1枚が1つのタイトルなので、ディスクのすべてを繰り返し再生します。

1. 繰り返したいタイトルを再生中に、REPEATボタンを押して「Repeat Title」を表示させる。
- リピート再生を止めるときはCLEARボタンを押します。リピートモードは解除されますが、再生はそのまま続きます。

DVDの全タイトルリピート

すべてのタイトルを繰り返し再生します。
- ADV. SETUPメニューで「TITLE PLAY MODE」が「All」に設定されているときのみ有効です（45ページ）。

1. 再生中に、REPEATボタンを押して「Repeat All」を表示させる。
- リピート再生を止めるときはCLEARボタンを押します。リピートモードは解除されますが、再生はそのまま続きます。

区間リピート

開始点 (A) と終了点 (B) を設定して、その区間を繰り返し再生します。
- 2秒未満の区間のリピートはできません。

1. 再生中に、繰り返したい区間の開始点（A）でRPT A-Bボタンを押す。
- 設定した開始点 (A) を取り消すときはCLEARボタンを押します。

2. 繰り返したい区間の終了点（B）でRPT A-Bボタンを押す。
- リピート再生を止めるときはCLEARボタンを押します。リピートモードは解除されますが、再生はそのまま続きます。

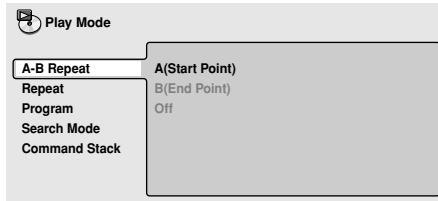
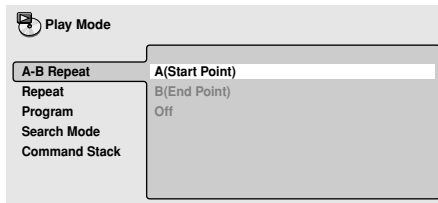
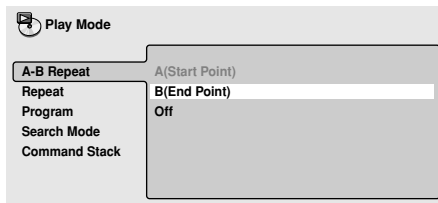
Play Modeメニューで リピート再生する

Play Modeメニューでもリピート再生することができます。

「A-B Repeat」(区間リピート)

開始点と終了点を設定し、その区間を繰り返し再生します。

- 2秒未満の区間のリピートはできません。

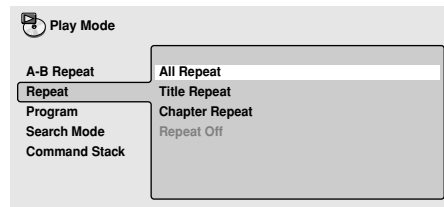
1．再生中に、PLAY MODEボタンを押して Play Modeメニューを表示し、「A-B Repeat」を選択する。

2. 「A(Start Point)」を選択し、繰り返したい区間の開始点（A）でENTERボタンを押す。

3. 「B(End Point)」を選択し、繰り返したい区間の終了点（B）でENTERボタンを押す。

- 「Off」を選択するとリピートモードは解除されますが、再生はそのまま続きます。
- リピート再生中にCLEARボタンを押しても、リピートモードは解除されます。

「Repeat」(リピート再生)

リピート再生にはディスクの種類によっていくつかの方法があります。また、プログラム再生と併用してリピート再生を行うことも可能です。

1．再生中に、PLAY MODEボタンを押して Play Modeメニューを表示し、「Repeat」を選択する。

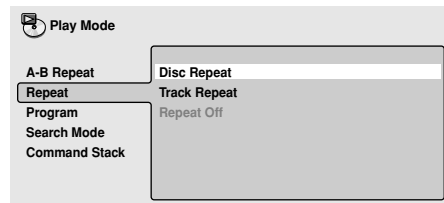
- リピート再生の種類が表示されますので、実行したいモードを選択して実行します。

■ DVDディスク再生時

All Repeat
全てのタイトルを繰り返し再生します。
ADV. SETUPで「TITLE PLAY MODE」を「All」に設定した場合のみ有効になります（45ページ）。

Title Repeat
現在再生中のタイトルを繰り返し再生します。

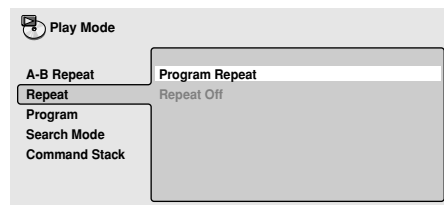
Chapter Repeat
現在再生中のチャプターを繰り返し再生します。

Repeat Off
通常の再生に戻ります。

■ CD/Video CD再生時

Disc Repeat
現在再生中のディスクを繰り返し再生します。

Track Repeat
現在再生中のトラックを繰り返し再生します。

Repeat Off
通常の再生に戻ります。

■ プログラム再生時

Program Repeat
実行中のプログラムを繰り返し再生します。

Repeat Off
通常のプログラム再生に戻ります。

- リピート再生中にCLEARボタンを押して通常の再生に戻すこともできます。

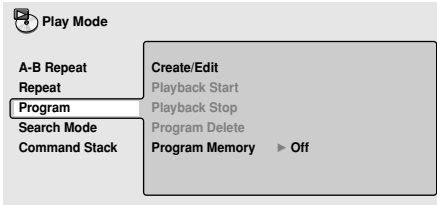
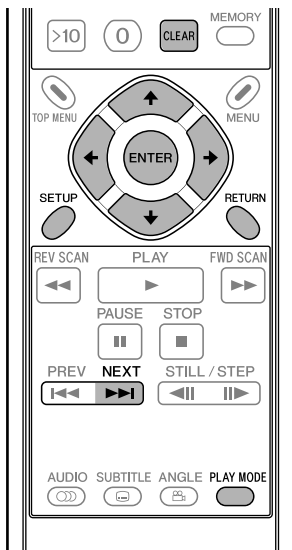
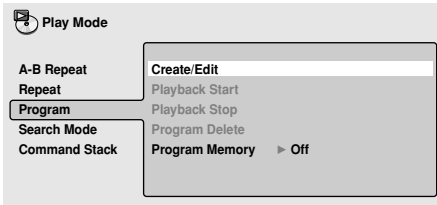
プログラム再生

プログラム再生では、タイトル／チャプター／トラックを再生したい順番に、24ステップまでプログラムすることができます。

注意

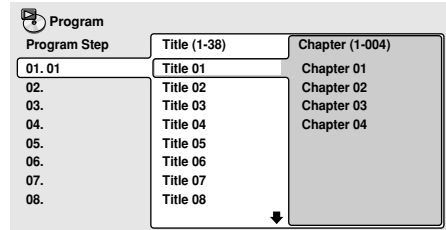
- VRフォーマットで記録されたDVD-RWディスクではプログラム再生できません。また、Video CDディスクのPBCモードで再生中およびDVDディスクのメニュー表示中はプログラム再生できません。

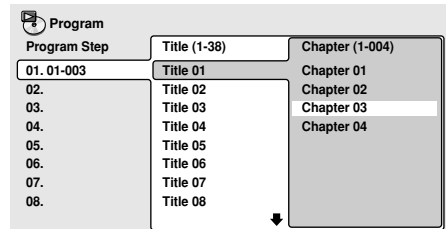
プログラムリストの作成

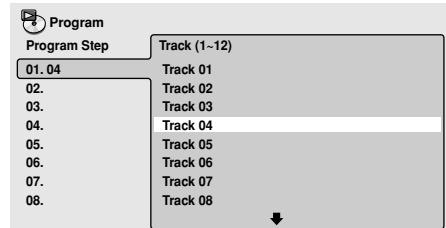
1. ディスクをロードし、PLAY MODEボタンを押してPlay Modeメニューを表示し、「Program」を選択する。

2. カーソルボタン（➡）を押して「Create/Edit」を選択し、ENTERボタンを押す。

3. プログラム再生したいタイトル／チャプター／トラックを選択し、ENTERボタンを押す。

- この操作で1ステップのプログラム入力になります。

[DVDでタイトルを選ぶ]

カーソルボタン（⬆、⬇）を押してプログラム再生したいタイトルを選択し、ENTERボタンを押す。

[DVDでチャプターを選ぶ]

カーソルボタン（➡）を押して「Chapter」選択し、カーソルボタン（⬆、⬇）を押してプログラム再生したいチャプターを選択し、ENTERボタンを押す。

[Video CDやCDでトラックを選ぶ]

カーソルボタン（⬆、⬇）を押してプログラム再生したいトラックを選択し、ENTERボタンを押す。

4. 手順3を繰り返し、プログラム再生したいタイトル／チャプター／トラックをプログラムする。

メモ

- 24ステップまでプログラムすることができます。
- 一時停止をプログラムすることはできません。
- プログラムステップは追加・削除できます。28ページの「**プログラムリストの編集**」をご覧ください。

注意

- プログラムリスト作成中にRETURNボタンを押すと、作成したプログラムリスト（入力したプログラム）は無効になります。
  プログラムリストを保存するときは、PLAY MODEボタンまたはSETUPボタンを押してプログラムリスト作成モードを終了してください。

5. プレイボタン（►）を押して作成したプログラムを再生する。

メモ

- プログラム再生中にNEXTボタン（►►I）を押すと、次のプログラムステップに進みます。
- プログラム再生中にCLEARボタンを押すと、プログラム再生中を解除し、通常再生になります。
- プログラム再生を繰り返すことができます（26ページ）。

注意

- 停止中にCLEARボタンを押すと、プログラムリストは消去されます。

プログラムリストの編集

1. PLAY MODEボタンを押してPlay Modeメニューを表示し、「Program」を選択する。

2. カーソルボタン（➡）を押して「Create/Edit」を選択し、ENTERボタンを押す。

3. プログラムステップを削除するときは、削除する「Program Step」（左側に表示）にカーソルを合わせ（ハイライト表示にし）、CLEARボタンを押す。

- そのステップは削除され、以降のステップが順送りされます。

4. プログラムステップを途中に追加するときは、追加したい位置の「Program Step」（左側に表示）にカーソルを合わせ（ハイライト表示にし）、カーソルを右に移動してタイトル／チャプター／トラックを選んでENTERボタンを押す。

- 新しいステップが追加され、以降のステップが順送りされます。

5. プログラムステップを最後に追加するときは、最後の「Program Step」（左側に表示）の次のステップ（空欄）にカーソルを合わせ（ハイライト表示にし）、カーソルを右に移動してタイトル／チャプター／トラックを選んでENTERボタンを押す。

- プログラムリストの最後に新しいステップが追加されます。

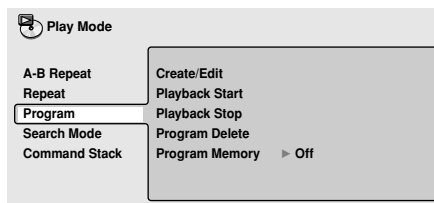
6. PLAY MODEボタンまたはSETUPボタンを押してプログラムリスト作成モードを終了する。

注意

- RETURNボタンを押してプログラムリスト作成モードを終了すると、プログラムリストの変更は無効になります。

プログラム再生の開始／解除／プログラムの全消去

1. PLAY MODEボタンを押してPlay Modeメニューを表示し、「Program」を選択する。

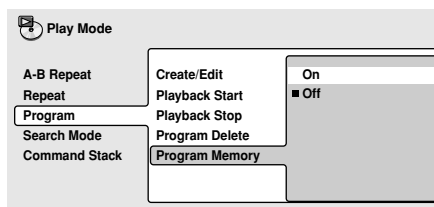
- プログラムリストがすでに作成されているときに選択できます。

■「Playback Start」（プログラム再生の開始）
すでにプログラムされている内容を始めから再生します。

■「Playback Stop」（プログラム再生の解除）
通常の再生に戻ります。プログラムされている内容はそのまま残ります。プログラム再生中にCLEARボタンを押して解除することもできます。

■「Program Delete」（プログラムの全消去）
プログラムされている内容をすべて消去します。停止中にCLEARボタンを押して消去することもできます。

プログラムメモリー

ディスクを取り出してもプログラムした内容を記憶しておくことができます。プログラムメモリーしたディスクを再生すると、自動的にプログラムされている順に再生を開始します。最大20 枚まで記憶させることができます。20 枚を超えると、古い記憶から消去されます。

1. 「Program Memory」を選択して、カーソル（ハイライト表示）を右へ移動する。

2. 「On」を選択して、ENTERボタンを押す。

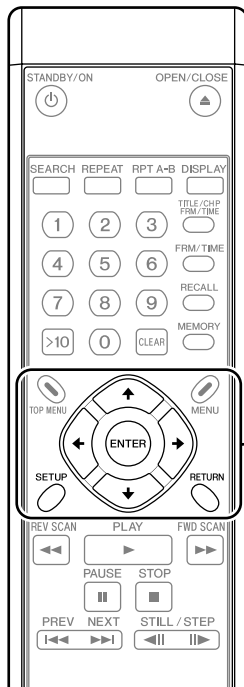
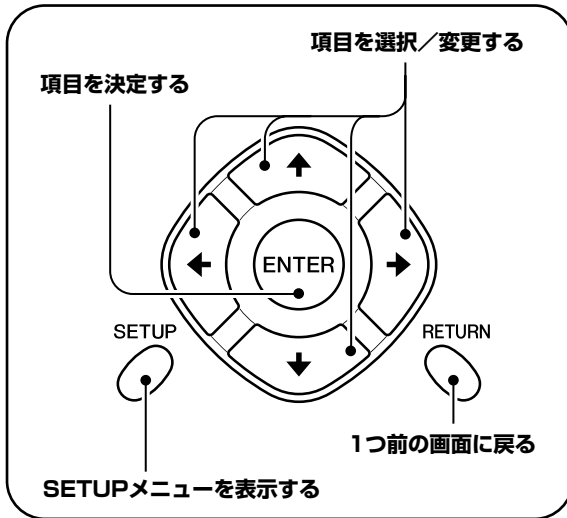
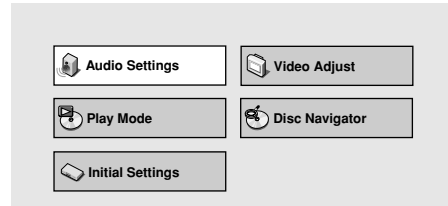
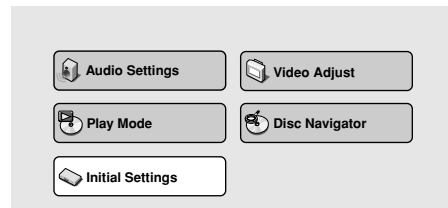
- プログラムメモリーを解除するときは「Off」を選択して、ENTERボタンを押します。

基本設定

設定操作方法

設定操作はSETUPボタンを押してテレビ画面にSETUP画面を表示し、カーソルボタン（↑、↓、←、→）で選択・設定し、ENTERボタンで決定するという手順で行います。

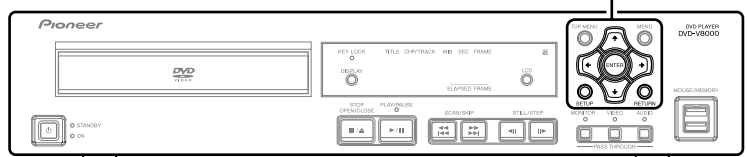
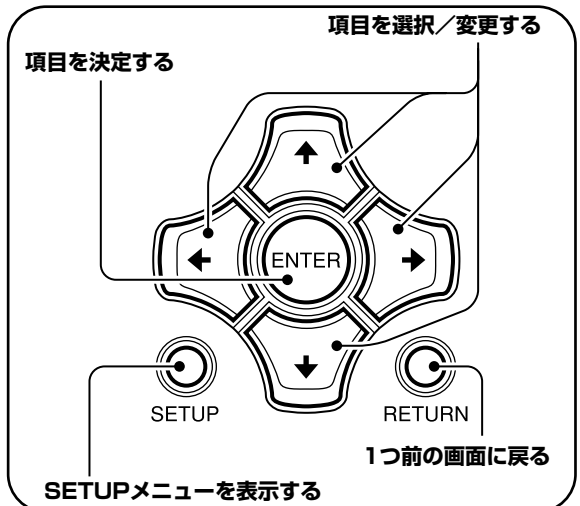
メモ

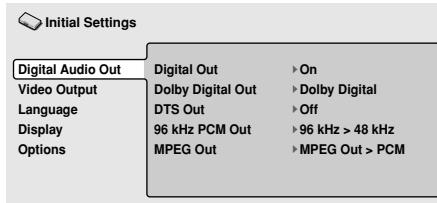
- ディスク再生中は「基本設定」を行えません。再生を停止してください。

1. SETUPボタンを押してSETUP画面を表示する。

2. カーソルボタン（↑、↓、←、→）を押して「Initial Settings」を選択し、ENTERボタンを押す。

3. カーソルボタン（↑、↓、←、→）を押して選択・設定し、ENTERボタンを押す。

- この操作を繰り返して必要な設定を行います。
- RETURNボタンを押すと1つ前の画面に戻ることができます。

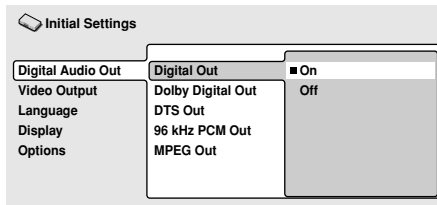
4. SETUPボタンを押して基本設定を終了する。

注意

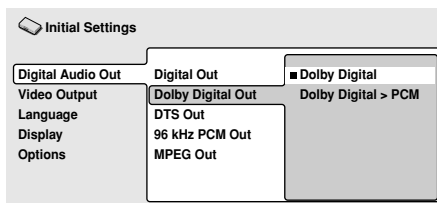
- 設定の途中で終了すると、設定は保存されません。

デジタル音声出力

1. SETUPボタンを押してSETUP画面を表示し、カーソルボタン（↑、↓、←、→）を押して「Initial Settings」を選択し、ENTERボタンを押す。
（29ページ）
（カーソルボタン（↑、↓、←、→）を押して「Digital Audio Out」を選択する。）

2. カーソルボタン（↑、↓、←、→）を押して設定項目を選択し、設定を選択して、ENTERボタンを押して決定する。

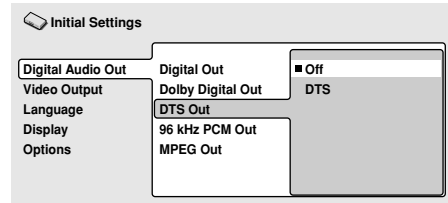
「Digital Out」（デジタル出力）

接続したシステムでデジタル出力が必要か否かを選択します。

On（出荷時の設定）
リアパネルのDIGITAL AUDIO OUT端子から音声を出力します。
Off
リアパネルのDIGITAL AUDIO OUT端子から音声を出力しません。

「Dolby Digital Out」（ドルビー*1デジタル出力）

接続したシステムがドルビーデジタルオーディオに対応しているか否かを選択します。

Dolby Digital（出荷時の設定）
ドルビーデジタル対応アンプ、またはドルビーデジタルデコーダーと接続したときに選択します。
Dolby Digital > PCM
ドルビーデジタル信号をリニアＰＣＭ信号に変換して出力します。ドルビーデジタルに対応していないアンプと接続したときに選択します。

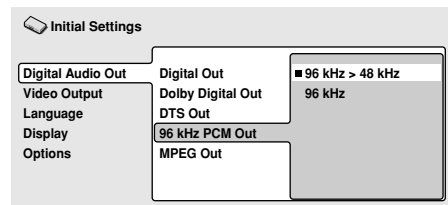
「DTS Out」（DTS*2出力）

接続したシステムがDTSオーディオに対応しているか否かを選択します。

Off（出荷時の設定）
ＤＴＳに対応していないアンプと接続したときに選択します。
DTS
DTS対応アンプ、またはDTSデコーダーと接続したときに選択します。

注意

- ＤＴＳに対応していないアンプに接続しているときに「ＤＴＳ」を選択すると、ノイズが発生することがあります。
- DTS音声は**AUDIO OUT**端子（アナログ出力）からは出力されません。

「96 kHz PCM Out」（96 kHz PCM出力）

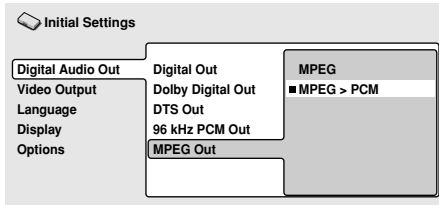
接続したシステムが96 kHz PCMオーディオに対応しているか否かを選択します。

96 kHz > 48 kHz（出荷時の設定）
96 kHzのサンプリング周波数のデジタル音声を、48 kHzにダウンサンプリングして出力します。96 kHzに対応していないアンプと接続したときに選択します。
96 kHz
96 kHz対応のアンプ、または96 kHz対応のDACと接続したときに選択します。

メモ

- ディスクによっては、「**96 kHz**」を選択していても48 kHzに強制的に変換されます。

＊1 ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby, ドルビーおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
＊2 "DTS" 及び "DTS Digital Out" は米国 Digital Theater Systems, Inc. の登録商標です。

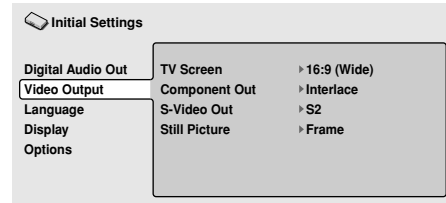
「MPEG Out」(MPEG出力)

接続したシステムがMPEGオーディオに対応しているか否かを選択します。

MPEG
MPEG対応のアンプ、またはMPEGデコーダーと接続したときに選択します。

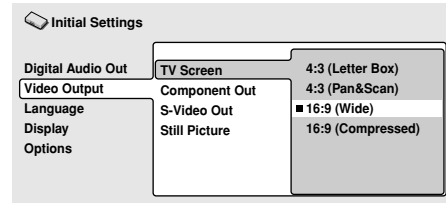
MPEG > PCM（出荷時の設定）
MPEG信号をリニアPCM信号に変換して出力します。MPEGに対応していないアンプと接続したときに選択します。

映像出力

1. SETUPボタンを押してSETUP画面を表示し、カーソルボタン（↑、↓、←、→）を押して「Initial Settings」を選択し、ENTERボタンを押す。
(29ページ)

2. カーソルボタン（↑、↓、←、→）を押して「Video Output」を選択する。

3. カーソルボタン（↑、↓、←、→）を押して設定項目を選択し、設定を選択して、ENTERボタンを押して決定する。

「TV Screen」(TV画面)

接続したディスプレイの画面に合わせて設定します。

4:3 (Letter Box)
標準画面サイズのディスプレイと接続し、レターボックス方式で見たいときに選択します。

4:3 (Pan&Scan)
標準画面サイズのディスプレイと接続し、パンスキャン方式で見たいときに選択します。

16:9 (Wide)（出荷時の設定）
ワイド（16:9）ディスプレイと接続したときに選択します。

16:9 (Compressed)
接続しているプログレッシブ対応ディスプレイで、アスペクト比の切り換えができないときに選択します。

メモ

- 4:3 (Letter Box) および4:3 (Pan&Scan) の設定は、ディスクが対応している場合のみ可能です。
- 4:3の映像が横長（16:9の画像）になるが、ディスプレイ側で4:3の画像に切り換えることができないときに、「16:9 (Compressed)」を選択します。

注意

- DVI 機器が接続されているときは選択できません。

04 基本設定

ディスプレイに合わせた「TV Screen」設定

ご使用のディスプレイと「TV Screen」の設定により以下のような画面となります。

ご使用のディスプレイが標準（4:3）の時		ご使用のディスプレイがワイド（16:9）の時	
本機の設定	**ディスプレイの映像**	**本機の設定**	**ディスプレイの映像**
4:3 (Letter Box)	16:9の映像 4:3の映像	16:9 (Wide)	「フル」設定時の16:9の映像
4:3 (Pan& Scan)	16:9の映像 4:3の映像		「ノーマル」設定時の4:3の映像

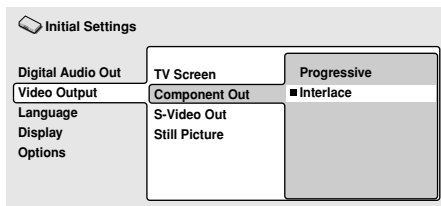
プログレッシブ対応ディスプレイ側でアスペクト比のの切り換えができないとき、「16:9 (Compressed)」を選択します。

ご使用のディスプレイがワイド（16:9）の時	
本機の設定	**ディスプレイの映像**
16:9 (Compressed) ※ プログレッシブ出力にのみ有効	「フル」設定時の4:3の映像

メモ

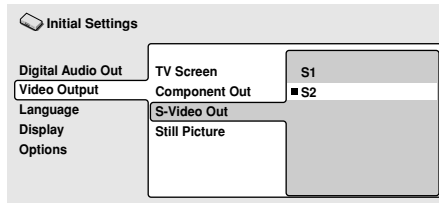
- アスペクト比の切り換えができないディスクもあります。ディスクのジャケットなどで確認してください。

「Component Out」(コンポーネント出力)

COMPONENT VIDEO OUT端子に接続したディスプレイで、インターレース方式の映像を見るかプログレッシブ方式の映像を見るかを選択します。

Progressive
飛び越し走査を行わず、きめ細かな映像が得られる高画質モードです。プログレッシブ入力に対応しているディスプレイのときに選択します。

Interlace（出荷時の設定）
プログレッシブ入力に対応していないディスプレイのときに選択します。

「S-Video Out」(S映像出力)

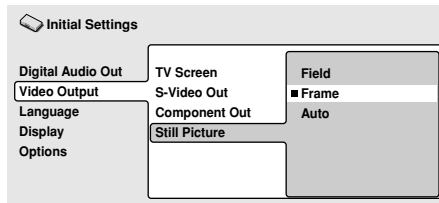
S映像信号に付加される識別信号を選択します。

S1
S1とは映像のアスペクト比（4:3 、16:9）の識別信号の入ったS映像信号です。S1対応のディスプレイでは、適切な映像モードに自動的に切り換わります。

S2（出荷時の設定）
S 1 に加え画像信号形態（レターボックス、パンスキャン）の識別信号の入ったS映像信号です。S2対応のディスプレイでは、適切な映像モードに自動的に切り換わります。

注意

- 本機とディスプレイをS 映像端子で接続しているときに、映像を横方向に引き伸ばしてしまう場合があります。このような場合は、「S 1 」を選択してください。

「Still Picture」(静止画モード)

静止画の再生モードを選択します。

Field
一時停止中の画像のブレをなくして、画質を鮮明にします。

Frame（出荷時の設定）
通常モードです。

Auto
「Field」と「Frame」を自動的に切り換えます。

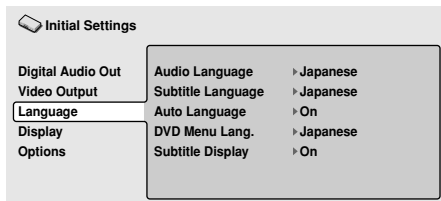
メモ

- 「Field」を選択しても画質が鮮明にならないディスクもあります。

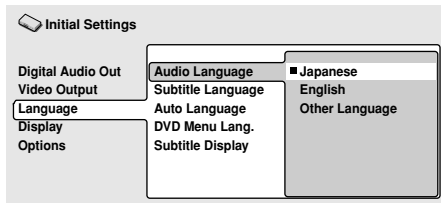
言語の設定

1. SETUPボタンを押してSETUP画面を表示し、カーソルボタン（↑、↓、←、→）を押して「Initial Settings」を選択し、ENTERボタンを押す。

（29ページ）

2. カーソルボタン（↑、↓、←、→）を押して「Language」を選択する。

3. カーソルボタン（↑、↓、←、→）を押して設定項目を選択し、設定を選択して、ENTERボタンを押して決定する。

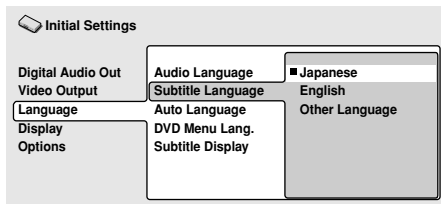
「Audio Language」（音声言語）

DVDで再生する音声の言語を選択します。

Japanese（出荷時の設定）
音声言語が日本語になります。
English
音声言語が英語になります。
Other Language
136言語の中から任意の言語を選びます。
音声の選び方は「**その他の言語の選び方**」（34ページ）をご覧ください。

メモ

- ディスクによっては、ディスクで決められている音声の言語になることがあります。
- ディスクによっては、音声の言語をディスクメニューで選択するようになっています。このときは、MENUボタンを押してディスクメニューを表示させ、ディスクメニューで音声を選択してください。

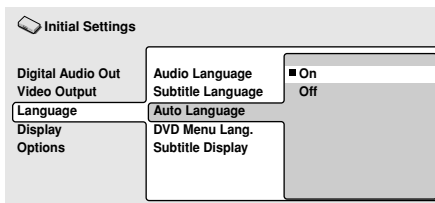
「Subtitle Language」（字幕言語）

DVDで再生する字幕の言語を選択します。

Japanese（出荷時の設定）
日本語の字幕を表示します。
English
英語の字幕を表示します。
Other Language
136言語の中から任意の言語を選びます。
音声の選び方は「**その他の言語の選び方**」（34ページ）をご覧ください。

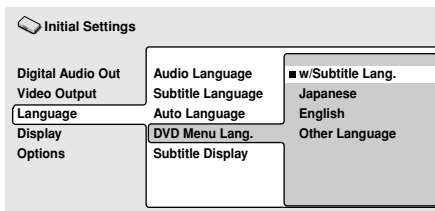
メモ

- ディスクによっては、ディスクで決められている字幕の言語になることがあります。
- ディスクによっては、字幕の言語をディスクメニューで選択するようになっています。このときは、MENUボタンを押してディスクメニューを表示させ、ディスクメニューで字幕を選択してください。

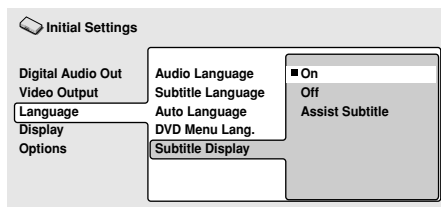
「Auto Language」（自動言語設定）

ＤＶＤで再生する音声や字幕の言語を基本設定で選択した状態にするか否かを選択します。

On（出荷時の設定）
ＤＶＤディスクで設定されている音声言語と字幕言語で再生されます。
Off
プレーヤーで設定した「Audio Language」（音声言語）と「Subtitle Language」（字幕言語）で再生されます。

「DVD Menu Lang.」（DVDメニュー言語）

DVDのメニュー画面の言語を選択します。

w/Subtitle Lang.（出荷時の設定）
「Subtitle Language」（字幕言語）で選択されている言語でメニュー画面が表示されます。
Japanese
日本語でメニュー画面が表示されます。
English
英語でメニュー画面が表示されます。
Other Language
136言語の中から任意の言語を選びます。
言語の選び方は「**その他の言語の選び方**」（34ページ）をご覧ください。

「Subtitle Display」(字幕表示)

DVDで再生する字幕を表示するか否かを選択します。

On(出荷時の設定)
字幕を表示します。
Off
字幕を表示しません。ただし、DVDの中には強制的に字幕を表示するものがあります。

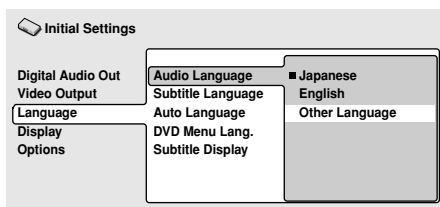
Assist Subtitle
アシスト字幕を表示しますただし、アシスト字幕がディスクに収録されていない場合は表示されません。

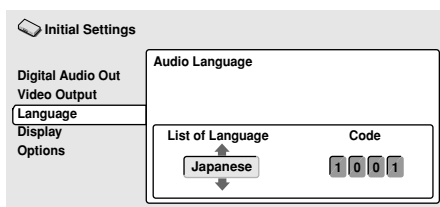
メモ

- アシスト字幕とは、耳の不自由な方のために場面の状況などを説明する字幕です。

その他の言語の選び方

[例:音声言語の場合]

1. 「Other Language」を選択する。

2. ENTERボタンを押す。

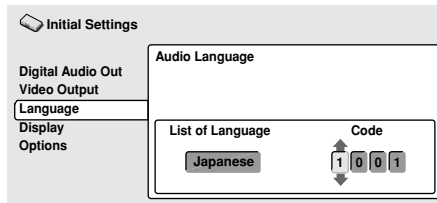
[List of Language」(言語表)で選ぶ]

カーソルボタン(⬆、⬇)を押して言語を選ぶ。

- 87ページの言語コード表を参照して選択します。

メモ

- 言語によってはコード番号しか表示されないものがあります。

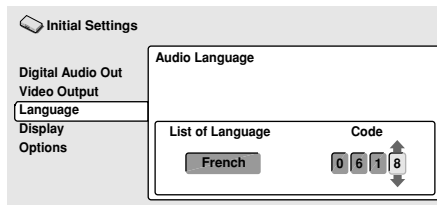
[Code」(言語コード番号)で選ぶ]

カーソルボタン(➡)を押して「Code」(4桁言語コード番号)入力にする。

- コード番号をリモコンの数字ボタンで直接入力する方法(A)とカーソルボタン(⬆、⬇、⬅、➡)で選択する方法(B)があります。

(A) リモコンの数字ボタンで、コード番号を上位から続けて入力する。

- 言語に対応するコード番号は 87ページの言語コード表を参照してください。
  たとえば、フランス語なら「0」「6」「1」「8」と続けて数字ボタンを押してください。

(B) カーソルボタン(⬅、➡)を押して桁を選び、カーソルボタン(⬆、⬇)を押して数字(0〜9)選ぶ。

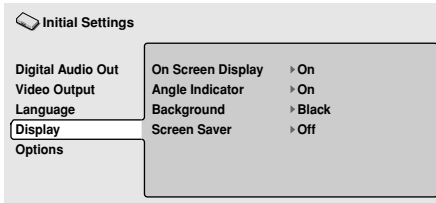
- 言語に対応するコード番号は 87ページの言語コード表を参照してください。
  たとえば、フランス語なら「0618」にします。

3. ENTERボタンを押す。

- 音声言語選択メニューに戻ります。

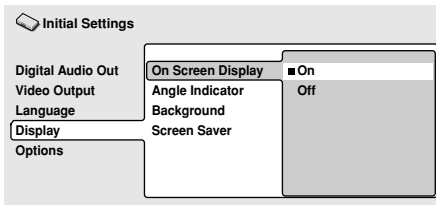
表示の設定

1. SETUPボタンを押してSETUP画面を表示し、カーソルボタン（↑、↓、←、→）を押して「Initial Settings」を選択し、ENTERボタンを押す。

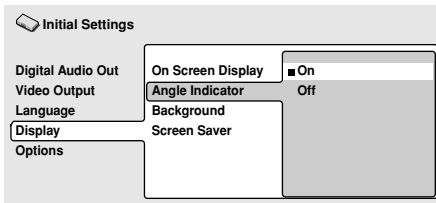
（29ページ）

2. カーソルボタン（↑、↓、←、→）を押して「Display」を選択する。

3. カーソルボタン（↑、↓、←、→）を押して設定項目を選択し、設定を選択して、ENTERボタンを押して決定する。

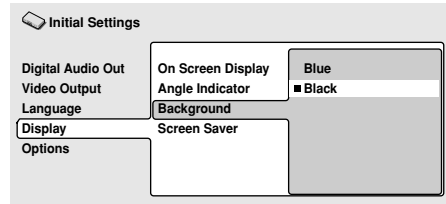
「On Screen Display」（操作表示）

画面に操作表示（「PLAY」、「STOP」など）を行うか否かを選択します。

On（出荷時の設定）
画面に操作表示をします。
Off
画面に操作表示をしません。

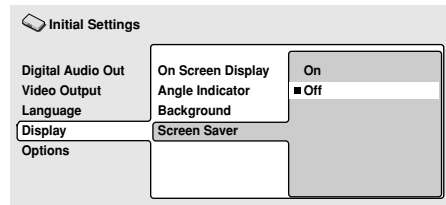
「Angle Indicator」（アングルマーク表示）

マルチアングルで収録されている場面の再生時に、アングルマーク（ ）表示を行うか否かを選択します。

On（出荷時の設定）
画面にアングルマーク（ ）表示をします。
Off
画面にアングルマーク（ ）表示をしません。

「Background」（背景色の選択）

プレーヤーが停止時の背景画面の色を選択します。

Blue
青色の背景を表示します。
Black（出荷時の設定）
黒色の背景を表示します。

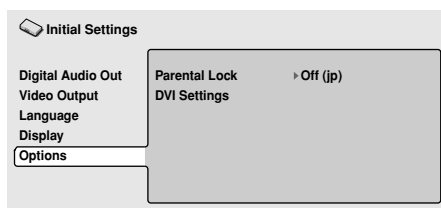
「Screen Saver」（画面保護機能）

長時間同じ画面が表示された場合に起こる画像の焼き付き（残像現象）を防ぐ機能（スクリーンセーバー）を動作させるか否かを選択します。

On
約 5分間同じ画像が表示されるとスクリーンセーバー機能が働き、黒色の背景を表示します。
Off（出荷時の設定）
スクリーンセーバー機能が働きません。

視聴制限の設定

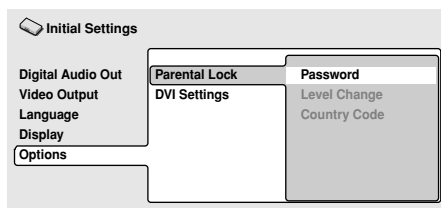
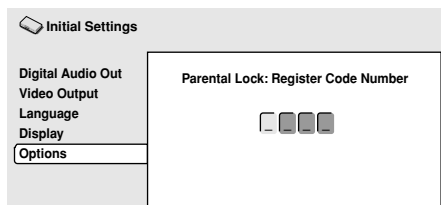
暴力シーンなどを含むには、視聴制限のレベルを設けたものがあります（ディスクのジャケットなどの表示で確認できます）。本機のレベルをディスクのレベルより小さく設定しておくと、これらのディスクの視聴を制限することができます。
例えば、本機のレベルを 6 に設定しておくと、レベル 7 のディスクを再生することはできません。レベル 7 のディスクを再生するにはあらかじめレベルを 7 以上に設定しておく必要があります。
この視聴制限は国ごとに異なる規制レベルにしたがって働く機能です。国コードをあらかじめ設定しておくと、この「国ごとに異なる規制」が可能になります。

1. SETUPボタンを押してSETUP画面を表示し、カーソルボタン（↑、↓、←、→）を押して「Initial Settings」を選択し、ENTERボタンを押す。
（29ページ）

2. カーソルボタン（↓）を押して「Options」を選択する。

「Password」（暗証番号の登録）

まず、暗証番号を登録します。

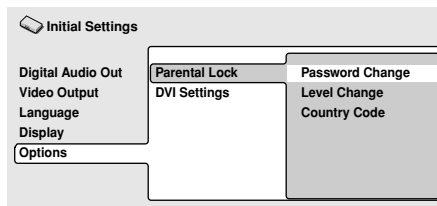
- 視聴制限の設定を変更する際に、暗証番号の入力が必要になります。また、視聴制限されたディスクを再生すると、暗証番号の入力を求める画面が表示されることがあります。このとき、登録してある暗証番号を入力しないと再生することができません。

1. カーソルボタン（↑、↓、←、→）を押して「Password」を選択する。

2. ENTERボタンを押して決定する。

3. リモコンの数字ボタン（0〜9）で4桁の暗証番号を入力し、ENTERを押して決定する。

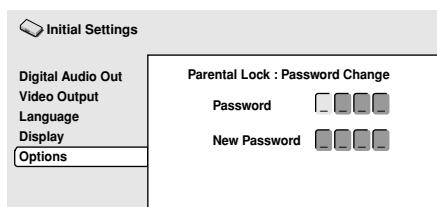
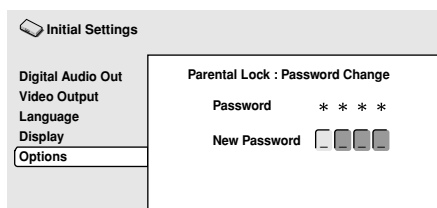
メモ

- 暗証番号はメモしておくことをおすすめします。
- 暗証番号を忘れてしまったときは、出荷時の設定に戻して(68ページ)、再度設定してください。
- ディスクによっては、視聴制限されたシーンのみをとばして再生するものもあります。詳しくはディスクに添付されている操作方法をご覧ください。

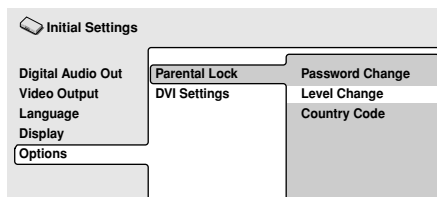
「Password Change」（暗証番号の変更）

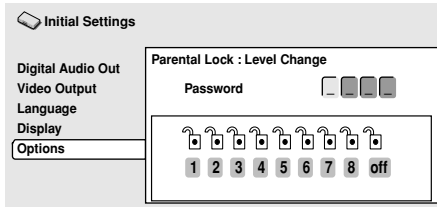
1. カーソルボタン（↑、↓、←、→）を押して「Password Change」を選択する。

2. ENTERボタンを押して決定する。

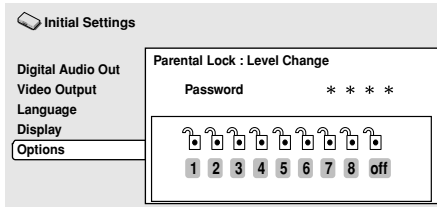
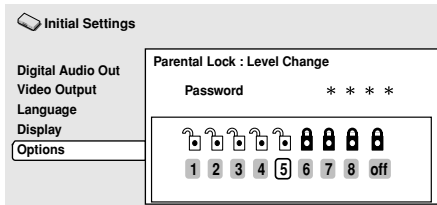
3. すでに登録してある4桁の暗証番号をリモコンの数字ボタン（0〜9）で入力し、ENTERを押して決定する。

Initial Settings
Digital Audio Out
Video Output
Language
Display
Options
Parental Lock : Password Change
Password ＊＊＊＊
New Password

4. リモコンの数字ボタン（0〜9）で、新しい4桁の暗証番号を入力し、ENTERを押して決定する。

「Level Change」（視聴制限レベルの変更）

1. カーソルボタン（↑、↓、←、→）を押して「Level Change」を選択する。

Initial Settings
Digital Audio Out
Video Output
Language
Display
Options
Parental Lock
DVI Settings
Password Change
Level Change
Country Code

2. ENTERボタンを押して決定する。

3. すでに登録してある4桁の暗証番号をリモコンの数字ボタン（0〜9）で入力し、ENTERを押して決定する。

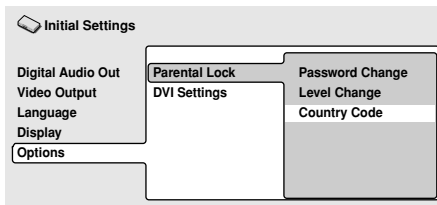
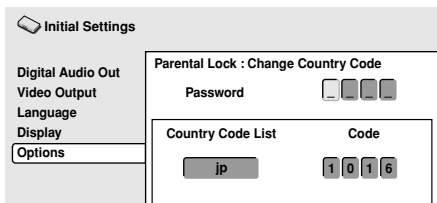
- 入力した暗証番号は「＊」で表示されます。

4. カーソルボタン（⬅、➡）を押して視聴制限レベルを選ぶ。

5. ENTERを押して決定する。

「Country Code」(国の変更)

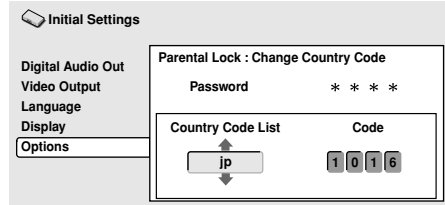
87ページの国コード表を参照して選択します。

注意

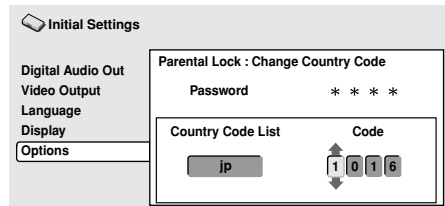
- 国コードを変更した場合は、ディスクを取り出してください。再度ディスクをセットすると、変更が有効になります。

1. カーソルボタン（⬆、⬇、⬅、➡）を押して「Country Code」を選択する。

2. ENTERボタンを押して決定する。

3. すでに登録してある4桁の暗証番号をリモコンの数字ボタン（0〜9）で入力し、ENTERを押して決定する。

- 入力した暗証番号は「＊」で表示されます。

[「Country Code List」（国コード表）で選ぶ]

カーソルボタン（⬆、⬇）を押して国コードを選ぶ。

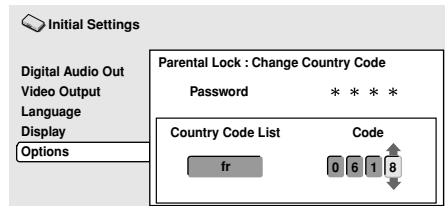
[「Code」（国コード番号）で選ぶ]

カーソルボタン（➡）を押して「Code」（4桁国コード番号）入力を選ぶ。

- コード番号をリモコンの数字ボタンで直接入力する方法(A)とカーソルボタン（⬆、⬇、⬅、➡）で選択する方法(B)があります。

(A) リモコンの数字ボタンで、コード番号を上位から続けて入力する。

- 国コード番号は 87ページの国コード表を参照してください。
  たとえば、フランスなら「0」「6」「1」「8」と続けて数字ボタンを押してください。

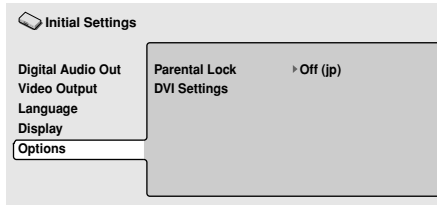
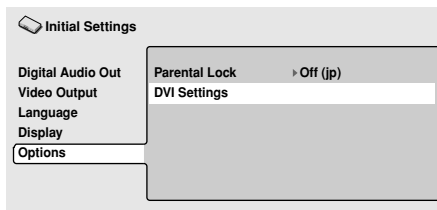
(B) カーソルボタン（⬅、➡）を押して桁を選び、カーソルボタン（⬆、⬇）を押して数字（0〜9）選ぶ。

- 国コード番号は 87ページの国コード表を参照してください。
  たとえば、フランスなら「0618」にします。

3. ENTERボタンを押す。

- 視聴制限選択メニューに戻ります。

DVI 接続の設定

DVI接続した機器に合わせて、映像解像度、画像サイズ、画質を選択します。

1. **SETUPボタンを押してSETUP画面を表示し、カーソルボタン（⬆、⬇、⬅、➡）を押して「Initial Settings」を選択し、ENTERボタンを押す。**
(29ページ)
2. **カーソルボタン（⬇）を押して「Options」を選択する。**

3. **カーソルボタン（⬆、⬇、⬅、➡）を押して「DVI Setting」を選択する。**

注意

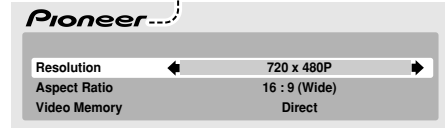
- DVI機器が接続されていないときは選択できません。

4. **カーソルボタン（⬆、⬇、⬅、➡）を押して設定項目を選択し、設定を選択して、ENTERボタンを押して決定する。**

「Resolution」(映像解像度)

DVI出力の映像解像度を選択します。

カーソルボタン（⬅、➡）を押して映像解像度を選択し、
ENTERボタンを押して決定する。

このパイオニアのロゴマークは、パイオニアの機器を接続した場合のみに表示されます。

- 解像度は次の中から選択できます。
  - ・VGA (640×480 ピクセル) のプログレッシブ映像
  - ・720×480 ピクセルのプログレッシブ映像
  - ・720×480 ピクセルのインターレース映像
  - ・720×576 ピクセルのプログレッシブ映像
  - ・720×576 ピクセルのインターレース映像
  - ・1280×720 ピクセルのプログレッシブ映像
  - ・1920×1080 ピクセルのインターレース映像
- 解像度を切り換えて決定すると、確認メッセージの画面が表示されますので、確認後にもう一度決定してください。
- 解像度切り換え後、ディスプレイに正しく画面が出ない場合は、リモコンの数字ボタンの「0」を 5 秒以上押し続けると、本機と初めて接続し出画した際に自動的に設定された画素数に戻ります。

メモ

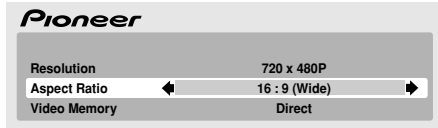
- ７２０×５７６ピクセルのプログレッシブ／インターレース映像は、ＰＡＬ方式のディスク再生時のみ選択可能です。また、VGA および720×480ピクセルのプログレッシブ／インターレース映像はＮＴＳＣ方式のディスク再生時のみ選択可能です。
- 画素の切り換え時は映像が乱れたり、出力に時間がかかる場合があります。

DVD-V8000 デジタルビデオ信号(EIA/CEA-861-B 準拠)

	解像度	垂直周波数 (Hz)	水平周波数 (kHz)	クロック周波数 (MHz)
NTSC	VGA	59.940	31.469	25.175
	480i	59.940	15.734	27.000
	480p	59.940	31.469	27.000
	720p	59.939	44.955	74.175
	1080i	59.939	33.716	74.175
PAL	576i	50.000	15.625	27.000
	576p	50.000	31.250	27.000
	720p	50.000	37.500	74.250
	1080i	50.000	28.125	74.250

「Aspect Ratio」(画像サイズ)

DVI出力の画像サイズを選択します。

カーソルボタン（↑、↓）を押して「Aspect Ratio」を選び、カーソルボタン（←、→）を押して画像サイズを選択し、ENTERボタンを押して決定する。

次の画像サイズから選択できます。

4：3（Letter Box）

- 従来サイズのディスプレイと接続し、レターボックス方式で見たいときに選択します。この設定はディスクが対応していないとできません。

4：3（Pan&Scan）

- 従来サイズのディスプレイと接続し、パンスキャン方式で見たいときに選択します。この設定はディスクが対応していないとできません。

16：9（Wide）

- ワイド（16：9）ディスプレイと接続したときに選択します。

16：9（Compressed）

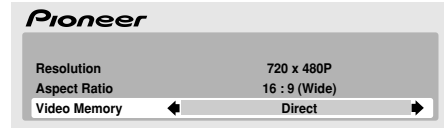
- 接続しているプログレッシブ対応ディスプレイでアスペクトの切り換えができないとき選択します（4：3の映像が横長（16：9の映像）になってしまっているが、ディスプレイ側で4：3の映像に切り換えることができないとき）。

再生するディスクに応じて、以下を参考に各設定を行ってください。

- ディスプレイによっては、ディスプレイの設定名称が下表の通りでない場合があります。

「Video Memory」(画質設定の選択)

DVI出力の画質を選択します。

カーソルボタン（↑、↓）を押して「Video Memory」を選び、カーソルボタン（←、→）を押して画質を選択し、ENTERボタンを押して決定する。

次の画質から選択できます。

Direct

- ソースソフトに記録されている画質のまま出力します。

Natural

- 映像の輪郭を自然にした画質です。映画に適しています。

Enhanced

- 色のりを良くし、映像の輪郭をシャープにした画質です。CG画像やアニメーションの再生に適しています。

Memory 1 / Memory 2 / Memory 3

- Memory 1、Memory 2、Memory 3に設定してある画質を選べます（任意に設定できます）。
  詳しくは42ページをご覧ください。

注意

- ご使用の DVI ディスプレイの対応していない解像度が選択された場合、画面が乱れたり、表示されないことがあります。
  対応している解像度は、ご使用の DVI ディスプレイのメーカーにお問い合わせください。

<table>
<tr><th rowspan="3">Resolution
(DVI Settings)</th><th colspan="4">再生ディスク</th></tr>
<tr><th colspan="2">スクイーズ記録ディスク</th><th colspan="2">4：3記録ディスク</th></tr>
<tr><th>Aspect Ratio
(DVI Settings)</th><th>ディスプレイの設定</th><th>Aspect Ratio
(DVI Settings)</th><th>ディスプレイの設定</th></tr>
<tr><td>720×480 I/P
(720×576 I/P)</td><td rowspan="3">16：9 (Wide)
／16：9
(Compressed)</td><td>フル／スクイーズ
(／スルースクイーズ)</td><td>4：3／
16：9(Wide)</td><td rowspan="3">標準／ノーマル*
／4：3／スルー
(／ドットバイドット)</td></tr>
<tr><td>1280×720 P</td><td rowspan="2">ノーマル*／スルー
(／ドットバイドット)</td><td rowspan="2">16：9
(Compressed)</td></tr>
<tr><td>1920×1080 I</td></tr>
</table>

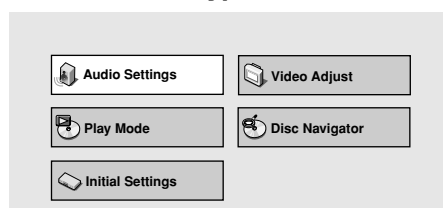
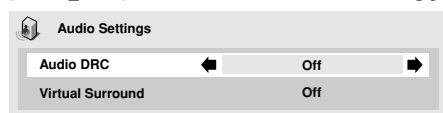
＊「フル／スクイーズ」となっているディスプレイもあります。

本機は DVI機器との接続を目的として設計されています。
HDMI 機器と接続した場合、機器によっては正常に動作しない場合があります。

音声の設定

音声のダイナミックレンジの調整（Audio DRC)

オーディオDRC(ダイナミックレンジコントロール)を切り換えることで、大きい音を小さく、小さい音を大きくして再生する効果があります。例えば、映画の台詞などが聞きづらいときや深夜に映画を見るようなときに変更します。オーディオDRC はドルビーデジタル音声にのみ働きます。

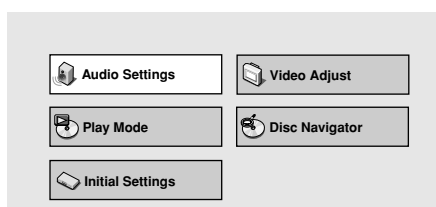
1. SETUPボタンを押してSETUP画面を表示し、「Audio Settings」を選択してENTERボタンを押す。

2. 「Audio DRC」を選択し、カーソルボタン（←、→）を押して「On」または「Off」を選んでENTERボタンを押す。

Off（出荷時の設定）
オーディオDRC を解除します。高音質のスピーカーで臨場感が得られます。
On
爆発音などの大音量を抑え、台詞などが聞きやすくなります。

メモ

- ディスクによっては効果の少ないものがあります。
- オーディオDRC はデジタル音声出力端子(光/ 同軸)から出力される音声にも効果があります。
  この場合は、「Digital Audio Out」の「Digital Out」を「On」に設定し、さらに「Dolby Digital Out」を「Dolby Digital > PCM」に設定してください。
  (30ページ)
- オーディオ DRC の効果は、お使いのスピーカーやディスプレイ、または AV アンプの音量設定などによっても変わります。実際に設定を切り換えながら、効果的な設定を選択してください。

バーチャルサラウンド

バーチャルサラウンドをオンにすると、2 本のスピーカーのみで臨場感のあるサラウンド効果を楽しむことができます。特にドルビーデジタル音声を再生しているときは、SRS社のTruSurround技術によるバーチャルドルビーデジタルが働き、より広がりのある立体音場(3Dサラウンド)が再現されます。

1. SETUPボタンを押してSETUP画面を表示し、「Audio Settings」を選択してENTERボタンを押す。

2. 「Virtual Surround」を選択し、カーソルボタン（←、→）を押して「Off」または「DD V/SRS TruSurround」を選んでENTERボタンを押す。

Off（出荷時の設定）
働きません。
DD V/SRS TruSurround
立体音場(サラウンド)になります。

メモ

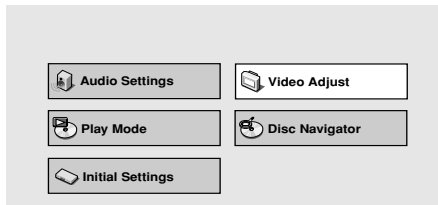
- CD 、またはリニア PCM 96 kHz 音声には効果がありません。
- ディスクによってはサラウンド効果の少ないものがあります。

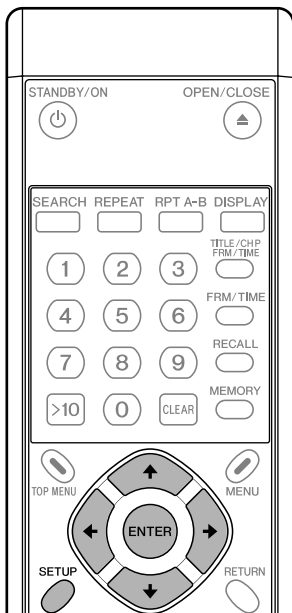
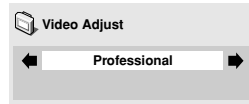
* TruSurroundと(●)®記号はSRS Labs,Inc.の商標です。TruSurround 技術はSRS Labs,Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。

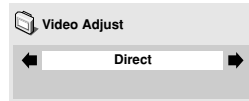
画質の設定

プリセット画質からの選択

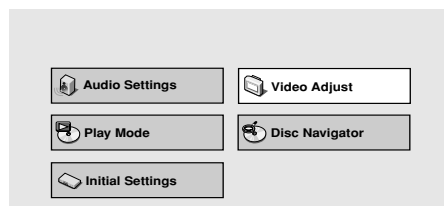
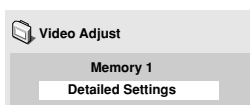
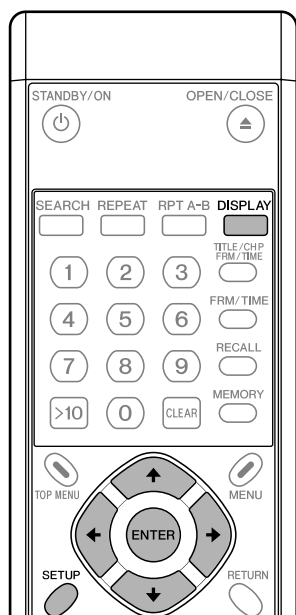
本機にプリセットされている画質から、お使いのディスプレイの種類に合わせた画質を選択することができます。
また、あらかじめお好みに合わせて画質を調整し、記憶したものから選択できます。

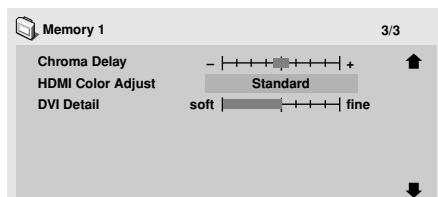
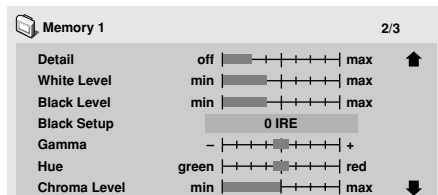
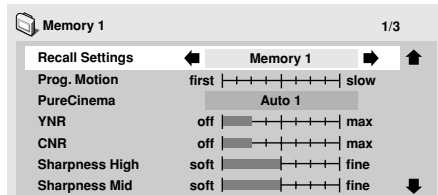
1. SETUPボタンを押してSETUP画面を表示し、「Video Adjust」を選択してENTERボタンを押す。

2. カーソルボタン（⬅、➡）を押してプリセットされた画質から選んでENTERボタンを押す。

- ＤＶＩ機器に接続しているか否かで、選択できる内容が異なります。
- ENTERボタンを押さないで時間が経過し、「Video Adjust」画面が消えた場合は、画質の選択は無効になります。

[DVI機器が接続されていないとき]

TV (CRT)
CRTディスプレイに適した画質です。
PDP
プラズマディスプレイに適した画質です。
Professional（出荷時の設定）
プロ用ディスプレイに適した設定で、本機による映像信号調整処理を抑えた画質です。
Memory 1 / Memory 2 / Memory 3
「画質の調整」(42ページ) で好みに調整した画質設定を選べます。

[DVI機器が接続されているとき]

Direct（出荷時の設定）
ソフトに記録されている画質のまま出力します。
Natural
映像の輪郭を自然にした画質です。映画の再生に適しています。
Enhanced
色のりを良くし、映像の輪郭をシャープにした画質です。CG 映像やアニメーションの再生に適しています。
Memory 1 / Memory 2 / Memory 3
「画質の調整」（42ページ）で好みに調整した画質設定を選べます。

画質の調整

1. SETUPボタンを押してSETUP画面を表示し、「Video Adjust」を選択してENTERボタンを押す。

2. カーソルボタン（⬅、➡）を押して「Memory 1」、「Memory 2」または「Memory 3」を選択し、カーソルボタン（⬇）を押して「Detail Settings」を選択して、ENTERボタンを押す。

- ENTERボタンを押さないで時間が経過し、「Video Adjust」画面が消えた場合は、選択は無効になります。

3. カーソルボタン（⬆、⬇）を押して項目を選択し、カーソルボタン（⬅、➡）を押して調整／選択する。

- 設定項目の内容については43ページをご覧ください。

- DISPLAYボタンを押すと、押すごとに選択した1項目の表示と全体表示が切り換わります。

4. 必要な項目を調整／選択し終わったら、ENTERボタンを押して終了する。

- 手順2で選択したメモリー（「Memory 1」または「Memory 2」、「Memory 3」）に画質設定が記憶されます。
- 選択したメモリーにすでに画質設定が記憶されているときは、新しく設定した内容が上書きされます。

注意

- 設定終了後は、必ずENTERボタンまたはSETUPボタンを押してください。それ以外のボタンで設定画面を抜けた場合は、設定した内容が記憶されません。

メモ

- ディスクやディスプレイによっては効果がはっきりしないことがあります。

[設定項目]

Recall Settings
「Memory 1」、「Memory 2」または「Memory 3」に設定されている画質を呼び出します。

Prog. Motion
プログレッシブスキャン映像に効果を与える設定です。ビデオ素材の時に有効で、動画向き、または静止画向きの映像に調整します。プログレッシブが出力されているときのみ調整することができますが、設定を「ON」にしている時は働きません。

PureCinema
プログレッシブスキャン回路とDNR の動作をフィルム素材のDVD の再生に最適な設定にします。通常は「Auto1」に設定しますが、映像が不自然なときは「Auto2」、「On」または「Off」にします。「**ピュアシネマモードについて**」(43ページ) をご覧ください。

YNR
輝度 (Y) 信号のノイズを軽減します。

CNR
色 (C) 信号のノイズを軽減します。

Sharpness High
高域の周波数に対して画像の鮮明度を調整します。

Sharpness Mid
中域の周波数に対して画像の鮮明度を調整します。

Detail
画像の輪郭を強調します。

White Level
白色のレベルを調整します。

Black Level
黒色のレベルを調整します。

Black Setup
黒色の浮きを補正し、立体感のある引き締まった映像を再現します。

Gamma
画像の暗い部分の見えかたを強調します。

Hue
緑色と赤色のバランスを調整します。

Chroma Level
色の濃さを調整します。色のりの多いアニメなどで効果があります。

Chroma Delay
映像の輝度（Y）信号と色（C）信号のずれを調整します。（プログレッシブ映像にのみ効果があります。）

HDMI Color Adjust（HDMI機器に接続している場合）
「Resolution」（画像解像度）が「VGA」以外のHDMI機器に接続している場合はＨＤＭＩの出力カラーを選択することができます。

Standard : RGB Limited
Enhanced : RGB Full

DVI Detail（DVI 機器に接続している場合）
DVI の画像の輪郭を調整します。

メモ

- 「Resolution」（38ページ）で「VGA」を選んでいる場合は、効果が得られないことがあります。

[ピュアシネマモードについて]

DVDビデオの映像信号には次の2種類があります。

- **「ビデオ素材」**といわれる映像情報を 30コマ／秒で記録した信号
- **「フィルム素材」**といわれる映像情報を 24コマ／秒で記録した信号

「フィルム素材」である映画フィルムは 24コマ／秒（24 Hz）で記録されており、この「PureCinema」モードは、そのような 24コマ／秒で記録された映像情報を 60コマ／秒のプログレッシブ画面に変換する際に、ディスクに記録された処理情報をもとにオリジナルの映画フィルムに忠実な走査線の構成をします。それにより原画に近い鮮明な映像を楽しむことができます。
この設定は通常「Auto1」でお楽しみください。ディスクによっては輪郭がギザギザになったり、ブレて見えたりすることがあります。そのようなときは設定を「Auto2」、「Off」、または「On」に切り換えてご覧ください。
「フィルム素材」の(24コマ／秒で記録された)DVDビデオが再生されているときは、それをディスクの情報画面で確認することができます（「Tr. Rate」表示の前に「#」が表示されます）。
ディスクの情報画面を表示するには、DISPLAYボタンを押します。詳しくは16ページ をご覧ください。

また、**「ビデオ素材」**で「On」を選択すると奇数フィールドと偶数フィールドを合成し、1枚のフレーム情報としてプログレッシブ変換します。比較的動きの少ない**「ビデオ素材」**や30P（プログレッシブ）記録された**「ビデオ素材」**の再生に適しています。輪郭がギザギザになったり、ブレて見えたりするときは「Auto1」、「Auto2」、または「Off」に切り換えてご覧ください。

本機は ＤＶＩ機器との接続を目的として設計されています。
ＨＤＭＩ 機器と接続した場合、機器によっては正常に動作しない場合があります。

ADV. SETUP（業務用設定）

DVD-V8000では、SETUPメニューの他にADV.SETUPメニューを持っており、以下のような25項目を設定できます。

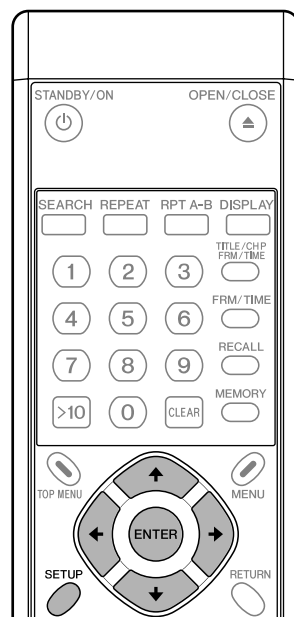
(1) COMMAND STACK
(2) WEEKLY TIMER
(3) POWER ON START
(4) TITLE PLAY MODE
(5) KEY LOCK
(6) REPEAT MODE
(7) SERIAL PORT
(8) BAUD RATE
(9) REV STEP/REV PLAY

(10) BLACKBOARD LOCK
(11) PLAYER CONTROL PANEL
(12) SETUP LOCK (MOUSE)
(13) GOTO DVD-MENU
(14) MOUSE CURSOR
(15) EXTEND TERMINAL
(16) SYNC OUT(DURING SQ)
(17) EXTERNAL SYNC
(18) MONITOR OSD

(19) AUTO PASS THROUGH
(20) PLAY START MODE
(21) LOAD SETUP
(22) SAVE SETUP
(23) LOAD COMMAND STACK
(24) SAVE COMMAND STACK
(25) SAVE ERROR LOG

```
 ADV.SETUP              page 1/3
>COMMAND STACK
 WEEKLY TIMER           OFF
 POWER ON START         OFF
 TITLE PLAY MODE        Single
 KEY LOCK               OFF
 REPEAT MODE            OFF
 SERIAL PORT            15 Pin
 BAUD RATE              4800bps
 REV STEP/REV PLAY      Resolution
```

```
 ADV.SETUP              page 2/3
>BLACKBOARD LOCK        OFF
 PLAYER CONTROL PANEL   Selectable
 SETUP LOCK (MOUSE)     OFF
 GOTO DVD-MENU          OFF
 MOUSE CURSOR           ON
 EXTEND TERMINAL        Standard
 SYNC OUT(DURING SQ)    OFF
 EXTERNAL SYNC          OFF
 MONITOR OSD            Bottom
```

```
 ADV.SETUP              page 3/3
>AUTO PASS THROUGH      OFF
 PLAY START MODE        Title1
 LOAD SETUP
 SAVE SETUP
 LOAD COMMAND STACK
 SAVE COMMAND STACK
 SAVE ERROR LOG
```

1. ADV.SETUPへの入り方

リモコンまたは本体のSETUPボタンを1秒間押し続けると、左図のような業務用専用の設定画面（以下ADV. SETUPと呼ぶ）が表示されます。
「COMMAND STACK」にカーソルを合わせてENTERボタンを押すとCommand Stackの入力モードの画面に移ります。
「WEEKLY TIMER」、「POWER ON START」と「KEY LOCK」については、カーソル ⬅、➡ ボタンで「ON/OFF」を設定し、ONにした状態でENTERボタンを押すと次の画面で詳細な設定を行う事ができます。
「EXTEND TERMINAL」については、カーソル ⬅、➡ボタンで「Standard/User」を選択します。「User」にした状態でENTERボタンを押すと次の画面で設定を行うことができます。
他の項目については、この画面上で、カーソル ⬆、⬇ボタンで項目を選択し、 ⬅、➡ボタンで「ON/OFF」等を設定します。

メモ

- ADV. SETUPの設定はリモコン以外にマウスでも設定できます。変更したい設定項目にマウスカーソルを合わせてマウスの左ボタンをクリックすると、項目が選択されます。また、画面右上の page番号をクリックするとページが切り換わります。項目が選択された状態で、さらにマウスの右または左ボタンをクリックするとその設定を変えることができます。
- 「WEEKLY TIMER」、「POWER ON START」と「KEY LOCK」については、設定が「ON」の状態でマウスの左ボタンをクリックすると画面で詳細な設定を行うことができます。
- 「EXTEND TERMINAL」については、設定が「User」の状態でマウスの左ボタンをクリックすると画面で設定を行うことができます。

2. 各項目の設定

2.1. COMMAND STACK

「COMMAND STACK」を選択し、ENTERボタンを押すとCommand Stack入力モードの画面に移ります。
「**CommandStackの入力**」（54ページ）参照。

2.2. WEEKLY TIMER

OFF（出荷時の設定）
TIMERによる自動再生／停止を行いません。
ON
TIMERによる自動再生／停止を行います。
「ON」にしてENTERボタンを押すと、曜日毎にパワーオン時間／パワーオフ時間を設定する画面になります。
「**3．WEEKLY TIMERの設定**」（47ページ）参照。

2.3. POWER ON START

電源を入れたときに自動再生を始めるか否かを設定します。
OFF（出荷時の設定）
POWER ON STARTの機能を働かせません。
ON
POWER ON START の機能を働かせます。
再生タイトルやチャプター等を設定する必要があります。
「**4．パワーオンスタート設定**」（50ページ）参照。

2.4. TITLE PLAY MODE

Single（出荷時の設定）
［**メニューに戻る**］･［**特定のタイトルをサーチする**］･［**そのタイトルの最初から再生する**］等のNAVIコマンドがタイトルの最後にある場合は、そのコマンドに従った動作をします。そのようなコマンドがない場合は再生を停止します。
All
ＤＶＤディスクの１つのタイトルを終了すると次のタイトルを再生し、全てのタイトルの再生を行います。

2.5. KEY LOCK

リモコンあるいは本体のボタンを「受け付ける／受け付けない」を設定します。
この設定に関わらず、EXTEND TERMINALによる操作は常に可能です（OPEN/CLOSEは除く）。
OFF（出荷時の設定）
リモコンおよび本体のボタンによる操作について制限しない状態です。
ON
リモコンあるいは本体のボタンによる操作を制限する状態です。
ENTERボタンを押して次の画面で詳細な設定をします。
「**5．KEY LOCK 設定**」（51ページ）参照。

2.6. REPEAT MODE

停止状態から再生を開始した時のリピートモードの初期状態を設定します。「OFF/CHAPTER/TITLE/DISC」に切り換わります。（TITLE PLAY MODEを「ALL」に設定すると、「DISC」の項目が追加されます。）
OFF（出荷時の設定）
通常の状態で再生します。自動的に繰り返し再生にはなりません。
CHAPTER
［**ＤＶＤディスクの場合**］
　１チャプターだけを繰り返し再生します。
［**ＣＤ，ビデオＣＤの場合**］
　１トラックだけ繰り返し再生します。
TITLE
１タイトルだけ繰り返し再生します。
DISC
ディスク全体の繰り返し再生を行います。

2.7. SERIAL PORT

シリアルインターフェースとして、１５ピンコネクタ／9ピンコネクタのどちらを使用するかを設定します。
両方同時には使用できません。
15 Pin（出荷時の設定）
１５ピン←→９ピンケーブルでＰＣと接続する場合に選択します。
9 Pin
市販の9ピンクロスケーブルでPCと接続する場合に選択します。

2.8. BAUD RATE

RS-232Cインターフェースのボーレートを設定します。
ボーレートは **4800**（出荷時の設定）/**9600**/**19200** bpsの3つから選択できます。

2.9. REV STEP/REV PLAY

DVDの逆方向再生時のモードを設定します。
Resolution（出荷時の設定）
画質優先で1コマずつ戻ります。
Smooth
ボタンに対する応答速度優先で1コマずつ戻ります。

2.10. BLACKBOARD LOCK

OFF（出荷時の設定）
マウスの右クリックでBlackboardのモードに入ります。
ON
マウスの右クリックでBlackboardのモードに入りません。
「**ビデオブラックボード機能**」（65ページ）参照。

2.11. PLAYER CONTROL PANEL

Selectable（出荷時の設定）
マウスの左右同時クリックでコントロールパネルを表示／非表示が可能です。
Always On
常にコントロールパネルを表示します。
Always Off
マウスの左右同時クリックをしてもコントロールパネルを表示しません。
「**プレーヤーコントロールパネルについて**」（64ページ）参照。

2.12. SETUP LOCK (MOUSE)

OFF
プレーヤコントロールパネルに「SETUP」と「ADV. SETUP」のボタンを表示します。
ON（出荷時の設定）
プレーヤコントロールパネルに「SETUP」と「ADV. SETUP」のボタンを表示しません。

2.13. GOTO DVD-MENU

DVDを再生中、画面上に MENU に戻るボタンを表示する／しないを設定します。

OFF（出荷時の設定）

MENU に戻るボタンを表示しません。

LEFT

DVD再生中は画面左下に MENU に戻るボタンを表示します。

RIGHT

DVD再生中は画面右下に MENU に戻るボタンを表示します。

BOTH

DVD再生中は画面両端下に MENU に戻るボタンを表示します。

2.14. MOUSE CURSOR

マウスカーソルの表示／非表示を切り換えます。

ON（出荷時の設定）

マウスカーソルを表示します。

OFF

マウスカーソルを表示しません。
ただし、ビデオブラックボード機能起動中は、この設定がOFFの場合もマウスカーソルを表示します。

2.15. EXTEND TERMINAL

EXTEND TERMINALのボタン機能の設定を行います。

Standard（出荷時の設定）

プリセットされた標準の設定です。

User

EXTEND TERMINALのボタン機能を設定することができます。ENTERボタンを押して次の設定画面に入り、設定操作を行います。
「6. EXTEND TERMINALの設定方法」(53ページ)参照。

2.16. SYNC OUT (DURING SQ)

この機能はプレーヤーが映像出力しない時、映像信号を出力するか、出力しないかを設定します。

OFF（出荷時の設定）

映像は常に出力して、同期信号がなくなることはありません。再生停止時はブルーまたはブラックバックになります。

ON

再生中およびメニュー画面以外の映像出力はなくなります(同期信号も出力されません)。ただし、PASS THROUGHボタン・コマンド等で外部入力側の映像を出力するように設定されている場合は、その映像を出力します。

2.17. EXTERNAL SYNC

OFF（出荷時の設定）

外部同期信号には同期しません。

NTSC

外部同期信号としてＮＴＳＣの信号を入力し、同期再生させる時に設定します。

PAL

外部同期信号としてＰＡＬの信号を入力し、同期再生させる時に設定します。
「外部同期機能」（70ページ）参照。

2.18. MONITOR OSD

OFF

MONITOR VIDEO OUT端子出力にモニター用のOSDを、重ねて表示しません。

BOTTOM（出荷時の設定）

MONITOR VIDEO OUT端子出力にモニター用のOSDを、画面の下半分に重ねて表示します。

TOP

MONITOR VIDEO OUT端子出力にモニター用のOSDを画面の上半分に重ねて表示します。

2.19. AUTO PASS THROUGH

OFF（出荷時の設定）

再生スタート時／停止時に映像／音声出力の自動切換を行いません。

ON

ディスク再生中は本体映像／音声に、再生停止中は外部入力映像／音声に、自動的に切り換えます。
この設定は本体のPASS THROUGHボタンあるいはコマンドによる切り換えを禁止するものではありません。
停止状態 → 再生開始および再生 → 停止のタイミングで自動的に切り換えを行う機能であり、その切り換え発生後もボタンやコマンドによる切り換え操作は可能です。

2.20. PLAY START MODE

本体PLAY/PAUSEボタンおよびリモコンPLAYボタンの機能を切り換えます。

Title1（出荷時の設定）

停止中にPLAY/PAUSEボタンまたはPLAYボタンが押された時、タイトル1の最初から再生します。

TOP MENU

停止中にPLAY/PAUSEボタンまたはPLAYボタンが押された時、そのディスクにＴＯＰ　ＭＥＮＵがあるならばＴＯＰ MENUを呼び出します。TOP MENUがなければタイトル1の最初から再生します。

2.21. LOAD SETUP

本体の設定ファイルをUSBメモリーから読み出します。
「USBメモリーを使用したファイルのロード／セーブ機能」（61ページ）参照。

2.22. SAVE SETUP

本体の設定ファイルをUSBメモリーに保存します。
「USBメモリーを使用したファイルのロード／セーブ機能」（61ページ）参照。

2.23. LOAD COMMAND STACK

コマンドスタックデータをUSBメモリーから読み出します。
「USBメモリーを使用したファイルのロード／セーブ機能」（61ページ）参照。

2.24. SAVE COMMAND STACK

コマンドスタックデータをUSBメモリーに保存します。
「USBメモリーを使用したファイルのロード／セーブ機能」（61ページ）参照。

2.25. SAVE ERROR LOG

本体のエラー履歴をUSBメモリーに保存します。
「USBメモリーを使用したファイルのロード／セーブ機能」（61ページ）参照。

注意

再生中には以下の項目の変更はできません。必ずディスクが停止しているときに行ってください。

- REV STEP/REV PLAY
- EXTEND TERMINAL
- EXTERNAL SYNC
- LOAD SETUP/SAVE SETUP
- LOAD COMMAND STACK/SAVE COMMAND STACK
- SAVE ERROR LOG

注意

ディスク回転中に電源が遮断されると、その時変更していたADV. SETUPの設定は保存されません。
電源コードを抜く際には、必ず先にSTANDBY/ONボタンでスタンバイモードにしてください。

3. WEEKLY TIMERの設定

「WEEKLY TIMER」を「ON」にしてENTERボタンを押すと次のような表示になります。

```
>05-04-05 SAT  08:15.00 (1/3)
        ON      OFF
 MON   --:--  --:--
 TUE   --:--  --:--
 WED   --:--  --:--
 THU   --:--  --:--
 FRI   --:--  --:--
 SAT   --:--  --:--
 SUN   --:--  --:--
 ALL   --:--  --:--
```

現在時刻の合わせ方

上図のようにポインタが　1行目の日時を指している状態でENTERボタンを押すと「年」の項目が点滅し、内部クロックの設定画面になります。長時間電源 OFFの状態で置かれたなどで内蔵クロックが正しくない時に、このモードで日時を再設定します。
⬅、➡ボタンで項目を選択し、⬆、⬇または数字ボタンで値を設定することができます。「秒」が点滅している状態で➡ボタンまたはENTERボタンを押すと内部クロックの設定が完了します。

WEEKLY TIMERの設定の仕方

1. 設定したい曜日のところ（例えばMON）にポインタを移動してENTERボタンを押す。

- 次のようなON時刻とOFF時刻を設定する画面になります。

2. 電源の入/切時刻を設定する。

- リモコンの数字ボタンと ➡ボタンでパワーオン／オフしたい時刻を設定します。

メモ

- WEEKLY TIMERの設定は最大24個（画面3ページ分）セットすることができます。画面の一番下にカーソルを合わせ ⬇ボタンを押すと次のページに切り換わります。1行目の（1/3）は現在何ページ目が表示されているかを表します。
- ONの時刻入力箇所が点滅しているときに⬅ボタンを押すと曜日の箇所が点滅し、その状態で⬆、⬇ボタンを押すことにより曜日を変更することができます。同じ曜日に2回以上電源をON/OFFしたい場合に有効です。

- 曜日を「ALL」にすると、毎日同じ時刻に電源のON/OFFを行うように設定できます。
- 電源を切る時刻を設定しないと、電源が入るのみとなります。
- 電源の入る時刻を設定せずに、電源の切れる時刻のみを設定することもできます。その時は電源が入っている状態から、設定時刻に電源が切れます。

3. パワーオン/オフする時刻を設定したら、次にポインタを移動させてパワーオンした後の動作を次の3つのうちから選択する。

注意

- 電源の入る時刻を設定していないときは、この設定はできません。
- メモリーへの書き込みは、タイマー設定画面を終了したときに行われます。それ以前に電源を切るとタイマー設定は記憶されません。
- 自動的に再生を始めるように設定されたDVDディスクでは設定どおり動作しません。

(1) TOP MENU

ディスクのTOP MENUを呼び出します。TOP MENU がないディスクの場合は停止状態になります。

(2) TITLE

タイトル ー チャプターを指定してそこから再生を開始します。「2. TITLE」を選択しENTERボタンを押すと下図のようにTITLEとCHAPTERが表示されますので、サーチしたいタイトルおよびチャプターを数字ボタン、カーソルボタンとENTERボタンで設定します。

```
TIMER ON/OFF    MON

    ON 08:30  OFF 17:30

  1.TOP MENU

 >2.TITLE
    TITLE 01  CHAPTER 01
  3.COMMAND STACK
```

注意

- タイトルとチャプターを選択した時は、選択したチャプターを再生後、選択したチャプター以降にチャプターがある場合は再生を続けます。そして、指定したタイトルの終わりで再生を終了します。
  ただしADV. SETUPメニューでリピート再生を設定した場合、選択したチャプターの再生後に、指定どおりのリピート再生をします。
- CD、ビデオCDを使用して、トラックを設定する場合はCHAPTERの項目に指定するトラックナンバーを入力してください。TITLEに入力した内容は無視されます。

メモ

- プレーヤーの電源のみONさせたい場合は、TITLEを選択してディスクにはないタイトル番号を入力してください。

(3) COMMAND STACK

COMMAND STACKのグループを指定して自動再生を開始します。「3. COMMAND STACK」を選択しENTERボタンを押すと下図のようにGROUPが表示されますので、実行したい COMMAND STACKのグループを数字ボタン、カーソルボタンとENTERボタンで設定します。

注意

- 選択されたCOMMAND STACKは再生時に自動的にリピートされます。

4. 再生動作を設定すると始めの画面に戻ります。

- 例えばタイトル2のチャプター6を設定すると、次のように表示されます。

曜日毎にON/OFF時間や再生動作の設定が異なる場合は、同様の手順で「TUE」、「WED」等の設定を行います。毎日同じ設定で良い場合は、「ALL」を選択してON/OFF時間と再生動作を設定すれば、各曜日の設定をしなくても毎日同じ動作をさせることができます。

メモ

- カーソルボタンで選択しCLEARボタンを押すとその設定を削除できます。

メモ

ウィークリータイマーの設定はリモコン以外にマウスでも設定できます。

- 指マーク ( ) のマウスカーソルの表示が出る位置でマウスの左ボタンをクリックすると、選択または設定の変更をする事ができます。
- 数字は、マウスの左ボタンでクリックするごとに「1」増加し、右ボタンをクリックする毎に「1」減少します。
- 「ENTER」の上で、マウスの左ボタンをクリックすると、入力した設定が有効になります。
- 「RETURN」の上で、マウスの左ボタンをクリックすると一つ前のモードに戻ります。その時入力した設定は無効になります。
- 画面右上のページ番号 (1/3) をクリックするとページが切り換わります。

同じ曜日に2回以上電源ON/OFFする設定

曜日の設定を変更すると同じ曜日に複数回の電源ON/OFFをすることができます。ON時刻の入力箇所が点滅しているときに ⬅ボタンを押すと曜日の箇所が点滅します。この状態で⬆、⬇ボタンを押すと曜日を変更することができます。

次のように設定すると、日曜日の7時 30分に電源が入り、タイトル1のチャプター1から再生して、12時 00分に電源が切れます。そして、13時 00分になると再び電源が入り、次にタイトル2のチャプター1を再生し、17時 30分に電源が切れます。
このような設定で同じ曜日に最大24回までON/OFFの時間が設定できます。

```
 05-04-05 SAT  08:15.00 (1/3)
        ON     OFF
 MON   --:--  --:--
 TUE   --:--  --:--
 WED   --:--  --:--
 THU   --:--  --:--
 FRI   --:--  --:--
 SUN   07:30  12:00  T01:C01
>SUN   13:00  17:30  T02:C01
 ALL   --:--  --:--
```

毎日同じ時刻に電源をON/OFFする設定

曜日を「ALL」に設定すると、毎日同じ時刻に電源のON/OFFを設定できます。
次の場合は、毎日 7時 30分に電源が入り、タイトル1のチャプター1 から再生し 17時 30分に電源が切れます。

```
 05-04-05 SAT  08:15.00 (1/3)
        ON     OFF
 MON   --:--  --:--
 TUE   --:--  --:--
 WED   --:--  --:--
 THU   --:--  --:--
 FRI   --:--  --:--
 SAT   --:--  --:--
 SUN   --:--  --:--
>ALL   07:30  17:30  T01:C01
```

また、上記の設定で、日曜日のみ電源を入れたくない場合は、日曜日のOFFの時刻に、「ALL」で設定したONの時刻と同じ時刻を設定します。この時、日曜日の ONの時刻には何も設定しません。
次のように設定すると、日曜日には常に電源をOFFし、それ以外の曜日は 7時 30分に電源が入り、タイトル1のチャプター1から再生し 17時 30分に電源が切れます。

```
 05-04-05 SAT  08:15.00 (1/3)
        ON     OFF
 MON   --:--  --:--
 TUE   --:--  --:--
 WED   --:--  --:--
 THU   --:--  --:--
 FRI   --:--  --:--
 SAT   --:--  --:--
 SUN   --:--  07:30
>ALL   07:30  17:30  T01:C01
```

ONの時刻とOFFの時刻で日付が変わる設定

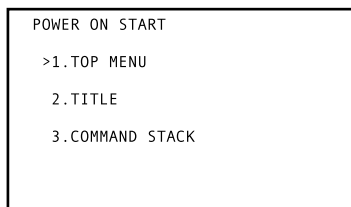
次のように設定すると、月曜日の23時に電源が入り、火曜日の2時 (月曜日の深夜) に電源が切れます。

```
>05-04-05 SAT  08:15.00 (1/3)
        ON     OFF
 MON   23:00  --:--  T01:C01
 TUE   --:--  02:00
 WED   --:--  --:--
 THU   --:--  --:--
 FRI   --:--  --:--
 SAT   --:--  --:--
 SUN   --:--  --:--
 ALL   --:--  --:--
```

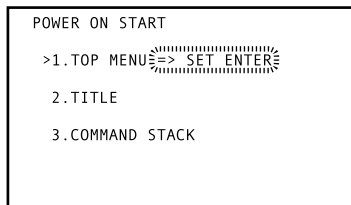
4. パワーオンスタート設定

電源ON後のプレーヤーの動作を設定します。

ADV. SETUPメニューで 「POWER ON START」を「OFF」以外にしてENTERボタンを押すと、次のような画面になるので、カーソル ⬆、⬇ボタンで「1」、「2」または「3」を選択してENTERボタンを押します。

```
POWER ON START

 >1.TOP MENU

  2.TITLE

  3.COMMAND STACK
```

1. TOP MENU

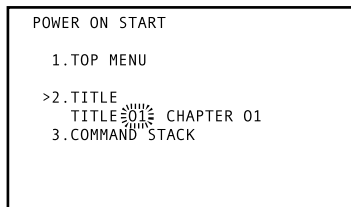
電源ON後にディスクのトップメニューを再生します。
カーソル ⬆、⬇ボタンで「1」を選択してENTERボタンを押すと、「=> SET ENTER」という表示が点滅しますので、再度 ENTERボタンを押して決定します。トップメニューが無いディスクの場合は停止状態になります。

```
POWER ON START

 >1.TOP MENU=> SET ENTER

  2.TITLE

  3.COMMAND STACK
```

この時、本体表示部は以下のように表示されENTERが点滅します。

```
POWER ON START
TOP MENU   ENTER
```

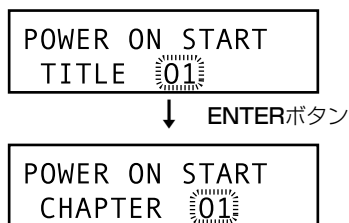
2. TITLE

電源ON後に指定したタイトルとチャプターをサーチし、再生します。
カーソル ⬆、⬇ボタンで「2」を選択し、ENTERボタンを押すと次のような画面になるので、サーチしたいタイトルおよびチャプターを数字ボタンまたはカーソル ⬆、⬇ボタンとENTERボタンで設定します。

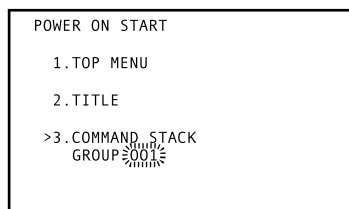
```
POWER ON START

  1.TOP MENU

 >2.TITLE
    TITLE 01  CHAPTER 01
  3.COMMAND STACK
```

この時、本体表示部は以下のようになります。
まずTITLEが表示され、ENTERボタンで決定すると次にCHAPTERが表示されます。

```
POWER ON START
 TITLE  01
```

⬇ ENTERボタン

```
POWER ON START
 CHAPTER  01
```

3. COMMAND STACK

電源ON後にCOMMAND STACKを呼び出し、自動再生します。
カーソル ⬆、⬇ ボタンで「3」を選択し、ENTERボタンを押すと次のような画面になるので、COMMAND STACKのグループを数字ボタンまたはカーソル ⬆、⬇ ボタンで指定し、ENTERボタンを押して決定します。

```
POWER ON START

  1.TOP MENU

  2.TITLE

 >3.COMMAND STACK
    GROUP 001
```

この時、本体表示部は以下のように表示されます。

```
POWER ON START
 GROUP  001
```

注意

選択されたCOMMAND STACKは再生時に自動的にリピートされます。

メモ

パワーオンスタートの設定はリモコン以外にマウスでも設定できます。
- 指マーク (☝) のマウスカーソルの表示が出る位置でマウスの左ボタンをクリックすると、選択または設定の変更をする事ができます。
- 数字は、マウスの左ボタンでクリックするごとに「1」増加し、右ボタンをクリックする毎に「1」減少します。
- 「ENTER」の上でマウスの左ボタンをクリックすると、入力した設定が有効になります。
- 「RETURN」の上でマウスの左ボタンをクリックすると一つ前のモードに戻ります。その時入力した設定は無効になります。

5. KEY LOCKの設定

5.1. 設定方法

「KEY LOCK」を「ON」にしてENTERボタンを押すと次のような画面になります。カーソル ⬆、⬇ ボタンで「1 . TRAY」、「2. REMOTE CONTROL」、「3. FRONT KEY」を選択し、カーソル ⬅、➡ボタンで「Disable」または「Enable」にそれぞれ設定します。

この時、本体表示部は以下のようになります。

1. TRAY

「Disable」にすると、
· 本体のSTOP/OPEN/CLOSEボタン
· RS-232CのOP、RJコマンド
· EXTEND TERMINAL の OPEN/CLOSE
でトレイをオープンすることができなくなります。

2. REMOTE CONTROL

「Disable」にすると、リモコンによる操作ができなくなります。

3. FRONT KEY

「Disable」にすると、本体のボタンによる操作ができなくなります。

例1.
TRAY : Disable、
REMOTE CONTROL : Disable、
FRONT KEY : Enable に設定
リモコンでは操作不可、本体のボタンでは操作できますが、STOP/OPEN/CLOSEボタンでトレイをオープンすることはできません。

例2.
TRAY : Enable、
REMOTE CONTROL : Disable、
FRONT KEY : Disable に設定
リモコンおよび本体のボタンでは操作できなくなります。「TRAY」は「Enable」ですが、リモコンと本体ボタンによる操作が不能なので、トレイオープンもできません。
ただし、RS-232CのOPコマンドでトレイをオープンすることは可能です。

メモ

KEY LOCKの設定はリモコン以外にマウスでも設定できます。

- 指マーク (☝) のマウスカーソルの表示が出る位置でマウスの左ボタンをクリックすると、項目が選択されます。
- 項目が選択された状態で、さらにマウスの右または左ボタンをクリックするとその設定を変える事ができます。

5.2. KEY LOCKインジケーターの表示仕様

KEY LOCKの各設定状態でのインジケーターの表示仕様は下の表のようになります。

TRAY	REMOTE CONTROL	FRONT KEY	KEY LOCKインジケーターの表示
Enable	Enable	Enable	消灯
Disable	Enable	Enable	消灯 リモコンのOPEN/CLOSEボタンが押された時、または停止中に本体のSTOP/OPEN/CLOSEボタンが押された時に約2秒間点滅
Enable	Disable	Enable	点灯 リモコンのボタンが押された時に約2秒間点滅
Disable	Disable	Enable	点灯 リモコンのボタンが押された時、および停止中に本体のSTOP/OPEN/CLOSEボタンが押された時に約2秒間点滅
Enable	Enable	Disable	点灯 本体のボタンが押された時に約2秒間点滅
Disable	Enable	Disable	点灯 本体のボタンが押された時、およびリモコンのOPEN/CLOSEボタンが押された時に約2秒間点滅
Enable	Disable	Disable	点灯 リモコンまたは本体のボタンが押された時に約2秒間点滅
Disable	Disable	Disable	点灯 リモコンまたは本体のボタンが押された時に約2秒間点滅

5.3. KEY LOCKの一時解除

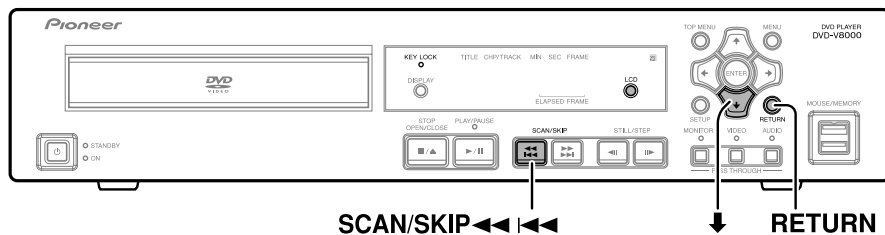
KEY LOCKの設定はプレーヤーのFlash Memoryに保存されるので、電源OFF→ONしても、設定したLOCK状態で動作しますが、ディスク交換や設定を変更する時のために、一時的にKEY LOCKを解除することができます。

KEY LOCKを一時的に解除するには、本体の
RETURN、**⬇**、**SCAN/SKIP ◀◀ |◀◀**
の3つのボタンを2秒間同時に押す必要があります（この操作による一時解除は、再生中にも可能です）。
これにより、KEY LOCK、TRAY LOCKはすべてOFFの状態になり、通常の操作ができるようになります。
この状態はあくまでもKEY LOCKが一時的に解除された状態であり、プレーヤーのFlash Memoryに保存されている設定を書き換えるわけではないので、電源ＯＦＦ→ＯＮの操作をすると元のLOCK状態に戻ります。
また、ＫＥＹ　ＬＯＣＫを一時的に解除した状態の時に、再度**RETURN**、**⬇**、**SCAN/SKIP ◀◀ |◀◀** ボタンの2秒間の3重押しをすることでも、一時解除状態を終了して元のLOCK状態に戻すことができます。

注意

KEY LOCKの一時解除状態で**ADV. SETUP**を開き、KEY LOCKの設定を変えて**ADV. SETUP**を閉じても、一時解除状態が続きます。
一時解除状態を終了した時点で、KEY LOCKの設定変更が有効になります。

5.4. KEY LOCKの例外

本体の **LCD**ボタンは、KEY LOCKの設定に影響されません。「FRONT KEY」が「Disable」に設定されていても、**LCD**ボタンは受け付け、LCDの表示を切り換えます。

6. EXTEND TERMINALの設定方法

EXTEND TERMINALの詳細については、
「Extend Terminal 仕様」（79ページ）をご覧ください。

1. SETUPボタンを1秒間押して、ADV. SETUPメニューを表示する。

```
 ADV.SETUP             page 1/3
>COMMAND STACK
 WEEKLY TIMER          OFF
 POWER ON START        OFF
 TITLE PLAY MODE       Single
 KEY LOCK              OFF
 REPEAT MODE           OFF
 SERIAL PORT           15 Pin
 BAUD RATE             4800bps
 REV STEP/REV PLAY     Resolution
```

2. カーソル ⬆、⬇ボタンで「EXTEND TERMINAL」を選ぶ。

```
 ADV.SETUP             page 2/3
 BLACKBOARD LOCK       OFF
 PLAYER CONTROL PANEL  Selectable
 SETUP LOCK (MOUSE)    OFF
 GOTO DVD-MENU         OFF
 MOUSE CURSOR          ON
>EXTEND TERMINAL       Standard
 SYNC OUT(DURING SQ)   OFF
 EXTERNAL SYNC         OFF
 MONITOR OSD           Bottom
```

3. カーソル ⬅、➡ボタンで「User」選択し、ENTERボタンを押す。

- 「Current」が現在の設定で 1～30 まであります。
- この画面から ADV. SETUP に戻る時は RETURN で、全部終了するときは SETUP を押します。
- 機能の変更が可能なSWの組み合わせ（30パターン）に対して設定できる機能は以下の通りです。

カーソル系

⬆、⬇、⬅、➡、⬈、⬊、⬋、⬉の 8キー

操作系

PLAY、STOP、PAUSE、STEP FWD、STEP REV、SCAN FWD、SCAN REV、SKIP FWD、SKIP REV、ENTER、MENU、TOP MENU、RETURN、DISPLAY、AUDIO、ANGLE、SUBTITLE、REPEAT、REPEAT A-B、CLEAR、OPEN/CLOSE、SETUP、MEMORY、RECALL、TT/CH/FR/TM の25キー

数字系

1～20、0 および >10 の 22キー

Command Stack 系

GROUP 1 ～ GROUP 27 の 27キー

➡ ⬅ ⬆ ⬇で希望するキーを選択して ENTER を押すと設定され、「Current 」の欄の表示が変わります。

- 複数のＳＷパターンに同一の機能を割り当てることも可能です。

SWの無効化

Default のキーの機能を他の機能に変えるのではなく、機能しないようにすることも可能です。

- 「Current」上で無効化したいキーを選択して CLEAR を押すと「nothing」の表示になります。
- Ｎｏ.１のキーには何も機能が割り当てられていない状態であり、キーを押しても何も反応しません。

初期状態に戻す

「Current」の「Default Setting」上で ENTER を押すと初期状態に戻ります。

コマンドスタック機能

DVD-V8000ではコマンドスタック機能を用いることにより、PLAY、STOP等の各種コマンドをプレーヤーにあらかじめ記憶させることができます。
そして、記憶した内容を呼び出して連続実行や、1ステップずつの実行をリモコンで行うことができます。
また、記憶したコマンドスタックの内容をUSBメモリーに保存したり、USBメモリーに保存されたコマンドスタックを読み出し実行することができます。

注意

- コマンドスタック機能はCDおよびVideo CDには使用できません。
- プレーヤーに記憶できる最大ステップ数は300ステップまでです。
- 記憶したデータは電源コードを抜いても保持されます。

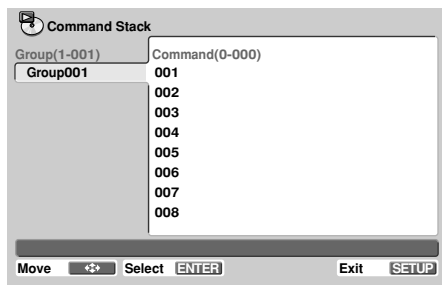
Command Stack の入力

1. 入力モードへのエントリー

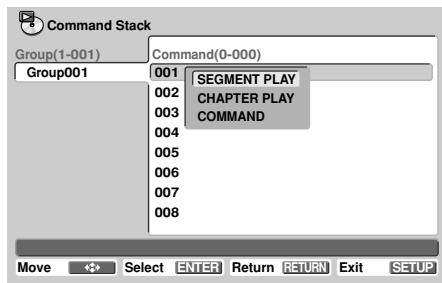
ADV. SETUPメニューで「Command Stack」を選択するか、リモコンのMEMORYボタンを押すことにより入力モードになります。

注意

- コマンドスタック入力メニューに入るためには、DVDディスクがセットされている必要があります。

[COMMAND STACK 入力の初期画面]

2. コマンドの入力

1) ➡ を押して右のコマンド欄をハイライトさせ、ENTER を押す。

- 下図のように3つの選択項目が表示されます。

2) ⬆、⬇ で入力したいコマンドをハイライトさせ、ENTER を押す。

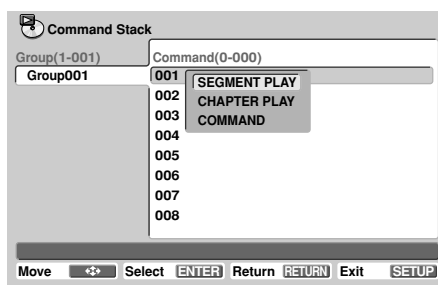
① **SEGMENT PLAY ：**
フレームで再生開始点・終了点を指定し、その区間内を再生するコマンドです。

② **CHAPTER PLAY ：**
チャプターで再生開始点・終了点を指定し、その区間内を再生するコマンドです。

③ **COMMAND ：**
①、②以外のコマンドです。

2.1 SEGMENT PLAY コマンドの入力

[例 ： タイトル1のフレーム301から513までを再生する]

1) 「SEGMENT PLAY」上で ENTER を押す。

2) 「TITLE」上で 数字 の「1」を押し、ENTER または ⬇ を押す。

- 再生中ならばタイトルが表示されます。

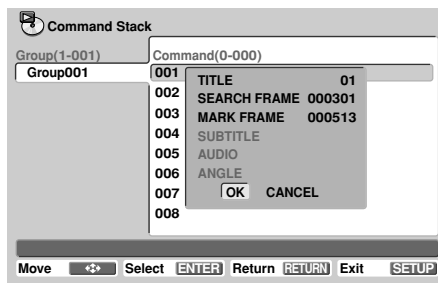
3) 「SEARCH FRAME」上で 数字 の「3」「0」「1」を押し、ENTER または ⬇ を押す。

- 再生中に ENTER を押すと、押した時点のフレームが設定されます。

4) 「MARK FRAME」上で 数字 の「5」「1」「3」を押し、ENTER または⬇を押す。

- 再生中に ENTER を押すと、押した時点のフレームが設定されます。
- 「MARK FRAME」を入力した時点で、「SUBTITLE」、「AUDIO、ANGLE」は設定できなくなります。

5) 「OK」上で ENTER を押す。

- 登録完了です。

2.1.1 サブタイトル／音声／アングルを設定するコマンドの入力

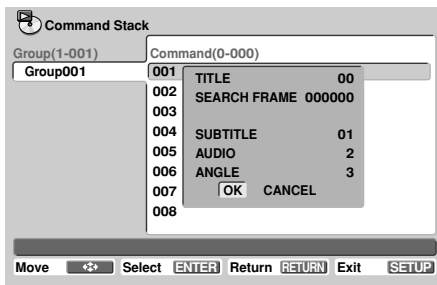
[例 ： SUBTITLE 1、AUDIO 2、ANGLE 3を設定する（サーチ動作を伴わずにサブタイトル／音声／アングルの設定を変えるコマンド）]

1) 「TITLE」、「SEARCH FRAME」、「MARK FRAME」に入力せずに、「SUBTITLE」上で数字の「1」を押し、ENTER または ⬇ を押す。

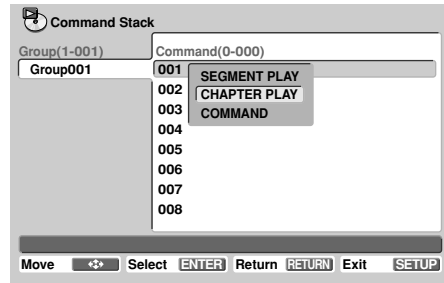
2) 「AUDIO」上で数字の「2」を押し、ENTER または ⬇ を押す。

3) 「ANGLE」上で数字の「3」を押し、ENTER または ⬇ を押す。

4) 「OK」上で ENTER を押す。

- 登録完了です。

2.2 CHAPTER PLAY コマンドの入力

[例 ： タイトル5のチャプター3からチャプター7までを、SUBTITLE 3、AUDIO 2、ANGLE 1で再生する。]

1) 「CHAPTER PLAY」上で ENTER を押す。

2) 「TITLE」上で 数字の「5」を押し、 ENTER または ⬇ を押す。

3) 「SEARCH CHAPTER」上で数字の「3」を押し、 ENTER または ⬇ を押す。

4) 「MARK CHAPTER」上で 数字の「8」を押し、 ENTER または ⬇ を押す。

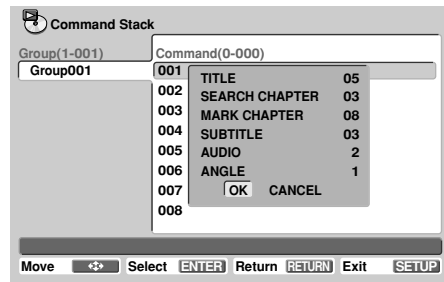
- 「7」を指定すると、チャプター7 自体は再生されません。

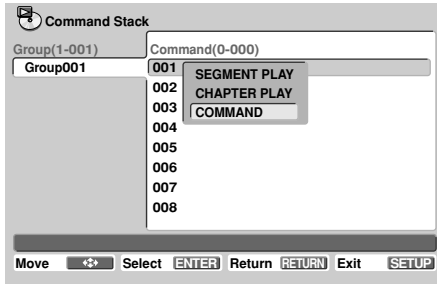
5) 「SUBTITLE」上で数字の「3」を押し、ENTER または ⬇ を押す。

6) 「AUDIO」上で数字の「2」を押し、ENTER または ⬇ を押す。

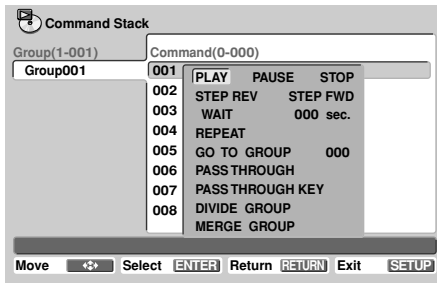
7) 「ANGLE」上で数字の「1」を押し、ENTER または ⬇ を押す。

8) 「OK」上で ENTER を押す。

- 登録完了です。

2.3 それ以外のコマンドの入力

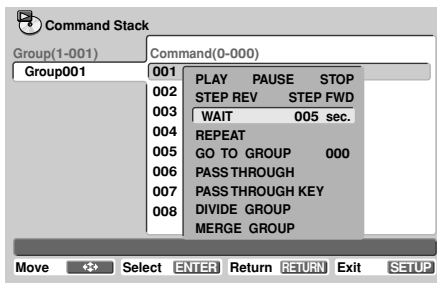
1) 「COMMAND」上で ENTER を押す。

2.3.1 単独コマンド

1) 希望のコマンド（例えば PLAY）をハイライトさせ、ENTER を押す。

- 登録完了です。
- PAUSE、STOP、STEP REV、STEP FWD、REPEAT なども同様に入力できます。

2.3.2 待ち時間の設定

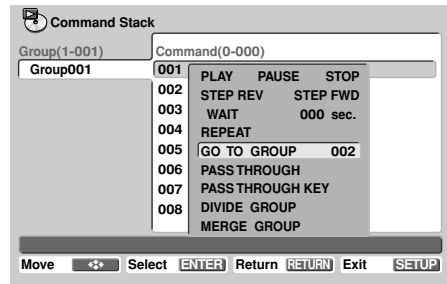
[例 ： 待ち時間を 5 秒設定する]

1) 「WAIT」上で 数字 の「5」を押し、ENTER を押す。

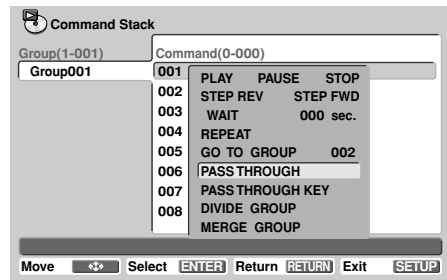
- 登録完了です。

2.3.3 GO TO コマンド

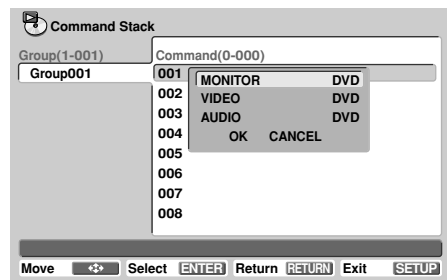
[例 ： 他のグループ（グループ 2）にジャンプする]

1) 「GO TO GROUP」上で数字の「2」を押し、ENTER または ⬇ を押す。

- 登録完了です。
- 存在しないグループでも入力できます（実行はできません）。
- グループは150以上作成できないので、150より大きい値は設定できません。

2.3.4 PASS THROUGH コマンド

出力を本体映像／音声と外部入力映像／音声に切り換えるコマンドです。

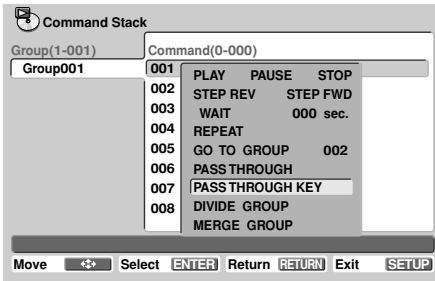
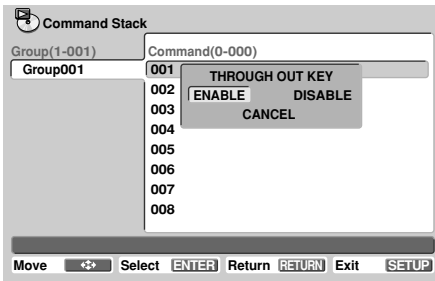
1) 「PASS THROUGH」上でENTER を押す。

2) ⬆、⬇ で「MONITOR」を選択し、⬅、➡で「DVD」／「EXTERNAL」／「PRESERVE」を選択する。

DVD : 本体の再生映像に切り換えます。
EXTERNAL : 出力をスルー出力に切り換えます。
PRESERVE : 出力の切り換えを行いません。

3) ⬆、⬇ で「VIDEO」を選択し、⬅、➡で「DVD」／「EXTERNAL」／「PRESERVE」を選択する。

4) ⬆、⬇ で 「AUDIO」を選択し、⬅、➡で「DVD」／「EXTERNAL」／「PRESERVE」を選択する。

5）「OK」上で ENTER を押す。
- 登録完了です。
- 「CANCEL」を選択しENTER を押すと、コマンド選択画面に戻ります。

2.3.5 PASS THROUGH KEYコマンド
DVD-V8000本体の PASS THROUGHボタンの有効／無効を切り換えるコマンドです。

1）「PASS THROUGH KEY」上でENTER を押す。

- 切り換えウィンドウが表示されます。

2）←、→で「ENABLE」または「DISABLE」を選択し、ENTER を押す。

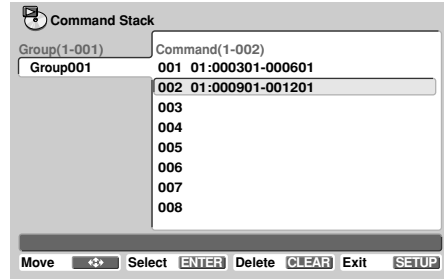
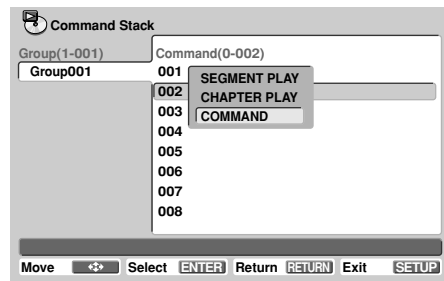
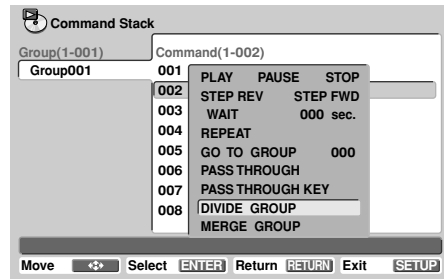
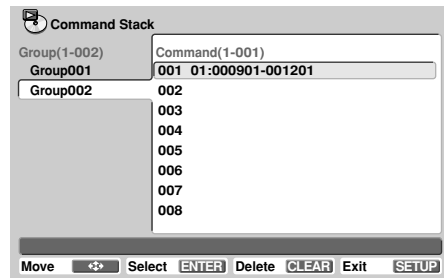
ENABLE：本体の PASS THROUGHボタンが有効になります。
DISABLE：本体の PASS THROUGHボタンが無効になります。
- 登録完了です。
- 「CANCEL」を選択しENTER を押すと、コマンド選択画面に戻ります。

メモ

- 電源投入時は PASS THROUGHボタンは有効です。

3. Command Stack の編集操作

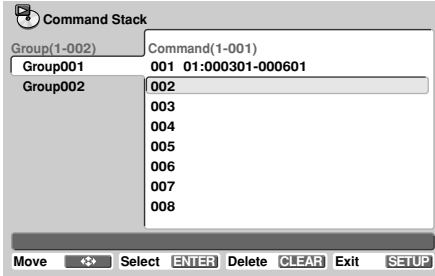
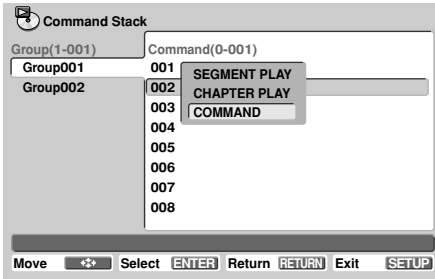
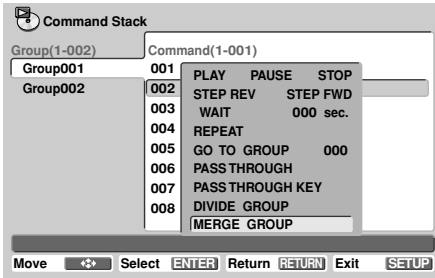
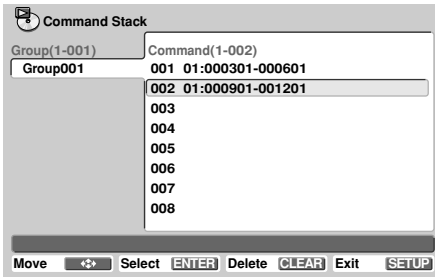
3.1 グループの分割
現在のグループから指定コマンド以降を分割します。

1）分割したいコマンド上で ENTER を押す。

2）「COMMAND」を選択して ENTER を押す。

3）「DIVIDE GROUP」を選択する。

4）「DIVIDE GROUP」上で ENTER を押す。

- 選択していたコマンドを先頭とする新しいグループに分割されます。
- 新しいグループは分割前のグループの直後に挿入されるため、続くグループの番号は１つずつ追加されます。
「GO TO GROUP」でジャンプさせる設定がある場合は、注意が必要です。

07 業務用機能

3.2 グループの結合

現在のグループのコマンドの最後に直後のグループのコマンドを結合します。
[例 ： Group001 と Group002 を結合する]

1) コマンド欄の最終ステップの次の空白上で ENTER を押す。

2) 「COMMAND」を選択して ENTER を押す。

3) 「MERGE GROUP」を選択する。

4) 「MERGE GROUP」上で ENTER を押す。

- メニューを開かなくても、空白上で CLEAR を押しても同様です。
- グループが 1 つなくなるので、続くグループがある場合はグループ番号がひとつずつ減ります。
  「GO TO GROUP」でジャンプさせる設定がある場合は、注意が必要です。

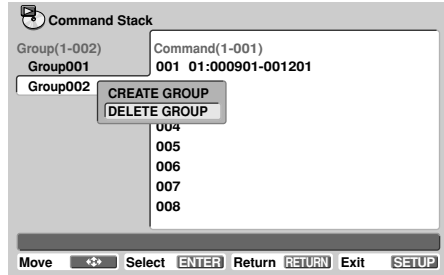
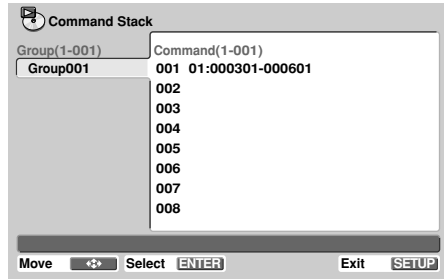
3.3 コマンドの削除

1) 削除したいコマンド上で CLEAR を押す。

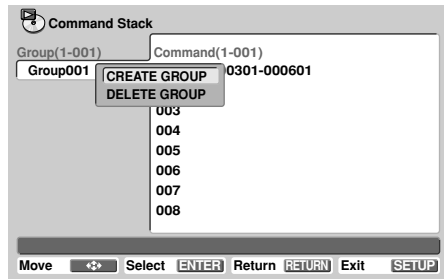
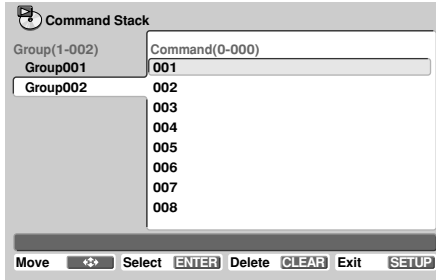
- 選択したコマンドが削除されます。

3.4 グループの削除

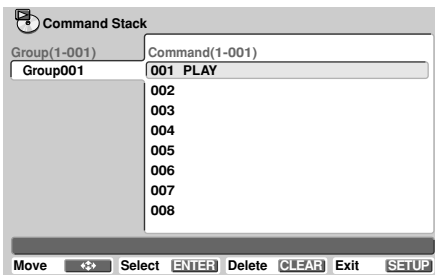
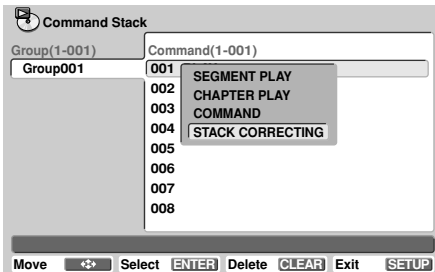
[例 ： Group002 を削除する]

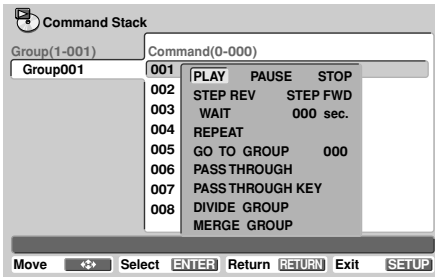
1) 削除したいグループ上で ENTER を押し、「DELETE GROUP」を選択する。

2) 「DELETE GROUP」上で ENTER を押す。

- 選択したグループが削除されます。
- グループが 1 つなくなるので、続くグループがある場合はグループ番号がひとつずつ減ります。
  「GO TO GROUP」でジャンプさせる設定がある場合は、注意が必要です。

3.5 新規グループの作成

1) 最後のグループ上で ENTER を押す。

2) 「CREATE GROUP」上で ENTER を押す。

- 新しいグループが作成されコマンド欄にカーソルが移動します。

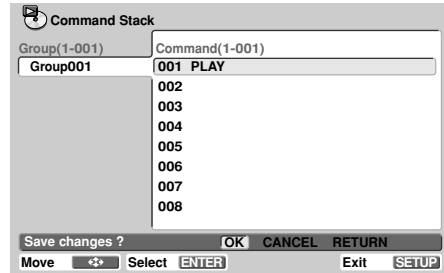
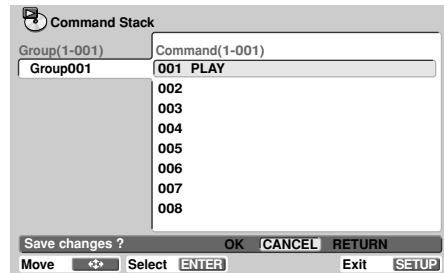
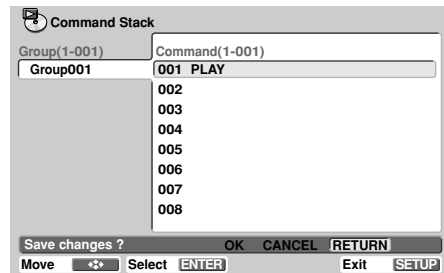
3.6 入力済みコマンドの修正

1）修正したいコマンド上で ENTER を押す。

2) 「STACK CORRECTING」上で ENTER を押す。

- 「STACK CORRECTING」以外の3つのいずれかを選んだ場合は、上書きではなく該当のコマンドの前に新たなコマンドが挿入されます。

3) 新たなコマンド選択し ENTER を押す。

- コマンドが上書き修正されます。

4. 入力の終了・データの保存

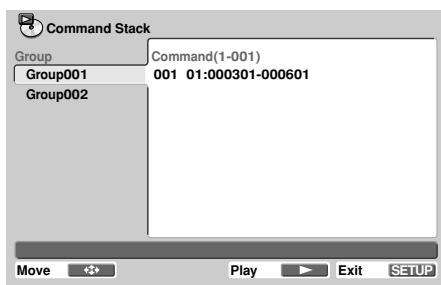
コマンドスタックを編集し終了するときに変更があった場合は、保存するか確認します（「Save changes ?」）。

保存する場合は「OK」上で ENTER を押す。

保存しない場合は「CANCEL」上で ENTER を押す。

元の入力画面に戻る場合は「RETURN」上で ENTER を押す。

Command Stack の呼び出し

1. 呼び出しモードへのエントリー

SETUPメニューの「Play Mode」から「Command Stack」を選択して ENTER ボタンを押すか、リモコンのRECALLボタンを押すことによりCommand Stackの呼び出しモードに入ることができます。

注意

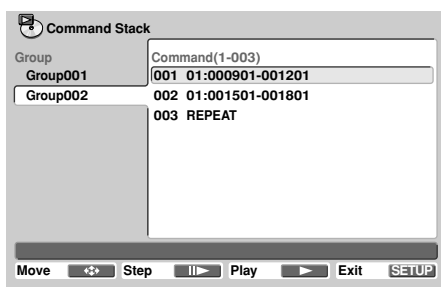
- コマンドスタックの呼び出しを実行するには、DVDディスクがセットされている必要があります。

2. 呼び出し操作

2.1 グループ内のコマンド全てを連続実行する

実行する「Group」上で Play（ ►）を押すか、「Command 001」上で Play（ ►）または ENTER を押す。

2.2 グループ内のコマンドをステップ実行する

実行したいコマンド上で Step （ ▮▮►） を押す。

- Step（ ▮▮►）を押す毎に続くコマンドを実行できます。

メモ

- WEEKLY TIMER (47ページ) やPOWER ON START (50ページ) でコマンドスタックを呼び出すこともできます。

USBメモリーを使用したファイルのロード/セーブ機能

DVD-V8000ではUSBメモリーに設定ファイルなどを保存（セーブ）したり、USBメモリーからファイルを取り込んだり（ロード）することができます。
複数のDVD-V8000を同じ設定で使いたい場合などに有効です。

1. ファイルの種類

■ DVD-V8000の設定ファイル

SETUPメニューおよびADV. SETUPメニューで設定された項目をファイルにして、USBメモリーにセーブすることができます。
また、USBメモリー中の設定ファイルをロードすることもできます。
USBメモリーにセーブされる際の設定ファイル名の拡張子は「set」です。

■ コマンドスタックファイル

コマンドスタックデータをファイル化し、USBメモリーにセーブすることができます。また、USBメモリー中のコマンドスタックファイルをロードすることもできます。
USBメモリーに保存される際のコマンドスタックファイル名の拡張子は「cmd」です。

■ エラー履歴ファイル（SAVEのみ）

DVD-V8000内部に残されたエラー履歴をファイル化しUSBメモリーにセーブすることができます。
USBメモリーにセーブされる際のエラー履歴ファイル名の拡張子は「err」です。

2. セーブされる時のファイル名

セーブされたファイルは「DVD-V8000のシリアル番号.拡張子」という名前になります。
　設定ファイル：シリアル番号.set
　コマンドスタックファイル： シリアル番号.cmd
　エラー履歴ファイル：シリアル番号.err
例えば、シリアル番号「ABCD123456」の製品の設定ファイルは「ABCD123456.set」となります。
またUSBメモリーに同じ名前のファイルがあった場合は、シリアル番号の後に「_n」(nは1～5の整数)という副番が付けられます（「ABCD123456_5.set」など）。
1から5までの副番付きファイル名も全てUSBメモリー中にあった場合は、
シリアル番号_5.拡張子（例:「ABCD123456_5.set」）を上書き保存するか確認し、ＯＫならば上書きされます。
上記仕様に従い、あるシリアル番号を持つ製品でファイルの種類につき、副番無しのファイルを含め最大 6個セーブできます。

3. サポートするUSBメモリーのファイルフォーマット

DVD-V8000では FAT16、FAT12、FAT32 形式でフォーマットされたUSBメモリーをサポートします。
コンピュータでFATフォーマットしたものを使用できます。

4. 操作方法

操作はリモコンおよびマウスで行うことができます。
リモコンの場合、⬅、⬇、⬆、➡ボタンで選択、ENTERボタンで決定、RETURNボタンでADV. SETUPメニューに戻ります。
マウスの場合、マウスカーソルが指マーク (☝) 状態の時に左ボタンをクリックすると選択します。選択した状態でさらに左ボタンをクリックすると決定になります。マウスカーソルが矢印（↖）の時に右ボタンをクリックすると、ADV. SETUPメニューに戻ります。
また、LOAD SETUP/COMMAND STACKのファイルリスト表示画面では、1画面に最大 9個のファイルが表示され、「NEXT」および「PREV」を左クリックすると、次または前の9個のファイルを表示します。

注意

- ロード可能なファイルはルートディレクトリにあるファイルのみです。また、DVD-V8000でUSBメモリーにセーブされたファイルはルートディレクトリに置かれます。
- ロード時に表示するファイル名はロングファイル名をサポートしますが、表示可能文字数の制限上、ファイル名が 15文字を超えると一部省略されます。（名前が省略されたファイルは名前の最後が「..」となります。）
- USBメモリーは同時に1つしかサポートしません。
  2つ以上のUSBメモリーを挿して使用しないでください。
- USBメモリーを使用する際、必ずDVD-V8000に関係のないファイルはすべて削除してから、ロードおよびセーブを行ってください。
  ロードおよびセーブ中にエラーが発生し、USBメモリー中のファイルが消失した／壊れた等のトラブルに関してのサポートはいたしません。
  DVD-V8000ではファイルの削除はできませんのでコンピュータで行ってください。
- ファイルのロード／セーブ中はＵＳＢメモリーの抜き差しを行わないでください。ファイルのロード／セーブが終了すると画面および本体表示部に「COMPLETE」と表示されます。

ファイルのセーブおよびロード中にエラーが起きた場合は、USBメモリーを挿し直してから再度実行してください。それでもエラーになる場合は、USBメモリーをコンピュータでFAT形式に再フォーマットしてください。

本製品の使用による、USBメモリー本体の破損、USBメモリー内のデータおよびDVD-V8000の設定データの損失に関して、当社は一切の責任を負いませんのでご了承ください。

5. USBメモリーデータ ロード/セーブの手順

5.1 ファイルのロード

[例：設定ファイルのロード]

1）ADV．SETUPメニューの3ページ目にある「LOAD SETUP」を選択する。

```
ADV.SETUP              page 3/3
 AUTO PASS THROUGH     OFF
 PLAY START MODE       Title1
>LOAD SETUP
 SAVE SETUP
 LOAD COMMAND STACK
 SAVE COMMAND STACK
 SAVE ERROR LOG
```

```
LOAD SETUP
```

2）ENTERを押す。

- USBメモリーが認識されない時は、「NO USB MEMORY」と表示されます。
- RETURNボタンでADV. SETUPメニューに戻ります。

```
LOAD SETUP


>NO USB MEMORY
```

```
LOAD SETUP
NO USB MEMORY
```

- USBメモリーが認識されていた場合、メモリー中のファイルが画面に表示されます。（ただし拡張子が「set」であるものに限られます。）
- ファイルは1画面に最大9個表示することができます。⬆、⬇ でファイルを選択し、⬅、➡ で次／前の9個のファイルを表示します。

```
LOAD SETUP      SERIAL=ABCD123456
 AAAA000001.set
>ABCD123456.set
 CCDD000002.set
 ABCD123456_1.set
 ABCD123456_2.set
 AABB000006.set
 EEFF000010.set
 GTCC000020.set
 TTPP000055.set      ←PREV  NEXT→
```

```
LOAD SETUP
ABCD123456.set
```

↕ カーソル ⬆ ⬇ボタン

```
LOAD SETUP
CCDD000002.set
```

3）ロードしたいファイルを選択してENTERを押す。

- コマンドスタックファイルをロードする場合は、拡張子が「cmd」のファイルのみ表示します。

4）選択したファイルをロードするかかどうかを確認する。

- ⬅、⬆、⬇、➡ で「YES」／「NO」を選択します。「YES」が選択されると、ファイルをロードします。「NO」が選択されると、ADV. SETUPメニューに戻ります。

```
LOAD SETUP      SERIAL=ABCD123456
 ABCD123456.set


 >YES
  NO
```

```
ABCD123456.set
LOAD? >YES /  NO
```

↕ カーソル ⬆ ⬇ボタン

```
ABCD123456.set
LOAD?  YES / >NO
```

5）ENTERを押す。

- ファイルのロードを開始します。

[ファイルのロード実行中の表示]

```
LOAD SETUP


 NOW LOADING FILE...
```

```
LOAD SETUP
NOW LOADING FILE
```

[ファイルのロード完了の表示]

```
LOAD SETUP


  COMPLETE
```

```
LOAD SETUP
COMPLETE
```

6）RETURNまたはENTERを押して、ADV. SETUPメニューに戻る。

5.2 ファイルのセーブ

[例：設定ファイルのセーブ]

1) ADV．SETUPメニューの3ページ目にある「SAVE SETUP」を選択する。

```
ADV.SETUP              page 3/3
AUTO PASS THROUGH      OFF
PLAY START MODE        Title1
LOAD SETUP
>SAVE SETUP
LOAD COMMAND STACK
SAVE COMMAND STACK
SAVE ERROR LOG
```

```
SAVE SETUP
```

2) ENTERを押す。

- USBメモリーが認識されない時は、「NO USB MEMORY」と表示されます。
- RETURNボタンでADV. SETUPメニューに戻ります。

```
SAVE SETUP


 >NO USB MEMORY
```

```
SAVE SETUP
NO USB MEMORY
```

- USBメモリーが認識されていた場合、セーブされるファイル名が画面上部に表示されます。ファイル名はシリアル番号に拡張子をつけたものになりますが、USBメモリー中に同じ名前のファイルがあった場合はシリアル番号に副番をつけます（「**2. セーブされる時のファイル名**」(61ページ）参照）。

```
SAVE SETUP
 ABCD123456_5.set


 >YES
  NO
```

```
ABCD123456_5.set
SAVE? >YES /  NO
```

↕ カーソル⬆⬇ボタン

```
ABCD123456_5.set
SAVE?  YES / >NO
```

3) ファイルをセーブするかどうかを確認する。

- ⬅、⬆、⬇、➡ で「YES」／「NO」を選択します。
  「YES」が選択されるとファイルのセーブをしますが、USBメモリー中に同じ名前のファイルがあった場合は、上書きするかどうかの確認になります。
  「NO」が選択されるか、RETURNボタンでADV. SETUPメニューに戻ります。

4) USBメモリー中に同じ名前のファイルがあった場合は、上書きするかどうか確認する。

- ⬅、⬆、⬇、➡ で「YES」／「NO」を選択します。
  「YES」が選択されるとファイルの上書きセーブになります。
  「NO」が選択されるか、RETURNボタンでADV. SETUPメニューに戻ります。

```
SAVE SETUP
 ABCD123456_5.set

 SAME FILE IS FOUND,OVERWRITE?
 >YES
  NO
```

```
FOUND SAME FILE
SAVE? >YES /  NO
```

↕ カーソル⬆⬇ボタン

```
FOUND SAME FILE
SAVE?  YES / >NO
```

5) ENTERを押す。

- ファイルのセーブを開始します。

[ファイルのセーブ実行中の表示]

```
SAVE SETUP


 NOW SAVING FILE...
```

```
SAVE SETUP
NOW SAVING FILE
```

[ファイルのセーブ完了の表示]

```
SAVE SETUP


  COMPLETE
```

```
SAVE SETUP
COMPLETE
```

6) RETURNまたはENTERを押して、ADV. SETUPメニューに戻る。

メモ

- セーブされたファイルの作成時刻は、内部クロックで設定された時間になります。

マウスによるプレーヤーコントロール機能

USBマウスを接続することにより、マウスによる操作ができるようになります。

ボタンの選択（DVDとVideo CD）

ＤＶＤディスクのメニュー上のボタンや映像上のボタンの選択が、マウスを使って行えます。
ボタンのある場所では矢マークから指マークに変わります。指マークの状態でそれぞれの操作ボタンをマウスボタンで左クリックすると、リモコンのボタンと同様な操作ができます。

プレーヤーコントロールパネルについて

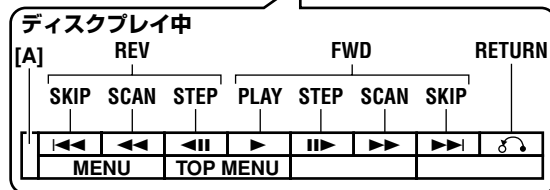
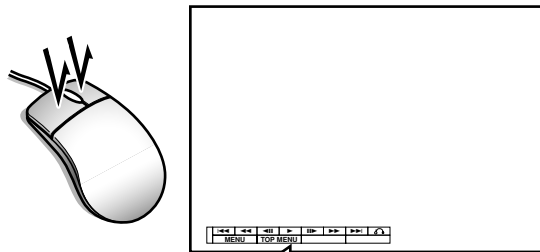
マウスの左と右のボタンを同時に押すか、左ボタンを押しながら右クリックすることで、プレーヤーコントロールパネルが画面下に表示されます。
マウスのポインタをプレーヤーコントロールパネルに重ねると、矢マークから指マークに変わります。
指マークの状態で、それぞれの操作ボタンをマウスボタンで左クリックすると、リモコンのボタンと同様な操作ができます。

ディスク／機能	DVD	Video CD	CD
▶▶I	○	○	○
▶▶	○	○	○
II▶	○	○	－
▶	○	○	○
◀II	○	－	－
◀◀	○	○	○
I◀◀	○	○	○
(RETURN)	○	○	－
TOP MENU	○	－	－
MENU	○	○	○

メモ

- 市販されているＤＶＤディスクの中には映像上のボタンの位置が、認識されている位置とは異なるものがあります。それらのディスクでは、マウスを使用せずにリモコンをご使用ください。

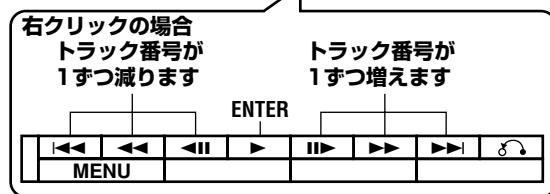
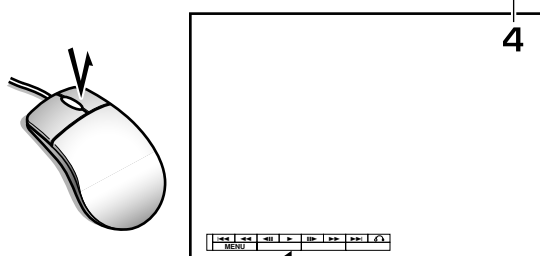
■ DVDの場合

- プレーヤーコントロールパネルをマウスで左クリックすると、リモコンのボタンと同様な操作ができます。
- ADV. SETUPメニューの「SETUP LOCK (MOUSE)」を「OFF」に設定すると、プレーヤーコントロールパネルにSETUPおよびADV. SETUPのボタンが表示され、SETUPメニューやADV. SETUPメニューにマウスをクリックすることで入ることができます。
- 図中の[Ａ]点を左クリックしたままドラッグすると、プレーヤーコントロールパネルの位置を移動することができます。移動した場合、電源をOFFするまではその位置が保持されます。

■ Video CDの場合

左クリックの場合は、アイコンの示すマーク通りの動作をします。
PBC再生のメニュー画面ではマウスで直接選ぶことはできません。プレーヤーコントロールパネルを図のように右クリックすることで画面右上に数字が表示され、カーソル ➡ ボタンを押すことで入力された数字のトラック（曲またはタイトル）を選択することができます。

注意

- マウス操作が禁止されているディスクや、入力された数字のタイトルが無い場合は実行されません。

注意

- 外部入力映像を表示しているときは、プレーヤーコントロールパネル機能は使用できません。

ビデオブラックボード機能

DVD-V8000では、マウスやペンタブレットを使い、フリーハンドで画面上に描画する事が可能です。また、再生中のDVD映像にリアルタイムに自由に描画し、DVD映像と合成して映しだす事ができます。

注意

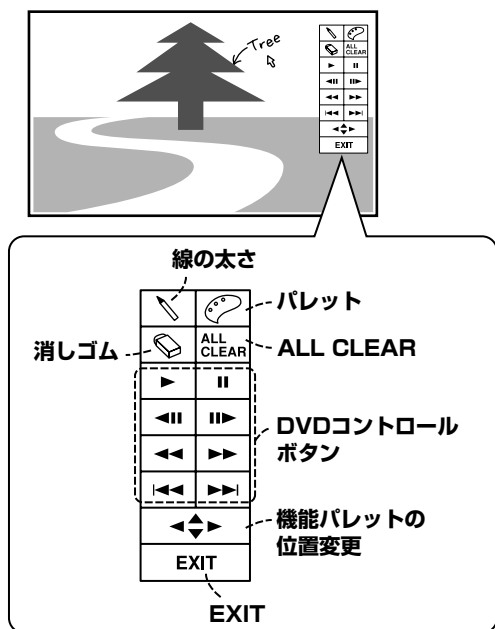
- ビデオブラックボード機能はＤＶＤのみサポートしています。Video CDまたはCDをロード中は使用できません。

ビデオブラックボードの使い方

1.1 ビデオブラックボードの開始

マウスの右ボタンクリックによりマウスカーソルと機能アイコンが画面に表示され、ビデオブラックボード機能が呼び出されます。機能アイコンはマウスの右ボタンで表示／非表示が切り換わります。
ただし、「ADV. SETUP」で「BLACKBOARD LOCK」を「ON」にしている場合は、ビデオブラックボード機能を使用できません。

1.2 描画

マウスの左ボタンをドラッグすることにより、画面上にフリーハンドで描画できます。また機能アイコンで描画する線の太さ、色などを変えることができます。

1.3 機能アイコン

1.3.1 線の太さ

マウスの左クリックでペン先の太さを 3段階に変更できます。

1.3.2 パレット

描画モードの時、マウスの左クリックで描画の色を変更できます。使用できる色は白、黒、赤、青、緑、黄、ピンクの　7 色です。また、消しゴムモードの時にマウスを左クリックすると描画モードに切り換わります。

1.3.3 消しゴム

マウスの左クリックで、描画モードから消しゴムモードに切り換わります。
消しゴムモードのときに、消しゴムアイコンをマウスの左クリックすると、消しゴムサイズを2段階に変更できます。

1.3.4 ALL CLEAR

マウスの左クリックで画面上の描画がすべて消去されます。

1.3.5 DVDコントロールボタン

ディスクの再生コントロールができます。

1.3.6 機能パレットの位置変更

マウスの左クリックで機能アイコンの位置を画面の上下左右に変更する事ができます。

1.3.7 EXIT

マウスの左クリックでビデオブラックボード機能を終了します。

注意

- 機能アイコンが並ぶ領域にもユーザが描き込むことはできますが機能アイコンを表示→機能アイコンを消去した時、重なっていた領域はクリアされます。
- プレーヤー、ディスクによる禁止操作を行った場合は通常なら警告が表示されますがビデオブラックボード実行中はコーション表示を行いません。これは警告表示により書き込んだ内容が消去されるのを回避するためです。
- カーソルの移動制限により、画面右端に描き込めない場所があります。

注意

- 外部入力映像を表示しているときは、ビデオブラックボード機能は使用できません。

その他の操作デバイス

DVD-V8000 では操作デバイスとして、マウス以外にもペンタブレットおよびタッチパネルデバイスがあります。
動作確認機器情報については、当社ホームページでご確認ください。

注意

- プラズマディスプレイでタッチデバイスを使用する際は、ディスプレイの表示設定を「FULL」にしてください。

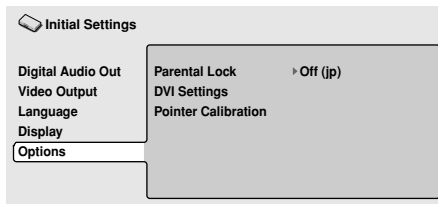
タッチパネルデバイスのキャリブレーション

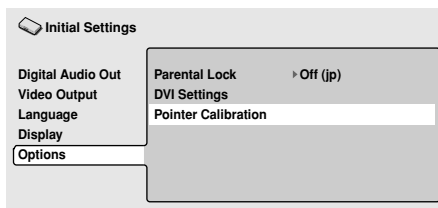
液晶ペンタブレット、またはタッチパネルデバイス使用時は、下記の方法でキャリブレーションを行ってください。
キャリブレーションを行うことによってカーソルのズレを修正することができます。
キャリブレーション結果はプレーヤー内に保存されますので、再起動の度に行う必要はありません。

注意

- 本機は同時に複数の液晶ペンタブレット、またはタッチパネルデバイスをサポートしておりません。また、キャリブレーション結果は最後に行った 1機種分が有効となりますので、デバイスをつなぎ変えた際は再度キャリブレーションを行ってください。

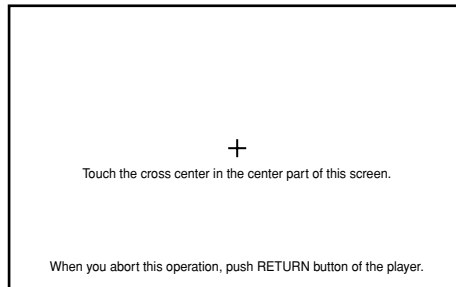
[キャリブレーション方法]

1. SETUPボタンを押してSETUP画面を表示し、カーソルボタン（↑、↓、←、→）を押して「Initial Settings」を選択し、ENTERボタンを押す。
（29ページ）

2. カーソルボタン（↓）を押して「Options」を選択する。

3. カーソルボタン（↑、↓、←、→）を押して「Pointer Calibration」を選択する。

メモ

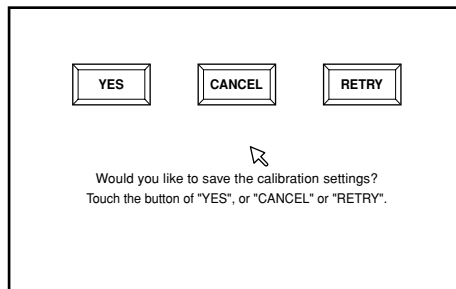
- 「Pointer Calibration」はDVD-V8000がサポートしている機器を接続している場合のみ、表示されます。

4. ENTERボタンを押す。

- キャリブレーション画面に切り換わります。

5. 画面の指示に従って、画面中央の「+」マークに触れる。

6. 次に画面左上の「+」マークに触れる。

7. 次に画面右下の「+」マークに触れる。

- 「+」マークに触れると以下のような画面が表示されます。

8. 画面の「YES」またはENTERボタンを押す。

- キャリブレーション結果が保存され、「Initial Settings」画面に戻ります。
- 画面の「CANCEL」を押すとキャリブレーションはキャンセルされます。
- 画面の「RETRY」を押すと再度キャリブレーションを開始します。

注意

- キャリブレーション中に RETURNボタンを押すと、「Initial Settings」画面に戻りキャリブレーションは無効になります。また、ENTERボタンを押さないで時間が経過し (約 5分間)、キャリブレーション画面が消えた場合は、キャリブレーションは無効になります。

その他の機能

スルー出力機能

DVD-V8000は、コンポジット映像入力とアナログ音声入力を持っており、簡単な操作で再生映像・音声と外部入力映像・音声を切り換えることができます。博物館・イベント等での映像展示において、プレーヤーが再生しているディスク以外の他のソースの画像・音声への切り換えが必要な際には有効です。（接続方法は73ページ参照）

操作・表示仕様

1）本体ボタン操作

本体に前面にあるMONITOR、VIDEO、AUDIOの3つのPASS THROUGHボタンを押す毎に、DVDの再生映像（音声）と外部から入力された映像（音声）が切り換わります。再生映像（音声）を出力している時はインジケーターが消灯し、外部入力の映像（音声）を出力している時は点灯します。

MONITOR :
ボタンを押してインジケーターを点灯させると、VIDEO INに入れられた映像を MONITOR VIDEO OUTへ出力します。

VIDEO :
ボタンを押してインジケーターを点灯させると、VIDEO INに入れられた映像を VIDEO OUTへ出力します。

AUDIO :
ボタンを押してインジケーターを点灯させると、AUDIO INに入れられた音声を AUDIO OUTへ入力レベル調整を介して出力します。

電源オン時のスルー出力機能はOFFです。

例外

① VIDEO IN に映像信号が入力されていない場合
PASS THROUGH MONITOR、VIDEO ボタンを押しても再生映像から外部入力映像への切り換えは行いません。この時、MONITOR または VIDEO のインジケーターが点滅します。

② 外部入力の映像を出力中に映像信号がなくなった場合
MONITOR または VIDEO インジケーターが点滅します。自動的に再生映像に切り換えることはしません。

2) Command Stack による切換制御

切換制御はCommand Stack により行うこともできます。

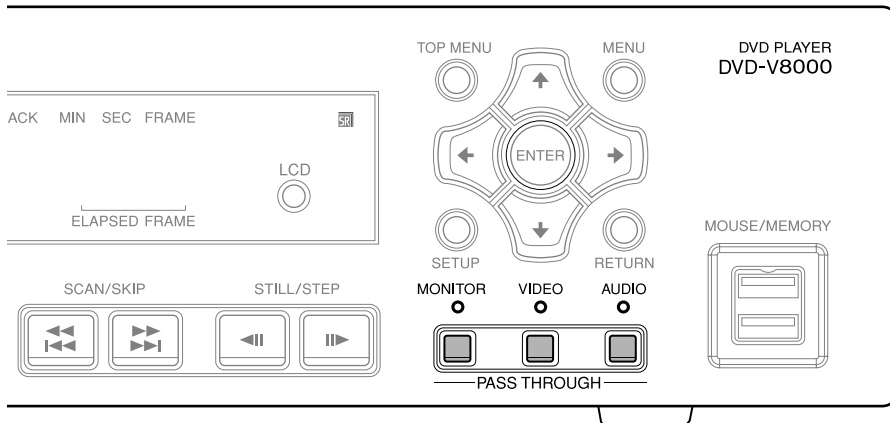
3) RS-232Cコマンドによる切換制御

切換制御はRS-232Cコマンドでも行うことができます。また、KL（キーロック）コマンドでPASS THROUGH ボタンの操作を禁止することも可能です。

4) 自動切換

ADV. SETUPのAUTO PASS THROUGH の設定を「ＯＮ」にすることにより、再生スタート時にセレクターをDVD側に、再生停止時に外部入力側に自動的に切り換えることができます。自動切換が ONになっているときは、VIDEO INに映像信号が入力されていない場合でも、再生停止時に外部入力側に自動的に切り換わります。

注意

- 外部入力の映像をスルーで出力している時、Monitor Out の OSD は表示しません。
- スルー出力機能はコンポジット端子、モニター出力端子にのみ有効です。また、音声はアナログのみ有効です。
- 外部入力映像を表示しているときは、SETUP、ADV. SETUP画面は表示されません。また、プレーヤーコントロールパネル機能（64ページ参照）やビデオブラックボード機能（65ページ参照）も使用できません。

再生／通電時間の表示

本機では、稼動状況やメンテナンス時間を知るために再生時間と通電時間を表示させることができます。
再生時間/通電時間の表示は以下のようにして表示します。

1．本体のDISPLAYボタンを押しながら、STANBY/ONボタンを押して電源を入れる。

画面、および本体表示部に以下のような表示がされます。
メンテナンス時にリセットするとカッコ [ ] 内の時間が「0」に戻ります。

[画面表示例]

```
OPERATING TIME

POWER ON   000109:37[000025:20]
PLAY       000056:58[000002:25]
```

[本体表示部の表示例]

```
POW ON 000109:37
PLAY   000056:58
```

表示例では、通電時間が109時間37分、再生時間が56時間58分であることを示しています。
また、メンテナンス時のリセット後の通電時間が25時間20分、再生時間が2時間25分であることを示しています。

2．他の操作（例えばリモコンのPLAYボタンを押す）を行うと時間表示の画面は消え通常動作となります。

注意

- 計測には、CPUクロックを使用しているため、精度は2 %程度の誤差を含みます。
- 再生／通電時間を「0」に戻すことはできません。

内部クロックの設定方法

DVD-V8000 は内部クロックを持っており、TIMERによる自動再生／停止を行うことができます。
内部クロックの設定は ADV. SETUPのWEEKLY TIMERの項目で行います。詳細は「WEEKLY TIMERの設定」(47ページ) を参照してください。

注意

- 内部の時計の誤差は、月差2 分程度です（使用環境によって異なります）。
- 内部の時計機能は、大容量キャパシタにより動作しています。電源コードがコンセントに接続してあれば、本機はスタンバイ状態でも時計機能は働いています。電源コードが抜かれると、約7～10日間（十分に充電した場合で 25 ℃のとき）時計機能は働きます。
- ウイークリータイマーの設定情報は時計と関わらず電源コードが長時間抜かれても保持されます。

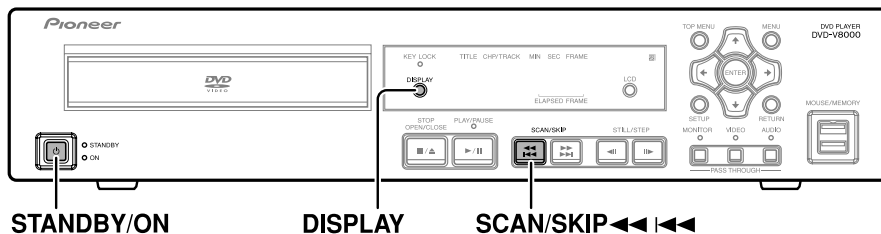
本体の設定の初期化

以下の方法でプレーヤー本体を工場出荷時の設定に戻すことができます。

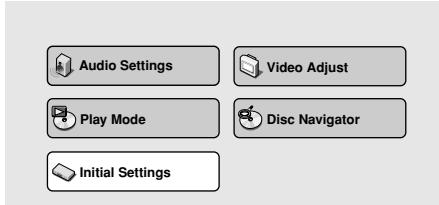
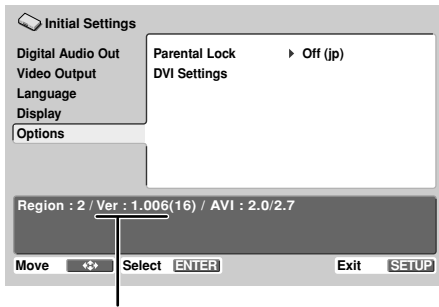
1．プレーヤー本体をスタンバイ状態にします。

2．本体のSCAN/STEP◀◀ |◀◀ ボタンを押しながらSTANBY/ONボタンを押して電源を入れると、工場出荷時の設定に戻ります。

メモ

- 設定の初期化を行っても、入力されたコマンドスタックデータおよび再生／通電時間はクリアされません。

ファームウェアのバージョン確認

ディスプレイで確認する方法

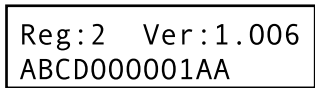
1．SETUPボタンを押してSETUP画面を表示させ、「Initial Settings」を選択してENTERボタンを押す。

2．「Options」を選択した状態でDISPLAYボタンを押すと、ウィンドウにファームウェアバージョンが表示されます。

上記で、「Ver:1.006」はファームウェアバージョンを示します。

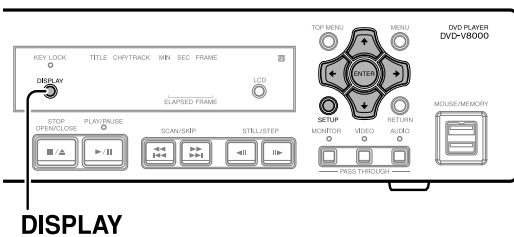
本体表示部で確認する方法

DVD-V8000　ではディスプレイを接続しなくても、プレーヤー本体だけでファームウェアバージョンの確認ができます。

1．ディスク停止中にDISPLAYボタンを1秒間以上押し続ける。

- 以下のように、表示部上段にリージョン番号とファームウエアバージョン、下段にプレーヤー本体のシリアル番号が表示されます。

```
Reg:2  Ver:1.006
ABCD000001AA
```

注意

- SETUP画面やADV. SETUP画面表示中は、バージョンの表示をすることができません。

TV SYSTEMスイッチ

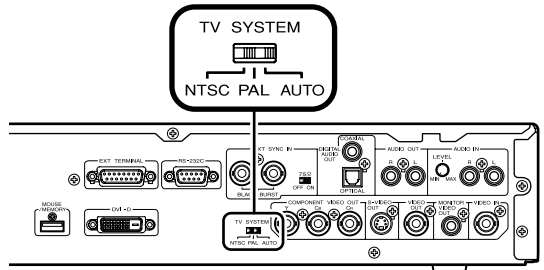
ディスクを再生するとき、ディスクに記録されているTV方式に合わせて、自動的に映像出力TV方式が切り換わります（出荷時のポジション：AUTO）。

Video CDの場合
NTSC→PAL、PAL→NTSCのどちらにも変換できます。

DVDの場合
NTSC→PALには変換できますが、PAL→NTSCには変換できません。

TV SYSTEMスイッチが「AUTO」になっているとき、DVD、Video CD再生中は、下の表の通りに変換されて出力します。CD再生中、またはディスクが入っていないときは、前回出力したときと同じ方式で出力されます。

再生中のディスク		映像出力TV方式		
種　類	記録TV方式	TV SYSTEMスイッチの位置		
		NTSC	PAL	AUTO
DVD	NTSC	NTSC	MOD.PAL*	NTSC
	PAL	PAL	PAL	PAL
Video CD	NTSC	NTSC	MOD.PAL*	NTSC
	PAL	NTSC	PAL	PAL
CDまたはディスクなし		NTSC	PAL	NTSC/PAL

＊ MOD. PAL (Modulation PAL) ＝PAL方式のディスプレイに適合するように、NTSC方式の信号の周波数を変調したもの

MOD. PALについて

最新のPALディスプレイは、入力された信号がPAL形式かNTSC形式かを自動的に識別し、垂直同期を調整するものがほとんどです。そういったディスプレイの場合は、垂直方向に画像が縮むことなく映し出されます。

ディスプレイによっては、画像が垂直方向に縮み、上下に黒い帯がでることがあります。これは、NTSC形式からPAL形式（MOD. PAL）に変換するために発生したことで、故障ではありません。

もしお手持ちのPALディスプレイにV-Hold機能がついていないときは、NTSC形式で記録されたディスクを再生することはできません。（再生しようとすると、映像が垂直方向にブレて出力されます。）

V-Hold機能付きのディスプレイで再生しているにもかかわらず、垂直方向画像がブレるときは、ブレがおさまるまでディスプレイの垂直同期を調整してください。

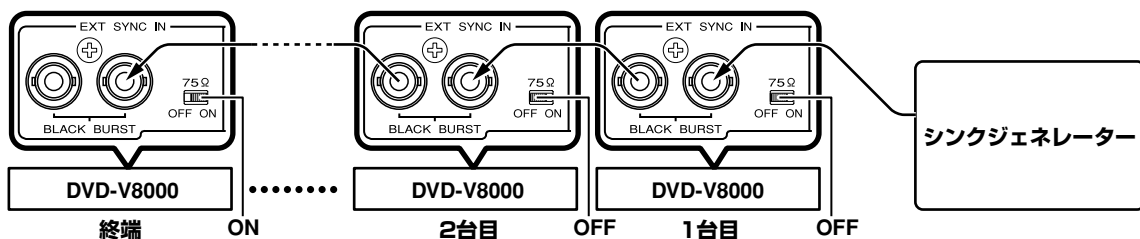
外部同期機能

DVD-V8000は外部から同期信号（ブラックバースト）を入力することにより、映像信号出力を外部信号に同期させることが可能です。（DVD再生以外は外部同期は働きません。）
この機能により、ＴＢＣ（タイムベースコレクタ）等の機器を接続しなくても映像の切り換えタイミングを合わせることができ、ディスプレイに映像の乱れ（Vロール）を起こさせずに切り換えることができます。
この機能をONにするためには、ADV.SETUPメニューの「EXTERNAL SYNC」を「OFF」(出荷時の設定) から、再生するディスクに合わせて「NTSC」または「PAL」に設定してください。なお、リアパネルのTV SYSTEMスイッチも同様に、再生するディスクにあわせて「NTSC」または「PAL」に設定してください。
１台のプレーヤーに同期をかける場合、ターミネートスイッチを「ＯＮ」に設定してください（出荷時のポジション：ON)。

2台以上のプレーヤーを同期をかけて使用する場合

- 1 台のシンクジェネレーターで、2 台以上のプレーヤーに同期信号を入力して使用する場合は、終端のプレーヤーはターミネートスイッチを「ＯＮ」、　その他のプレーヤーはターミネートスイッチを必ず「OFF」に設定してください。

注意

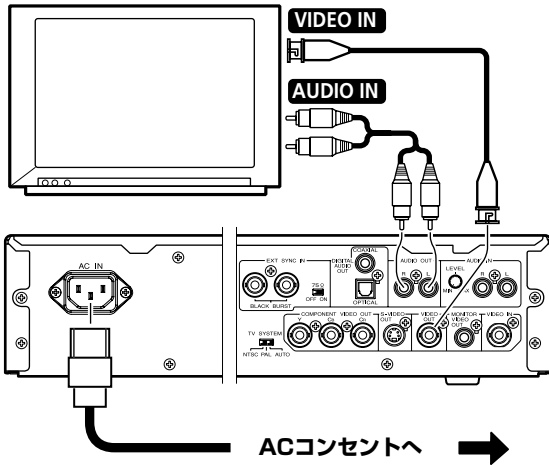
- 外部同期機能をONにするとDVD以外のディスクの再生は行えません。
- ブラックバースト信号のサブキャリア成分にはロックしません。
- 外部同期信号にロックするまでの約 5秒間は、各ビデオ出力端子の映像が乱れます。
- 外部同期信号はDVDを再生する前に入力してください。再生が始まってから入力しても動作しません。
- シンクジェネレーターおよびケーブルによっては、プレーヤーを多数つなぐと外部同期信号が減衰することによって正常に機能しない恐れがあります。

接続方法

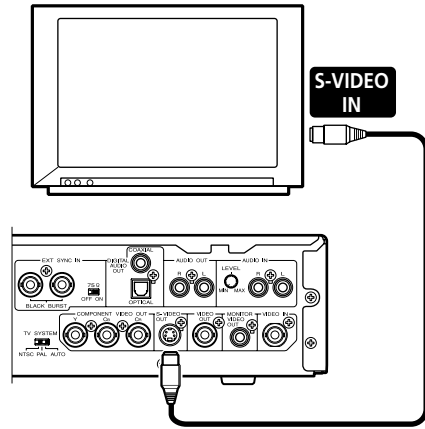
DVD-V8000は映像出力として、コンポジット、コンポーネント、S、DVIの4種類、音声出力としてアナログステレオ、光デジタル、同軸デジタルの3種類の出力端子を持っており、使用する機器に応じた接続方法が可能です。

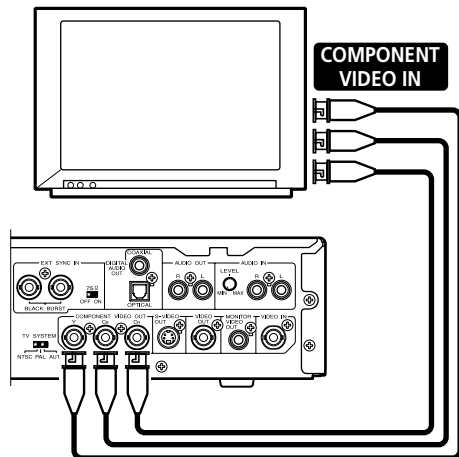
注意

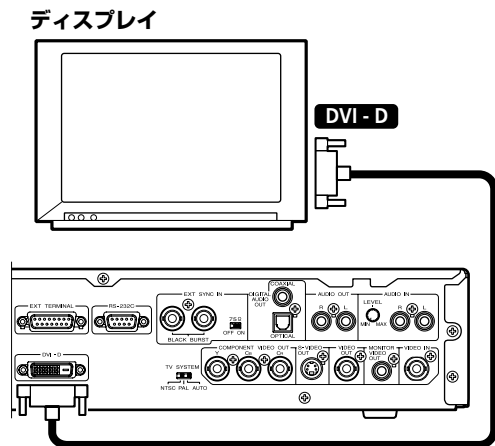
- 機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
- 本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、本機をビデオデッキに通してテレビに接続したり、ビデオデッキで録画して再生すると、正常な再生ができないことがあります。また、本機をビデオ内蔵テレビに接続すると、コピーガードによって正常な再生ができないことがあります。詳しくはお使いのディスプレイメーカーにお問い合わせください。

標準的な接続方法

下記の接続がコンポジット映像出力を使用した標準的な接続方法です。この接続方法では、ステレオ音声はディスプレイのスピーカーを通して出力されます。

S映像入力端子のある機器との接続

S映像入力端子を持つ機器とはS端子ケーブルで接続でき、標準のコンポジット出力よりも高画質の映像を表示することができます。

コンポーネント映像入力端子のある機器との接続

コンポーネント映像入力端子を持つ機器とは、コンポーネント映像接続が可能です。コンポーネントで出力する場合、アナログ接続の中では最も高画質の映像を表示することができます。

DVI 端子のある機器との接続

DVIとはDigital Visual Interfaceの略でデジタル駆動のディスプレイにデジタル映像信号を送るための規格です。
DVIを使うとアナログ変換による信号の劣化がなくなり高画質で映像を表示できます。
DVD-V8000は DVI 端子を持っており、DVI 端子のあるディスプレイ機器とデジタルで接続することができます。
(DVI 1.0 準拠)

初めて接続した DVI 機器の場合、DVI 接続画面を表示します。本機は接続した DVI 機器の性能から推奨される解像度を自動的に設定し、その内容を表示します。設定内容は手動で変更することもでき、変更した内容は本機の電源を切った後でも最大 5台分まで記憶します。設定方法は基本設定の「**DVI接続の設定**」（38ページ）を参照してください。

メモ

- DVI 機器を接続すると本体の表示部に「**DVI**」という文字と設定された解像度が数秒間表示されます。

  <表示例>

  DVI:ON
  1920x1080i

注意

- デジタル映像信号のコンテンツ保護機能のひとつであるHDCPに対応していない DVI 機器には、著作権保護されたディスクを表示できません。

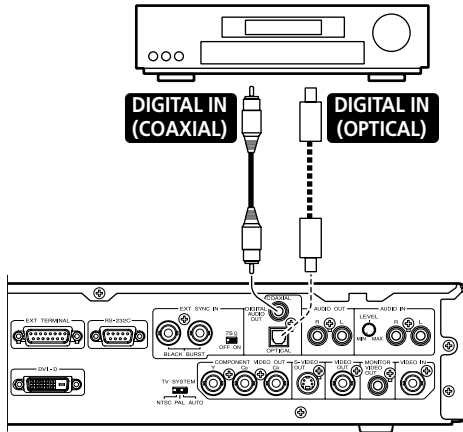
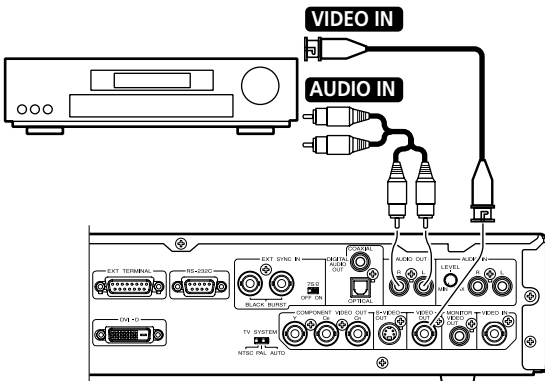
DVI 機器へ出力できる解像度

- VGA (640 x 480ピクセル) のプログレッシブ映像
- 720 x 480ピクセルのプログレッシブ/インターレース映像
- 720 x 576ピクセルのプログレッシブ/インターレース映像
- 1280 x 720ピクセルのプログレッシブ映像
- 1920 x 1080ピクセルのインターレース映像

注意

- 接続するディスプレイが上記画素に対応していない場合は正しく映らない場合があります。
- 720 x 576ピクセルのプログレッシブ/インターレース映像はPALディスク再生時のみ選択可能です。
  また、VGA、720 x 480ピクセルのプログレッシブ/インターレース映像はNTSCディスク再生時のみ選択可能です。
- ディスプレイによっては、対応していない画素の信号をいったん受けてしまうと、それ以降ディスプレイの電源を入れ直さない限り映像が映らなくなるものがあります。

AVサラウンドアンプとの接続

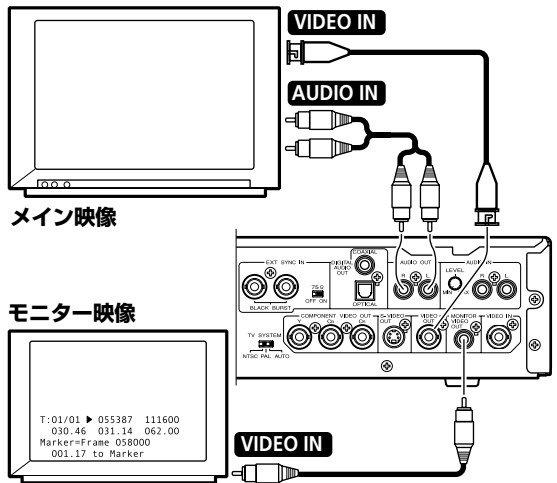
ドルビーデジタル/DTSなどのデジタル入出力を持ったAVアンプと接続することにより、マルチチャンネルのサラウンド音声を楽しむことができます。
本機の光デジタル音声出力端子、または同軸デジタル音声出力端子とAVアンプを接続してください。

また、デジタル音声出力を接続する場合も、同時にアナログ音声でも接続することを推奨します。

メモ

- 映像はコンポジットだけでなく、コンポーネント、S 映像、DVIでも接続することができます。ただし、DVD-V8000、AVアンプ間とAVアンプ、ディスプレイ間は同じ種類の映像ケーブルで接続する必要があります。

注意

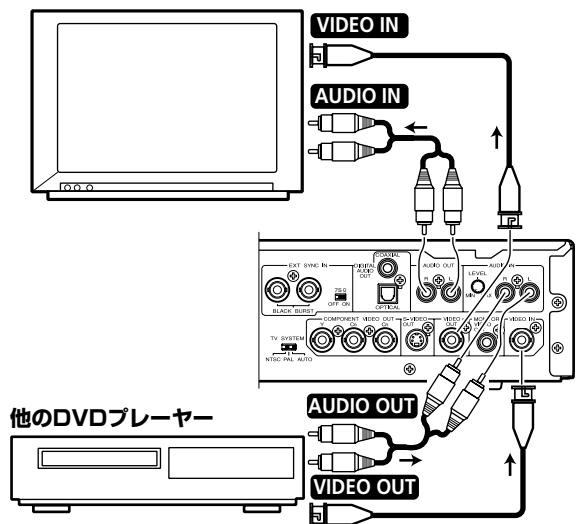
- 本機の光端子はシャッター式です。光出力端子に接続するときは、端子の向きを合わせてしっかりと差し込んでください。誤った向きで無理に差し込むと端子が変形してケーブルを抜いてもシャッターが閉まらなくなることがあります。

モニターアウトを使用した接続方法

ＤＶＤ-Ｖ８０００はモニター用のコンポジット出力端子を持っており、メインの映像出力とは別にディスク情報を表示し、モニターすることができます。

メモ

- モニター出力にディスク情報を表示するには、ADV. SETUPで「Monitor OSD」を「ON」に設定しておく必要があります。

スルー出力機能を利用するための接続方法

DVD-V8000はコンポジット映像入力とアナログ音声入力を持っており、他のＤＶＤ プレーヤー等からの映像／音声を入力できます。
そして本体の PASS THROUGHボタンやRS-232Cコマンド経由で、DVD-V8000の再生映像／音声と外部入力映像／音声を切り換えることができます。

注意

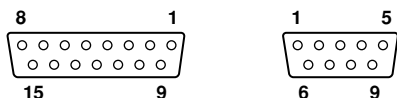
- 外部入力した映像／音声をスルー出力するには、コンポジット映像とアナログ音声で出力する必要があります。

シリアルインタフェース仕様

DVD-V8000は、本体およびリモコンによる基本的な操作に加え、コンピュータとの接続が可能なRS-232C対応のシリアルコントロールインタフェースを持っています。インタフェースとして9 Pinと15 Pinの2種類のコネクタを持っており、9 Pinおよび15 PinのD-Subコネクタで接続できます。どちらのコネクタを使用するかはADV.SETUPメニューで設定できます。

注意

- 9 Pin、15 Pinコネクタを同時にアクセスすることはできません。
- 9 Pinコネクタはインチねじ、15 Pinコネクタはメートルねじです。

コネクタのピン配置は以下のようになります。

15 pin D-Sub connector

Pin #	Terminal	Input/Output	Function
1	GND	--	ground
2	TxD	Output	send data
3	RxD	Input	receive data
4	DTR	Output	enable data receiving
5	POWER	Input	external power control
6	SW1	Input	Extend Terminal
7	SW2	Input	Extend Terminal
8	SW3	Input	Extend Terminal
9	SW4	Input	Extend Terminal
10	SW5	Input	Extend Terminal
11	SW6	Input	Extend Terminal
12	SW7	Input	Extend Terminal
13	SW8	Input	Extend Terminal
14	DLTST	Input	used only for servicing the unit — reserved
15	STOP_ST	Output	Stop Status

9 pin D-Sub connector

Pin #	Terminal	Input/Output	Function
1	NC	--	
2	RxD	Input	receive data
3	TxD	Output	send data
4	DTR	Output	enable data receiving
5	GND	--	ground
6	DSR	Input	data set ready
7	RTS	Output	request to send
8	CTS	Input	clear to send
9	NC		

コントロール機能

(a) シリアルコントロール

TxD、RxD、DTR

RS-232C規格に準拠したシリアルコントロールインタフェースです。

(b) Extend Terminal

SW1、SW2，SW3，SW4，SW5、SW6、SW7、SW8

この端子の外部にスイッチをつけることでプレーヤの簡単なコントロールができます。

(c) 外部からの電源制御

インタフェースコネクタのPOWER Pinでプレーヤーのパワーコントロールを行います。
キーロック設定状態では、制御できません。解除してから行ってください。
スタンバイ状態で、100 msec以上のH信号の後にL信号が検出された場合、パワーオン処理を行います。
パワーオン状態で同様の信号を受けた場合は、パワーオフ処理を行い、スタンバイ状態にします。
端子の入力電圧は±12 V以下で、H信号レベルは4.5 V以上、L信号レベルは0.5 V以下で動作可能です。

スタンバイ状態 100 ms以上 パワーオン処理

パワーオン状態 100 ms以上 パワーオフ処理

(d) 再生ステータス出力

インタフェースコネクタのSTOP_ST Pinでプレーヤーの状態（再生中／停止中）を検出することができます。
プレーヤーの停止中に「 H 」を、再生中には「 L 」を出力します。出力はオープンコレクタになっていますので、最大12 V (50 mA) までプルアップさせてご使用ください。

シリアルコントロール仕様

(1) 信号レベル

RS-232Cレベル

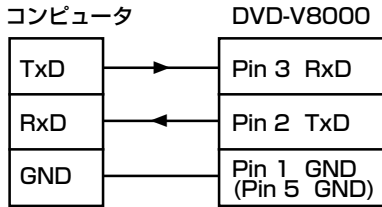
(2) データ形式

データ長： 8ビット
ストップビット： 1ビット
パリティ： 無し

(3) 通信スピード（ボーレート）

ボーレートは、4800、9600、19200（bps）より選択でき、ADV. SETUPメニューで設定することができます。
工場出荷時は、4800 bpsに設定されています。

コンピュータとの接続

DVD-V8000はRS-232CポートのPin 2とPin 3を通信用に、15 Pin D-SubコネクタではPin 1、9 Pin D-SubコネクタではPin 5をグラウンドとして使用してコンピュータと通信します。
コンピュータと本機は、下図のように接続されます。

プレーヤーは、電源が入っていれば常時コマンドを受け付けることができます。
従って、TxDとRxD以外のコントロールラインを接続する必要はありません。
ただし、コンピュータによってはCTS入力をハード的に処理しないと動作しないものがあります。
この場合には、DTR出力を利用することができます。DTRは通信可能であれば常に＋の電位を出力しています。その時には、DTR出力をコンピュータのCTS入力に接続します。

注意

- プレーヤーの電源オンした直後は、1 秒以上待ってから通信を開始してください。それ以前に送信されたコマンドに対しては、受け付けなかったりエラーを返すことがあります。

コマンドとステータス

基本的なプロトコルは、コンピュータがコマンドを与え、プレーヤーがステータスを返す方式です。

【例】

コンピュータ		DVD-V8000
(1)「フレーム1000をサーチせよ」	→	(2)「サーチ実行」
	←	(3)「完了」
(4)「フレーム2000までプレイせよ」	→	(5)「プレイ実行」
	←	(6)「完了」

実際のコマンドやステータスは、ASCII による文字コードが使用されます。
コマンドのニーモニックは、2文字で表現されます。
多くの場合、大文字と小文字の区別はありませんが、大文字が標準的に使用されます。
チャプターナンバーやスピードを指定するために、コマンドにアーギュメント（引数）が付く場合があります。 これは、コマンドがアーギュメントのターミネータを兼ねているためです。
最も簡単なプロトコルでは、ひとつのコマンドを与えるだけでプレーヤーは直ちに実行します。
コマンドラインのターミネータとして<CR>コードが最後に付きます。

【例】
CH<CR>：アドレスモード指定をチャプターにする

【例】
10SE<CR>：チャプター10をサーチせよ

本機は、コマンド受信バッファを持っているので、32文字までのコマンド群を重ねて与えることができます。

【例】
10SE 20PL<CR>：チャプター10をサーチし、20までプレイ

この例では、<CR>コードを受け取ると、バッファの最初のコマンドから順に実行します。
コマンドラインの長さは、32文字です。

注意

- オートストップが設定されたコマンド（例えば、ＰＬ、ＭＦ、ＭＲ等）に続けて別のコマンドが指定された場合は、このコマンドの完了を待たずに次の別のコマンドを実行します。

コマンドの実行がすべて終了すると、プレーヤーは完了のメッセージ（R<CR>）を送信します。
もしエラーが発生すると、「E04<CR>」というようなエラーコードを返します。エラーコードは「Exx」と定義され「xx」には二桁の数字になります。

エラーメッセージ

コマンド実行時にエラーが起きるとプレーヤーは下記のようなエラーコードを返します。

エラーコード	メッセージ	説　明
E00	Communication error	通信ラインのエラー。 ・フレーミングエラー 。 ・バッファオーバーフロー。
E04	Feature not available	使用できない機能を実行しようとした 。 ・コマンドニーモニックが違う。 ・そのモードでは使用できない。
E06	Missing argument	正しいパラメータが指定されていない。
E11	Disc not exist	ディスクが装着されていない。
E12	Search error	サーチアドレスが見つけられない。
E15	Picture stop	ピクチャーストップ ・オートプレイ中にピクチャーストップコードでスチルになった。
E16	Interrupt by Other device	コマンド実行中に本体キーやリモコン、外部からの制御による割り込みがあった。
E99	Panic	致命的なエラーが発生した。 ・ディスクローディングができない。 ・メカ的なエラーで停止した。 ・再生が続けられなくて停止した。

使用できるコマンドリスト

DVD-V8000は下記のコマンドをサポートします。

Mnemonic	Command Name	DVD	CD	VCD
OP	Open	○	○	○
CO	Close	○	○	○
RJ	Reject	○	○	○
SA	Start	○	○	○
(adrs)PL	Play	○	○	○
PA	Pause	○	○	○
ST	Still	○		○
SF	Step Forward	○		○
SR	Step Reverse	○		
NF	Scan Forward	○	○	○
NR	Scan Reverse	○	○	○
NS	Scan Stop	○	○	○
(adrs)MF	Multi-Speed Fwd	○		○
(adrs)MR	Multi-Speed Rev	○		
arg SP	Speed	○		○
adrs SE	Search	○	○	○
adrs SL	Search & Play	○	○	○
adrs SM	Stop marker	○	○	○
LO	Lead Out Symbol	○	○	○
CL	Clear	○	○	○
FR	Frame	○		
BK	Block number		○	○
TM	Time	○	○	○
CH	Chapter	○		
TI	Title	○		
IX	Index		○	○
TR	Track		○	○

arg :　アーギュメント（ argument ）
adrs :　アドレス（ address ）
カッコ付きの場合は、省略できます。

Mnemonic	Command Name	DVD	CD	VCD
arg SU	Select Subtitle	○		
arg AU	Select Audio	○	○	○
arg AP	Select Aspect	○		
arg AG	Select Angle	○		
arg PT	Select Parental Level	○		
arg AD	Audio Control	○	○	○
arg VD	Video Control	○	○	○
arg DS	Display Control	○	○	○
arg KL	Key Lock	○	○	○
arg GP	Stack Group Set	○		
arg BS	Command Stack Play	○		
BU	Command Stack Data Upload	○	○	○
BD	Command Stack Data Download	○	○	○
WU	Weekly Timer Data Upload	○	○	○
WD	Weekly Timer Data Download	○	○	○
?A	Current Address Request	○	○	○
?R	Title/Track Number Request	○	○	○
?C	Chapter Number Request	○		
?T	Time Code Request	○	○	○
?I	Index Number Request		○	○
?F	Frame Number Request	○		
?B	Block Number Request		○	○
?Y	Total Frame Request	○		
?Q	TOC Information Request	○	○	○
?G	Disc Region Code Request	○		
?V	DVD Disc Status Request	○		
?K	CD Disc Status Request		○	○
arg RA	Register A set (Display)	○	○	○
arg RD	Register D set (TxD Term)	○	○	○
arg PR	Print Character	○	○	○
CS	Clear Screen	○	○	○
WW	Real Time Clock Set	○	○	○
arg MS	Advanced Setup	○	○	○
arg CM	Communication Control Set	○	○	○
?P	Player Active Mode Request	○	○	○
?X	Player Model NameRequest	○	○	○
?W	Real Time Clock Request	○	○	○
?S	Advanced Setup Request	○	○	○
?H	Player Region Code Request	○	○	○
?M	CCR Mode Request	○	○	○
?N	Input Number Request	○	○	○
?E	Error Code Request	○	○	○
#I	Input Unit Request	○	○	○
$A	Register A Request	○	○	○
$D	Register D Request	○	○	○
arg MC	Menu Call	○		
arg NB	Numeric Button	○		
arg CU	Button Select	○		
(arg) ET	ENTER Button	○		
arg GI	Get Information	○		
MU	Memory Data Upload	○	○	○

arg：　アーギュメント（ argument ）
adrs：アドレス（ address ）
カッコ付きの場合は、省略できます。

Mnemonic	Command Name	DVD	CD	VCD
?Z	Firmware Version Request	○	○	○
arg OS	Through Out Select	○	○	○
arg VP	DVD VR Play Mode	○		
RM	Repeat Mode Set	○	○	○
>A～>Z	General Purpose Register Set	○	○	○
_A～_Z	General Purpose Register Reference	○	○	○
<A～<Z	General Purpose Register Read	○	○	○
QE	Pass Through Status Request	○	○	○
arg SK	Chapter/Track Skip	○	○	○

コマンドニーモニック

(1) コマンドは ASCII の英文字、2文字で表現されます。
(2) プリント命令（PR）のデータ以外は大文字と小文字は区別されずに受けます。

アーギュメント（引数）

(1) アーギュメントは ASCII の10進数で表現されます。
(2) アーギュメントはコマンドの前に置かれます。
アーギュメントの必要なコマンドにアーギュメントが無いときはエラーになります。
(3) アーギュメントには次の種類があります。

1. アドレス：

タイトルナンバー、チャプターナンバー、トラックナンバー、インデックスナンバー、フレームナンバー、タイムコード等を表します。
フレーム、タイム、チャプター、トラック、タイトル等のどれを取り扱うかは、アドレスモード指定の設定値に従います。
最大値より大きな数値を与えた場合は正常に評価しません。

タイトルナンバー	【DVD】 N_1N_2　最小1～最大99
チャプターナンバー	【DVD】 N_1N_2　最小0～最大99
フレームナンバー	【DVD】 （1秒＝30フレーム でフレーム換算） $N_1N_2N_3N_4N_5N_6N_7$　最小1～最大999999
タイムコード	【DVD】 $N_1N_2N_3N_4N_5$　最小0～最大599 : 59 （$N_1N_2N_3$分　N_4N_5秒） 【CD / VCD】 $N_1N_2N_3N_4$　最小0～最大99 : 59 （N_1N_2分　N_3N_4秒）
トラックナンバー	【CD / VCD】 N_1N_2　最小1～最大99

2. 整数：

上記のアドレス以外の引数を持つコマンド（SU、AG、VS、MS････等）のためのパラメータを表し、ASCII の10進数で表現されます。

Extend Terminal 仕様

1. 概要

リアパネルの EXT TERMINAL 端子のＳW1～ＳW8の各端子は＋3.3 Ｖにプルアップされており、各端子をグランド（ＧＮＤ）とショートするか否かの組み合わせにより各ファンクションを発生します (ピン配置は74ページ参照)。
ＳW1～ＳW8本の入力ポートの組み合わせで最大８２個のスイッチを接続できます。
組み合わせとファンクションの対応は「Default設定」（80～81ページ）参照してください。

また、ＳWの組み合わせとファンクションの対応は固定ではなく、一部の組み合わせパターンに対しては、ADV. SETUPでファンクションの設定を変更することができます（53ページ参照)。

2. ＳWとファンクション（コマンド）

Extend Terminal のファンクションは大きく3つに分類できます。

① コマンドスタックの「GROUP」を呼び出し実行させるもの

STACK GROUP1～27は、登録済みの Command Stack を呼び出して実行するキーです。

② リモコンのボタンと同じ機能をするもの

MENU、TOP MENU、⬆、⬇、⬅、➡、ENTER、RETURN、PLAY、STOP、PAUSE、STEP FWD/REV、 SCAN FWD/REV、SKIP FWD/REV、DISPLAY、 RECALL、MEMORY、REPEAT、REPEAT A-B、AUDIO、ANGLE、SUBTITLE、SETUP、0～9、CLEAR、TITLE/CHP/FRM/TIME

ただし、SCAN FWD/REV はリモコンと異なり、スキャンロック（Ｓ Ｗ を離しても早送り／早戻しをし続ける）の機能はありません。

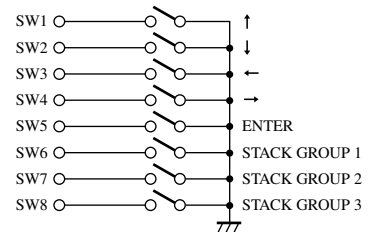
③ リモコンのボタンを拡張したもの

・ １０～２０（サーチおよびメニュー選択時に20までの数字を直接指定する）
・ OPEN/CLOSE

3. コントローラー（ＳWインターフェース）との接続

コントローラと本機の接続例を示します。

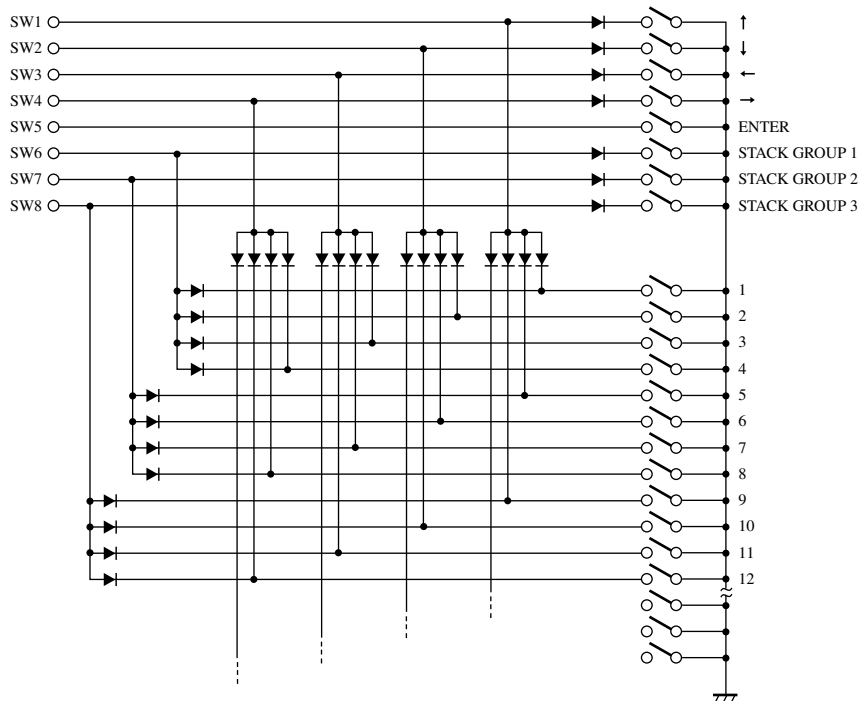
(１)ダイオードマトリクスを使用しない簡単な例

この場合、割り当てできるスイッチ（使えるファンクション）の数は少なくなります。

(2)ダイオードマトリクスを使用した場合の例（一部分）

この場合、割り当てできるスイッチの数は最大82個になります。

接続例で用いたスイッチの仕様
接触抵抗　１ Ω 以下
絶縁抵抗　１ MΩ以上
ノンロックタイプ

接続例で用いたダイオードの仕様
順方向電圧 (VF)
0.7 V以下 (IF 1 mA)
サージ電流
100 mA以下
順方向電流
10 mA以下
(VR=10 V)

のプレーヤをフレーム精度で同期再生をする場合は、シリアルコマンドによる制御が必要です。このパラレルコントロールおよびリモコンによる制御ではフレーム精度での同期再生はできません。

Default 設定

SW の組み合わせとそれぞれに対して Default として設定される機能は下表の通りです。
このうち、No. 1～30 の組み合わせパターンについては、ユーザーが設定を変更できます。
「1」はスイッチがONの状態、空白はOFFの状態を示します。

	SW1	SW2	SW3	SW4	SW5	SW6	SW7	SW8	Function
1	1								↑
2		1							↓
3			1						←
4				1					→
5					1				ENTER
6						1			Stack 1
7							1		Stack 2
8								1	Stack 3
9		1						1	10
10			1					1	11
11				1				1	12
12	1	1							OPEN/CLOSE
13			1	1					DISPLAY
14	1					1			1
15		1				1			2
16			1			1			3
17				1		1			4
18	1						1		5
19		1					1		6
20	1			1					↗
21		1		1					↘
22		1	1						↙
23	1		1						↖
24					1	1			PLAY
25					1		1		STOP
26					1			1	PAUSE
27							1	1	TOP MENU
28			1				1		7
29				1			1		8
30	1							1	9
31					1	1	1		STEP FWD
32					1	1		1	STEP REV
33					1		1	1	DISPLAY
34	1	1	1						SCAN FWD
35	1	1		1					SCAN REV
36	1		1	1					SKIP FWD
37		1	1	1					SKIP REV
38			1			1	1		Stack 4
39				1		1	1		Stack 5
40	1	1					1		Stack 6
41	1	1				1			13
42	1		1			1			14
43	1			1		1			15
44		1	1			1			16
45		1		1		1			17
46			1	1		1			18
47	1					1	1		19
48		1				1	1		20

	SW1	SW2	SW3	SW4	SW5	SW6	SW7	SW8	Function
49	1		1				1		Stack 7
50	1			1			1		Stack 8
51		1	1				1		Stack 9
52		1		1			1		Stack 10
53			1	1			1		Stack 11
54	1						1	1	Stack 12
55		1					1	1	Stack 13
56			1				1	1	Stack 14
57				1			1	1	Stack 15
58	1	1						1	Stack 16
59	1		1					1	Stack 17
60	1			1				1	Stack 18
61		1	1					1	Stack 19
62		1		1				1	Stack 20
63			1	1				1	Stack 21
64	1					1		1	Stack 22
65		1				1		1	Stack 23
66			1			1		1	Stack 24
67				1		1		1	Stack 25
68						1	1		Stack 26
69						1		1	Stack 27
70						1	1	1	MENU
71	1				1	1			RECALL
72	1				1		1		SETUP
73	1				1			1	MEMORY
74		1			1	1			>10
75		1			1		1		REPEAT
76		1			1			1	REPEAT A-B
77			1		1	1			AUDIO
78			1		1		1		ANGLE
79			1		1			1	SUBTITLE
80				1	1	1			TT/CH/FR/TM
81				1	1		1		0
82				1	1			1	CLEAR

ADV. SETUP 操作時の本体表示一覧

16. SYNC OUT (DURING SQ)
SYNC OUT OFF >
SYNC OUT ON <
17. EXTERNAL SYNC
EXTERNAL SYNC OFF >
EXTERNAL SYNC NTSC <>
EXTERNAL SYNC PAL <
18. MONITOR OSD
MONITOR OSD BOTTOM >
MONITOR OSD TOP <>
MONITOR OSD OFF <
19. AUTO PASS THROUGH
AUTO PASS THRU OFF >
AUTO PASS THRU ON <
20. PLAY START MODE
PLAY START MODE Title1
PLAY START MODE TOP MENU <
21. LOAD SETUP
LOAD SETUP
ENTER
LOAD SETUP xxxxxxxxx.set
xxxxxxxxx.set LOAD? >YES/ NO
xxxxxxxxx.set LOAD? YES/ >NO
xxxxxxxxx.set NOW LOADING FILE
xxxxxxxxx.set COMPLETE
xxxxxxxxx.set ERROR OCCURRED
LOAD SETUP
⬇⬆ボタンでファイル名をブラウズできる。ファイル10個以上あるときは⬅➡ボタンで次／前ページへ
USBメモリーが無い時
LOAD SETUP NO USB MEMORY
22. SAVE SETUP
SAVE SETUP
WAIT • • •
xxxxxxxxx.set SAVE? >YES/ NO
xxxxxxxxx.set SAVE? YES/ >NO
既に同じIDで6個のファイルが作られていた場合
FOUND SAME FILE SAVE? >YES/ NO
FOUND SAME FILE SAVE? YES/ >NO
xxxxxxxxx.set NOW SAVING FILE
xxxxxxxxx.set COMPLETE
xxxxxxxxx.set ERROR OCCURRED
SAVE SETUP
USBメモリーが無い時
SAVE SETUP NO USB MEMORY
23. LOAD COMMAND STACK
LOAD CMD STACK
LOAD CMD STACK xxxxxxxxx.cmd
xxxxxxxxx.cmd LOAD? >YES/ NO
xxxxxxxxx.cmd LOAD? YES/ >NO
xxxxxxxxx.cmd NOW LOADING FILE
xxxxxxxxx.cmd COMPLETE
xxxxxxxxx.cmd ERROR OCCURRED
LOAD CMD STACK
⬇⬆ボタンでファイル名をブラウズできる。ファイル10個以上あるときは⬅➡ボタンで次／前ページへ
USBメモリーが無い時
LOAD CMD STACK NO USB MEMORY
24. SAVE COMMAND STACK
SAVE SETUP
WAIT • • •
xxxxxxxxx.cmd SAVE? >YES/ NO
xxxxxxxxx.cmd SAVE? YES/ >NO
既に同じIDで6個のファイルが作られていた場合
FOUND SAME FILE SAVE? >YES/ NO
FOUND SAME FILE SAVE? YES/ >NO
xxxxxxxxx.cmd NOW SAVING FILE
xxxxxxxxx.cmd COMPLETE
xxxxxxxxx.cmd ERROR OCCURRED
SAVE CMD STACK
USBメモリーが無い時
SAVE CMD STACK NO USB MEMORY
25. SAVE ERROR LOG
SAVE ERROR LOG
WAIT • • •
xxxxxxxxx.err SAVE? >YES/ NO
xxxxxxxxx.err SAVE? YES/ >NO
既に同じIDで6個のファイルが作られていた場合
FOUND SAME FILE SAVE? >YES/ NO
FOUND SAME FILE SAVE? YES/ >NO
xxxxxxxxx.err NOW SAVING FILE
xxxxxxxxx.err COMPLETE
xxxxxxxxx.err ERROR OCCURRED
SAVE ERROR LOG
USBメモリーが無い時
SAVE ERROR LOG NO USB MEMORY

トラブルシューティング

故障かな？と思ったらチェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用のディスプレイ、AVアンプまたはスピーカーなども合わせてお調べください。下記項目に従って再度点検されても直らないときには、お買い上げ販売店または弊社テクニカルサポートセンターにお問い合わせください。

ディスク再生関係

症　状	要因 / 対策
ディスクの再生ができない	ファイナライズされていないCD-R/RW、DVD-R/RWは再生できません。 CPRM 対応の DVD-R ディスクは再生できません。 SECAM 方式のディスクは再生できません。 CD-R/RW や DVD-R/RW で、記録時の記録品質が悪い場合は再生できない場合があります。
「Please disable External Sync setting」とディスプレイに表示されCD/VCDディスクが吐き出されてしまう。	外部同期機能を ON にすると DVD 以外のディスクの再生は行えません。ADV. SETUP で「EXTERNAL SYNC」が「OFF」になっているか確認してください。
「TV System selecter error. External snc type mismatch」とディスプレイに表示されディスクが吐き出されてしまう。	外部同期しようとしている TV モード (NTSC/PAL) と、再生しようとしている DVD のディスクタイプが違っています。 ADV. SETUP で「EXTERNAL SYNC」を「OFF」にするか、TV モードを合わせてください。

DVI関係

症　状	要因 / 対策
再生中のディスク映像が DVI で表示できない	HDCP 非対応の DVI ディスプレイには、著作権保護されたディスクの映像を表示できません。
DVI の解像度を変更したら映像が乱れたり映らなくなったりした	お使いのDVIディスプレイが、設定された解像度に対応していない可能性があります。ディスプレイのマニュアルをご参照ください。リモコンの数字ボタンの「0」を５秒以上押し続けると、本機と初めて接続し出画した際に自動的に設定された画素数に戻ります。 また、ディスプレイによっては、対応していない画素の信号を一旦受けてしまうと、それ以降ディスプレイの電源を入れ直さない限り映像が映らなくなるものがあります。
DVI 出力映像にノイズが出る	極端に長いケーブルを使用すると、ノイズが出る場合がありますので、そのような場合は短めのケーブルをご使用ください。

USBメモリー関係

症　状	要因 / 対策
USB メモリーのロード / セーブ実行時に画面に「NO USB MEMORY」と表示される	USB メモリーが正常に認識できていません。 USB メモリーを挿し直して再度実行してください。
USB メモリー接続時にディスプレイに「Unsupported memory device」という表示が出る。	DVD-V8000 がサポートしていないメモリーデバイスです。 一般的なUSBメモリーは共通性がありDVD-V8000で動作可能ですが、市販されているすべての製品の動作確認はしておりませんので、一部のメモリーでは動作しない可能性があります。
USBメモリーのセーブ実行時に画面に「NO ENTRY AREA」または「NO CAPACITY」と表示される	USB メモリーがいっぱいで、これ以上ファイルを書き込めません。 コンピュータで必要ないファイルを削除してからご使用ください。
USB メモリーのロード時にファイルが表示されない	ファイルの拡張子が違っている可能性があります。 LOAD SETUP は「set」、LOAD COMMAND STACK は「cmd」という拡張子を持つファイルのみ表示されます。
USB メモリーのロードで表示されるファイル名が化ける	ファイル名に日本語等の 2 バイト文字を使っていませんか。 2 バイト文字は表示できません。
USB メモリーのロード / セーブ時にエラーになる	USB メモリーが書き込みロックされていませんか。 USB メモリーを挿し直して再度実行してください。 それでもエラーになる場合には コンピュータを使い FAT形式で再フォーマットしてください。

その他

症　状	要因 / 対策
RS-232C でのコントロールができない	ADV. SETUPのシリアルポート、ボーレートの設定、およびシリアルインタフェース仕様を確認してください。
外部同期ができない	ADV. SETUPの「EXTERNAL SYNC」の設定が「ON」になっているか確認してください。また、外部同期機能の「注意」を参照してください。(70 ページ)
セットアップ画面を表示させても数秒間で消えてしまう	DVIの接続が不安定になっていて定期的にリセットが入っている可能性があります。DVI の接続が抜けかかっていないか確認ください。また、DVI が接続されているディスプレイの入力が DVI 以外に選択されていると、このような症状が起きる場合があります。 DVI 出力を使用しない時は DVI の接続は抜いておくことを推奨します。
マウスが動作しない	一般的な USB マウスは共通性があり DVD-V8000 で動作可能ですが、市販されているすべての製品の動作確認はしておりませんので、一部のマウスでは動作しない可能性があります。
音声が出ない	デジタル音声は基本設定の「**デジタル音声出力**」が「ON」になっていないと出力されません。(30ページ参照) また、DTS音声が選択されている場合は、アナログ音声は出力されません。
内部クロックが正しく表示されない	内部クロックの誤差は月差 2 分程度です。 また、電源コードが抜かれた状態で約 7 〜 10 日以上放置されますと、設定された時間はクリアされてしまいます。(68ページ参照)

本体表示部にエラーが表示された場合

DVD-V8000ではハード系エラー発生時に本体表示部にエラーコードとその名称を表示します。
エラーはディスクの傷や汚れ、R/RWメディアの場合は記録品質が悪いなどハードウェア不具合以外が原因で起きるものも少なくありません。ハードウェア不具合以外の要因で起こりうる主なエラーは以下の通りです。
ただしこれがすべてではありませんので、本体表示部にエラーが表示された時はディスクに傷や汚れがないか確認してください。

エラー表示	要因 / 対策
Error Code: 1B　Index 0 Error	ディスクの傷や汚れ、R/RWメディアの場合は記録品質が悪いと発生する可能性があります。
Error Code: 1C　Wobble Detect	
Error Code: 33　Focus Error	
Error Code: 38　Disc Sense	
Error Code: 72　SUBQ Read Error	
Error Code: 73　ID Read Error	
Error Code: 74　SUBQ Read Error	
Error Code: 81　TOC Read Error	
Error Code: F8　Loading Error	トレイのオープン / クローズが妨げられた場合に発生します。トレイにものが挟まっていないか確認してください。
USB OVER CURRENT DISABLE ALL PORT	接続されているUSBデバイスの合計電流が製品の許容量を超えた場合に表示されます。(MAX 0.7A) 接続されている USB デバイスを抜いて、本体の電源を入れ直してください。 また、USB デバイスの故障が原因で表示される場合もあります。

パイオニア供給のRS-232Cケーブル CC-13/13Aをお使いのお客様へ

本機 DVD-V8000に、お手持ちのパイオニア供給のRS-232Cケーブル **CC-13/13A**を使用されると、RS-232C制御が利かない場合があります。
お手持ちのRS-232Cケーブルをご使用の際は、下記の確認方法で確認を行ってください。
確認方法で**CC-13/13A**または同等のケーブルに該当しましたら、そのケーブルの使用を中止してください。
代替ケーブルについては、本機取扱説明書の「**シリアルインターフェース仕様**」を参照し、ご用意ください。

■ CC-13/13A 確認方法について

方法：15 Pinコネクタ (DB15) の4番ピンと9 Pinコネクタ (DB9) の4番ピンが導通するもの。

[CC-13/13A仕様]

コネクタ形状：15 Pin（オス）←→ 9 Pin（メス）
コネクタ部：　モールド成型
ケーブル長：　1.8 m

なお、ケーブルにはパイオニアの社名や型番の表記はありません。

言語コード表

言語名（言語コード）, **入力コード**

Japanese (ja), **1001**
English (en), **0514**
French (fr), **0618**
German (de), **0405**
Italian (it), **0920**
Spanish (es), **0519**
Chinese (zh), **2608**
Dutch (nl), **1412**
Portuguese (pt), **1620**
Swedish (sv), **1922**
Russian (ru), **1821**
Korean (ko), **1115**
Greek (el), **0512**
Afar (aa), **0101**
Abkhazian (ab), **0102**
Afrikaans (af), **0106**
Amharic (am), **0113**
Arabic (ar), **0118**
Assamese (as), **0119**
Aymara (ay), **0125**
Azerbaijani (az), **0126**
Bashkir (ba), **0201**
Byelorussian (be), **0205**
Bulgarian (bg), **0207**
Bihari (bh), **0208**
Bislama (bi), **0209**
Bengali (bn), **0214**
Tibetan (bo), **0215**
Breton (br), **0218**
Catalan (ca), **0301**
Corsican (co), **0315**
Czech (cs), **0319**
Welsh (cy), **0325**
Danish (da), **0401**
Bhutani (dz), **0426**
Esperanto (eo), **0515**
Estonian (et), **0520**
Basque (eu), **0521**
Persian (fa), **0601**
Finnish (fi), **0609**
Fiji (fj), **0610**
Faroese (fo), **0615**
Frisian (fy), **0625**
Irish (ga), **0701**
Scots-Gaelic (gd), **0704**
Galician (gl), **0712**
Guarani (gn), **0714**
Gujarati (gu), **0721**
Hausa (ha), **0801**
Hindi (hi), **0809**
Croatian (hr), **0818**
Hungarian (hu), **0821**
Armenian (hy), **0825**
Interlingua (ia), **0901**
Interlingue (ie), **0905**
Inupiak (ik), **0911**
Indonesian (in), **0914**
Icelandic (is), **0919**
Hebrew (iw), **0923**
Yiddish (ji), **1009**
Javanese (jw), **1023**
Georgian (ka), **1101**
Kazakh (kk), **1111**
Greenlandic (kl), **1112**
Cambodian (km), **1113**
Kannada (kn), **1114**
Kashmiri (ks), **1119**
Kurdish (ku), **1121**
Kirghiz (ky), **1125**
Latin (la), **1201**
Lingala (ln), **1214**
Laothian (lo), **1215**
Lithuanian (lt), **1220**
Latvian (lv), **1222**
Malagasy (mg), **1307**
Maori (mi), **1309**
Macedonian (mk), **1311**
Malayalam (ml), **1312**
Mongolian (mn), **1314**
Moldavian (mo), **1315**
Marathi (mr), **1318**
Malay (ms), **1319**
Maltese (mt), **1320**
Burmese (my), **1325**
Nauru (na), **1401**
Nepali (ne), **1405**
Norwegian (no), **1415**
Occitan (oc), **1503**
Oromo (om), **1513**
Oriya (or), **1518**
Panjabi (pa), **1601**
Polish (pl), **1612**
Pashto, Pushto (ps), **1619**
Quechua (qu), **1721**
Rhaeto-Romance (rm), **1813**
Kirundi (rn), **1814**
Romanian (ro), **1815**
Kinyarwanda (rw), **1823**
Sanskrit (sa), **1901**
Sindhi (sd), **1904**
Sangho (sg), **1907**
Serbo-Croatian (sh), **1908**
Sinhalese (si), **1909**
Slovak (sk), **1911**
Slovenian (sl), **1912**
Samoan (sm), **1913**
Shona (sn), **1914**
Somali (so), **1915**
Albanian (sq), **1917**
Serbian (sr), **1918**
Siswati (ss), **1919**
Sesotho (st), **1920**
Sundanese (su), **1921**
Swahili (sw), **1923**
Tamil (ta), **2001**
Telugu (te), **2005**
Tajik (tg), **2007**
Thai (th), **2008**
Tigrinya (ti), **2009**
Turkmen (tk), **2011**
Tagalog (tl), **2012**
Setswana (tn), **2014**
Tonga (to), **2015**
Turkish (tr), **2018**
Tsonga (ts), **2019**
Tatar (tt), **2020**
Twi (tw), **2023**
Ukrainian (uk), **2111**
Urdu (ur), **2118**
Uzbek (uz), **2126**
Vietnamese (vi), **2209**
Volapük (vo), **2215**
Wolof (wo), **2315**
Xhosa (xh), **2408**
Yoruba (yo), **2515**
Zulu (zu), **2621**

国コード表

国名, **入力コード**, **国コード**

アメリカ, **2119, us**
アルゼンチン, **0118, ar**
イギリス, **0702, gb**
イタリア, **0920, it**
インド, **0914, in**
インドネシア, **0904, id**
オーストラリア, **0121, au**
オーストリア, **0120, at**
オランダ, **1412, nl**
カナダ, **0301, ca**
韓国, **1118, kr**
シンガポール, **1907, sg**
スイス, **0308, ch**
スウェーデン, **1905, se**
スペイン, **0519, es**
タイ, **2008, th**
台湾, **2023, tw**
中国, **0314, cn**
チリ, **0312, cl**
デンマーク, **0411, dk**
ドイツ, **0405, de**
日本, **1016, jp**
ニュージーランド, **1426, nz**
ノルウェー, **1415, no**
パキスタン, **1611, pk**
フィリピン, **1608, ph**
フィンランド, **0609, fi**
ブラジル, **0218, br**
フランス, **0618, fr**
ベルギー, **0205, be**
ポルトガル, **1620, pt**
香港, **0811, hk**
マレーシア, **1325, my**
メキシコ, **1324, mx**
ロシア, **1821, ru**

用語解説

アスペクト比
テレビ画面の横と縦の比率を言います。従来サイズのテレビでは4：3ですが、ハイビジョンテレビやワイドテレビは16：9の比率となっています。臨場感あふれる映像が楽しめるようになっています。

インターレース（飛び越し走査）
映像の1画面を半分ずつ2回に分けて描きます。最初に奇数番目の走査線を描き、目の残像を利用して、次に偶数番目の走査線を描いて1 画面（フレーム）を表示します。従来のテレビの走査方式として採用されています。本機の取扱説明書では解像度の数字の後ろに「i」を付けて（525i など）表記してあります。

映像出力（コンポジット）
輝度信号(Y)と色信号(C)を混合して1本のコードで伝送できるようにした信号です。ただし、入力機器側で混合された輝度信号(Y)と色信号(C)を分離しなければなりません。この輝度信号(Y)と色信号(C)を分離するときの精度で画質の良さが決まります。

コンポーネント映像出力
Y、CB/PB、CR/PRの3 つの信号からなり、コンポーネント入力付きのテレビと接続することにより、よりきれいな映像が得られる映像出力です。

視聴制限
暴力シーンなどを含むDVDビデオの中には、視聴制限のレベル（大小）が設けられたものがあります。ディスクのレベルよりも小さいレベルに本機の視聴制限レベルを設定すると、暗証番号を入力しないかぎり再生ができなくなります。

光デジタル出力
音声は通常、電気信号に変えて電線でプレーヤーからアンプなどの他の機器に伝達しますが、これをデジタル信号に変えて、光ファイバーで伝達できるようにしたものが光デジタル出力です（アンプなど、受け取り側は光デジタル入力になります）。

ビデオレコーディングフォーマット記録
映像、および音声信号をDVD-RWレコーダーでDVD-RWディスクの不特定な位置に即時書き込み*することをいいます。（*即時書き込み＝コンピュータでは、入力されたデータをすぐにハードディスク（リムーバブルメディア）に書き込まず、一度メモリーに記憶します。その後、CPU(OS)が順番を整理してハードディスクに書き込みます。これに対して、データが入力された順にハードディスクに書き込んでいくことを即時書き込みといいます。）パイオニアのDVD レコーダーではこれをVR モード記録といいます。VR モードには、標準な画質で録画するモードと画質、および録画時間を自由に設定して録画するモードがあります。

プレイバックコントロール（PBC）
ビデオCD（バージョン2.0）に記録されている、再生をコントロールするための信号です。PBC付きビデオCDに記録されているメニュー画面を使って、簡単な対話形式のディスクや検索機能のあるディスクの再生が楽しめます。また、高／標準解像度の静止画も楽しむことができます。

プログレッシブ（順次走査）
映像の1画面を2回に分けずに1画面ずつ描きます。特に静止画の文字やグラフィックス、横線などの多い画像で、チラツキを抑えた美しい画像がご覧になれます。本機の取扱説明書では、解像度の数字の後ろに「p」を付けて（525pなど）表記してあります。

マルチアングル
DVDビデオには、同時に複数のカメラで撮影した映像が記録されているものがあります。DVDビデオではアングルを最大9つまで記録することができます。

DVDビデオフォーマット記録
DVD VIDEO または DVD VIDEO マークの付いている市販のDVD ビデオディスクと同じ方式（フォーマット）でDVD-R/DVD-RWディスクに一筆書きのように記録することを言います。
パイオニアのDVDレコーダーではこれをビデオモード記録と言います。ビデオモードには、高画質で録画するモードと、長時間で録画するモードがあります。

DVI
Digital Visual Interfaceの略で、デジタル駆動のディスプレイにデジタル映像信号を送るための規格の一つです。
アナログ変換による信号の劣化がなくなり高画質で映像を表示できます。

GUI
Graphical User Inerfaceの略です。
画面にメニューを表示し、それを操作することでより使いやすい環境を提供します。

HDCP
著作権保護技術の一つのコンテンツ保護機能。
広帯域デジタルコンテンツプロテクションの略。

HDMI
High-Definition Multimedia Interfaceの略で、DVIを拡張した次世代テレビ向けのデジタルインタフェース規格。

OSD
On Screen Displayの略。現在の状態などをディスプレイ上に表示させる機能。

S映像出力
輝度信号(Y)と色信号(C)が別々に伝送できるようにした信号です。輝度信号と色信号を分離する必要がないためコンポジット映像に比べて高画質で表示できます。

仕　様

[一般]

電源定格	AC 100 V、50Hz / 60 Hz
消費電力	19 W
待機時消費電力	0.8 W
突入電流	18.3 A 以下
本体質量	5.3 kg
外形寸法	420 mm (幅)×86.2 mm (高さ)×309.2 mm (奥行き)（突起を含む）
使用温度範囲	+5 ℃〜+35 ℃
使用湿度範囲	5 %〜85 % RH（結露のないこと）

[再生]

再生可能ディスク	DVD-VIDEO、DVD-R、DVD-RW、 VIDEO-CD、AUDIO-CD、CD-R、CD-RW

[映像出力]

コンポジット	BNC×1、1.0 Vp-p、75 Ω (VIDEO OUT) ピンジャック×1、1.0 Vp-p、75 Ω (MONITOR VIDEO OUT)
S-VIDEO	4Pミニ DIN×1 (S-VIDEO OUT) Y:1.0 Vp-p、75 Ω C:0.286 Vp-p（NTSC）、0.300 Vp-p（PAL）、75 Ω
コンポーネント	BNC×3 (COMPONENT VIDEO OUT) Y:1.0 Vp-p、75 Ω、 Cb: 0.7 Vp-p、75 Ω、Cr: 0.7 Vp-p、75 Ω
DVI	24ピン DVI-D端子×1 (DVI 1.0 準拠、HDCP Ver.1.0 対応)

[音声出力]

アナログ	ピンジャック×2、2 Vrms(0 dBfs)、1.5 kΩ以下 (AUDIO OUT L、R)
デジタル	ピンジャック×1、0.5 Vp-p、75 Ω (DIGITAL AUDIO OUT COAXIAL) 光ケーブルコネクター×1 (DIGITAL AUDIO OUT OPTICAL)

[映像入力]

コンポジット	BNC×1、1.0 Vp-p、75 Ω (VIDEO IN)

[音声入力]

アナログ	ピンジャック×2、2 Vrms(0 dBfs)、22 kΩ以上 (AUDIO IN L、R) 入力レベルコントロール付き (LEVEL)

[外部同期入力]

ブラックバースト	BNC×2、0.286 Vp-p（NTSC）、0.300 Vp-p（PAL）、75 Ω ON/OFF (EXT SYNC IN)

[その他]

RS-232C端子	D-sub9ピン（オス）　RS-232C準拠×1（インチねじ）
EXT TERMINAL端子	ミニD-sub15ピン（メス）×1（メートルねじ）
MOUSE/MEMORY端子	USB端子 4Pタイプ A（USB1.1準拠）×3（3ポートの合計供給電流 MAX 0.7 A）

[付属品]

リモートコントロールユニット	1
単3形乾電池	2
電源コード	1
保証書	1
取扱説明書	1

●上記の仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。

保証とアフターサービス

保証書（別に添付してあります）について

保証書は、必ず「取扱店名・購入日」等の記入を確かめて取扱店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証期間と保証内容について

● 保証期間について

保証期間は、取扱説明書および本体貼付ラベル等の注意に従った使用で、ご購入日より１年間といたします。

- **次のような場合には保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、性能、動作の保証をいたしません。また、故障した場合の修理についてもお受けいたしかねます。**
  本機を改造して使用した場合、不正使用、使用上の誤りの場合または他社製品と組み合わせて使用したときに、動作異常などの原因が本機以外にあった場合。
- **故障、故障の修理その他にともなう営業上の機会損失（逸失利益）は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず補償いたしかねますのでご了承ください。**

補修用性能部品の保有期間／修理対応期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切後8年間保有しています。
なお、修理対応期間は、ご購入日より原則８年とさせていただきます。

修理を依頼されるときは

取扱説明書をよくお読みいただき、もう一度ご確認ください。異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてください。

お願い

- 故障内容によっては、製品全体を取り外すことが必要となります。その場合には、設置業者に依頼しなければサービスを行えない場合がありますので予めご了承ください。

● 保証期間中は

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている弊社保証規定に基づき修理いたします。アフターサービス連絡先または本機の取扱店にご連絡ください。

連絡していただきたい内容

- ご住所：
- お名前：
- お電話番号：
- 製品名：　DVD プレーヤー
- 型番：　DVD-V8000
- お買い上げ日：
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
- 訪問ご希望日
- 訪問先までの道順と目標（建物・公園など）

● 保証期間が過ぎているときは

アフターサービス連絡先または本機の取扱店にご連絡ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

アフターサービス連絡先

ＴＥＬ ＿＿＿＿＿＿＿＿
管理会社名 ＿＿＿＿＿＿＿＿
担当者名 ＿＿＿＿＿＿＿＿
所在地 ＿＿＿＿＿＿＿＿

休日／夜間ＰＭ　　　～ＡＭ
ＴＥＬ

本機の接続、操作、技術相談に関するお問い合わせは

テクニカルサポートセンター　**03-3763-2936**
受付時間：　10：00～18：00
（ただし、土曜日、日曜日、祝日、弊社休業日は除く）
E-mail : omr_tsc@post.pioneer.co.jp

製品に関する情報のご案内

http://wwwbsc.pioneer.co.jp

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<06C00000>　Printed in　<DRA1410-B>